



次の世代へ、いま語り継ぐこと。

石川秀也

北海道医療大学大学院非常勤講師

稗田 静男

社会福祉法人黒松内つくし園評議員



緑ヶ丘老人ホーム（社会福祉法人黒松内つくし園）の開設に関わり、

老人福祉ひとすじに五十有余年。福祉を生涯の仕事とした稗田静男さんが

その道のりを振り返って思うこと、そして次の世代に語り伝えたいことはなにか。

北海道医療大学元教授であり、現在も非常勤講師として学生たちに社会福祉学を講義する石川秀也さんが引き出す話の数々は、大木の枝葉のようにひろがり興味深い。ブナ林の北限といわれる黒松内での対談は、「福祉のこころ」をバトンに託す思いに溢れました。

石川 今日はよろしくお願ひします。先生には

約四十年お世話をなっていますが、このようないいな対談をやらせてもらうのは初めてですね。

稗田 ぼくも生まれて初めての経験で、人生最後の経験ですよ（笑）。

石川 先生、108歳まで生きるつておしゃつてましたよ。

稗田 まだ十八年ありますか。

石川 ではいろいろお訊ねさせてください。先生、お生まれはどちらですか。

稗田 大阪市内です。昭和二年生まれなのでもう九十歳ですよ。

石川 昭和二年ですか、ぼくとちょうど二十五歳違います。

先生は福祉の仕事をされる前はどのような仕事をされていたのですか。

北海道でいえばホクレンのようなところです。農業団体の富山の県連に入つてしま

した。

石川 どんな仕事をされていたのですか。

稗田

資材課、農業機械課、大阪事務所のときもありましたし、食品工場に行つたこともあります。転勤がいっぱいあつたからね。主任になるまではとにかく忙しくて、家に帰れないこともあつて、富山駅前の旅館に泊まつて仕事していた時期もありました。ぼくは資格をとるのが趣味で、いろんな資格もとりましたね。

石川 稗田

え、どんな資格ですか。

稗田 ボイラー技士とか電気工事とか。学校は鳥取の農林専門学校（現鳥取大学農学部）だつたけど、仕事ではそういう知識も幅ひろく必要だつたから。ほかに栄養士の資格も持つていますよ。

石川 ボイラーテchnicianは初めて聞きました。やあ、びっくりですね。鳥取の学校ではどんな勉強をされたのですか。

**稗田 静男**  
Hieda Shizuo

1927年大阪生まれ。  
国立鳥取農林専門学校（現鳥取大学農学部）卒業。  
富山県園芸試験場、  
富山県販売購買農業協同組合連合会を経て、  
社会福祉法人黒松内つくし園緑ヶ丘老人ホーム。  
同老人ホーム施設長、法人常務理事。  
現在同法人評議員。  
黒松内社会福祉協議会監事。  
後志支庁管内老人福祉施設協議会顧問。  
北海道老人福祉施設協議会顧問。  
北海道民間社会福祉事業職員共済会元運営委員。  
全国老人福祉施設協議会元副会長。



稗田

農業の方々の生産品を、付加価値が高まるように加工すれば、価値が上がって収入が増える。それを指導する職員が必要だといつて、昭和十九年にそういう学科ができる、ぼくは昭和二十年に入学しました。終戦のゴタゴタがあつてさっぱりわからぬうちに卒業でした。学生時代は鳥取にいたので空襲にあうこともなかつたです。終戦の翌年に富山で就職しました。

石川

結局、福祉の仕事につかれる前、富山では何年仕事されていましたか。

稗田 昭和二十一年に入つて、ここにくる昭和三十六年までだから十五年間だね。

石川

こちら（黒松内）に来られるきっかけは何だつたのですか。

石川

私の家内（由美子）は廣瀬清蔵<sup>\*</sup>先生の奥さん（博子）の妹で、昭和二十九年に私たちが結婚するときに、廣瀬夫妻が北海道から来てくれました。

稗田

由美子さんのお姉さんですか。じやあ、廣瀬先生は先生の義理のお兄さんですね。

稗田

当時はこんなお姉さんがいるんだーといふくらいでしたね。廣瀬先生は黒松内で児童養護施設をやつていたでしょ。口が

達者で筆まめな方だつたから、昭和三十年頃から毎月一、二通、「老人ホームをやらないか」と手紙がきました。老人ホームなんてわからないと言つたら、ちょっと近くの老人ホームに行ってみてくれないかといわれ、知らない所を見学するよりは北海道のほうがいいかなと思つてこつちに来てみました。そうしたら廣瀬先生は弁がたつから……（笑）。

石川

説得されたのですね。

その帰り、厚生省に寄つて、先生に紹介された森幹郎さんに会いました。

森幹郎さん、知っています。初代の老人福祉専門官ですね。

彼に老人ホームの話をしました。まだ補助金制度がない時代だから、そういう特殊な老人を救つてくれたら、厚生省も全面的にバックアップしますと。

森先生との出会いがなければ、ここに来なかつたかもしません。

老人福祉法（昭和三十八年）が施行される以前の時代ですね。当時の黒松内つくし園は、児童養護施設だけですか。

そうです。私が来てから緑ヶ丘老人ホー

廣瀬清蔵（ひろせせいぞう）  
1922年—2015年。

『踏まれても折られても、芽を出し、まっすぐ伸びるつくしのように育つてほしい』との思いで「児童養護施設黒松内つくし園」を1956年に開設。福祉の充実を理念に、子どもから障がい者まで多くの地域福祉の発展に尽力した。黒松内名誉町民。



住んでいた富山の住宅兼店舗を売つて、それを全部老人ホーム開設につぎこみました。

石川

ムをつくりました。「福祉の里づくり」の序章ですよ。数年後には知的障害児施設や保育所も開設されました。退職金は二十七万円だったかな、當時だと、施設運営はかなりご苦労されたでしょう。お金の面とかはどうされましたか。

稗田

最初、老人ホームの運営は大変でした。廣瀬先生は四十人で出発すれば、四十人に必要な経費は開設と同時に入ってくるという話だつたけれど、それは勘違いだつたんです。児童養護施設はそうだつたようですね。

石川

当時は暫定定員というのがありましたね。定員差があつても四十人分はいつてくるということですね。

そうだと思っていたものだから、すごく困りました。八月の開設時は入所者が数人しかいませんでした。後志支庁に頼み、函館の共働宿泊所から六人の利用をいたしました。いろいろ苦労して十二月末によく定員の四十名になりました。ホッとしました。だけどお金が入つてくるのは翌年の一月ですよ。老人ホームを八月に開設してから、ぼくはずつと給料もらえなかつたです。でも職員の給料は払わない訳にはいきません。今でもその当時のことを思い出しますね。

稗田

石川 稗田

開設当初の園の様子はどうでしたか。当時のお年寄りは身寄りがなくて、経済的に困っている人がたくさんいてすさんでいました。

まだ戦後のゴタゴタみたいなものが多少残っているからでしょうね。過激なお年寄りもいたのではないか。

石川

入所者同士の喧嘩もありました。ホームでちゃんとご飯を食べさせているのに、町へ出て何も食べてないとつて物乞いする人もいましたね。乞食みたいな人ばかり集めているつて噂も流れました。老人ホームは決していいイメージではなかつたんです。難しい時代でした。富山に帰りたいと思いましたよ。廣瀬先生の話と違うと

つくりました。昭和三十一年に建てた富山の住宅兼店舗を三百万円で売つて、それを全部つぎこみました。退職金は二十七万円だったかな、それは隠して持つてきましたが。このお金だけは手元に残しておいて良かったです。

石川

十二月まで全く収入ないでしょ。家内がつくし園で働かせてもらつて月八千円くらい。このお金で家族五人が老人ホームの二階で暮らしていました。今の緑ヶ丘老人ホームの場所ですが、ブロック造りの建物でした。住み込みみたいなものですよ。その当時のことを知つてゐる職員が二人だけいますが、「園長、よくやつていましたね」と今も言つてくれます。三百六十五日、休みなしでしたね。

稗田

昭和三十一年に建てた富山の住宅兼店舗を三百万円で売つて、それを全部つぎこみました。退職金は二十七万円だったかな、それは隠して持つてきましたが。このお金だけは手元に残しておいて良かつたです。十二月まで全く収入ないでしょ。家内がつくし園で働かせてもらつて月八千円くらい。このお金で家族五人が老人ホームの二階で暮らしていました。今の緑ヶ丘老人ホームの場所ですが、ブロック造りの建物でした。住み込みみたいなものですよ。その当時のことを知つてゐる職員が二人だけいますが、「園長、よくやつていましたね」と今も言つてくれます。三百六十五日、休みなしでしたね。

石川

開設当初の園の様子はどうでしたか。当時のお年寄りは身寄りがなくて、経済的に困っている人がたくさんいてすさんでいました。

まだ戦後のゴタゴタみたいなものが多少残っているからでしょうね。過激なお年寄りもいたのではないか。

入所者同士の喧嘩もありました。ホームでちゃんとご飯を食べさせているのに、町へ出て何も食べてないとつて物乞いする人もいましたね。乞食みたいな人ばかり集めているつて噂も流れました。老人ホームは決していいイメージではなかつたんです。難しい時代でした。富山に帰りたいと思いましたよ。廣瀬先生の話と違うと

## 石川 秀也

Ishikawa Hideya

1952年網走市生まれ。

北星学園大学大学院社会福祉学研究科博士

後期課程単位取得満期退学。

社会福祉士、介護支援専門員。

社会福祉法人北海道社会福祉協議会、

北広島市高齢者総合ケアセンター聖芳園園長、

北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科教授、

同大学臨床福祉学科長を経て、

同大学大学院看護福祉学研究科非常勤講師。

北海道高齢者虐待防止推進委員会委員長。

日本認知症ケア学会代議員。

社会福祉法人北海道ハビニス評議員。

社会福祉法人幸清会評議員。



でも富山の家は売つてしまつたし、退職してしまつたでしょ。帰るに帰れない。

老人福祉の勉強をする時間はできたけどね。

精神的にもきついですね。体調は大丈夫でしたか。富山とこちらの気候はだいぶ違うと思いますが。

最初の五年間は風邪ばかりひいていました。生まれて初めて、ルンペ恩ストーブなんて使いました。

石川 懐かしいな。昔はルンペ恩ストーブを使つていましたね。ご家族との生活はどうだつたのですか。

稗田 住宅がなかつたから、さつきも言つたけど老人ホームの中で僕と室内と娘が一部屋、両親が一部屋使つて住んでいました。

石川 両親つて奥さんのご両親ですか。

いや、ぼくの両親です。富山の家を売つてしまつたからいるところないでしょ。一緒に来ましたよ。富山にいるときは、わりといい生活をしていました。商売もやつていまし

したし。

石川 商売？ 何をされていたのですか。

稗田 家族が食料品と雑貨の店をやつしていました。市電の終点でいい場所だつたから繁

盛していましたよ。

石川 そんな生活を捨ててまでしてここに來たんだから、よけい帰るに帰れませんね。

稗田 そういえば、開設当初はテレビが映らないくて、がつかりしたことを覚えています。

富山から持つてきたんだけど、電波が届かないから見れなかつたんです。おかげで

石川 精神的にもきついですね。体調は大丈夫でしたか。富山とこちらの気候はだいぶ違うと思いますが。

最初の五年間は風邪ばかりひいていました。生まれて初めて、ルンペ恩ストーブなん

て使いました。

石川 逆境を糧にしたわけですね。

共同アンテナが立つたのは二年後で、食堂兼集会所にテレビを置きました。スイッチを入れると、ちょうど大相撲が映しました。それで、いつせいに拍手が起こりましたよ。テレビの前に座つて、東京の相撲が見れることに不思議そうな顔をしていました。

石川 白黒テレビの時代ですね。なんか、昭和の情景が目に浮かんできます。

稗田 ところで、はじめは施設長ではなかつたそうですね。

そうなんだよ。廣瀬先生は専門職というものに重きをおいて、まずは社会福祉主事の資格をとりなさいと、ぼくにすすめたんだ。

厳しい人だから、それをとらないと施設長にはさせられないと言わされて、六十日間だつたかな、東京に行つて勉強してきました。それで昭和三十九年に施設長になりました。

北海道ではまだ社会福祉主事の講習会をやつていない時期ですね。

東京の原宿に、社会福祉の研修所があつたのね。昔の旧海軍省の施設かな。そこで二ヶ月間、寝泊まりして朝から晩まで勉強しました。そこに来ている人たちは経験もある人たちで、ものすごく勉強に



テレビの前に集まり番組に見入るひととき



運動会で元気に走るお年寄り

# 当時は夜勤、宿直手当もなかつたし、宿直要員もはじめは措置費になかつたです。

なりました。その後の施設建設とか運営などで、とても参考になりました。

石川 長期間寝泊まりしての勉強もすごいです

が、そこでの出会いも貴重なものだつたんですね。

施設建設と言えば、つくし園さんは子どもだけでなく、お年寄りから障がいをもつた方々の施設まであります。歴史もあって、今では大法人になりましたが、法人に対しても先生はいろいろご尽力されたのではないですか。

石川 そうですね。昭和三十一年に黒松内つくし園、三十六年にうち（緑ヶ丘老人ホーム）、五年後に特養の緑ヶ丘ハイツができました。五年ごとに施設を増やして拡大していきました。施設整備の補助金が出るようになつて、ずいぶん楽になりましたね。

石川 寄付とかで施設を建てたんでしょうか。

稗田 こんなに小さな町ですから、そんなに寄付は集まりませんよ。とても苦労をしましたね。

はじめは拡大方針に私は反対でした。できるだけ少ない施設で、質の高いものが

必要だと思っていたんです。でもそのうちに町の雇用の関係とか、町への貢献とかを考えると、拡大路線も悪くはないかと思うようになりました。町としても、施設が増えれば所得税や住民税も入る。そうやつて町が潤えば、まわりまわって商店も喜ぶでしょ。

石川 つくし園様々ですね。

いま雇用のお話がありましたが、社会福祉職員の処遇が、だんだん良くなつてきただのはいつぐらいからでしようか。

昭和四十八年頃かな。

昭和四十八年といえば、措置費の時代ですね。ぼくも措置費の時代に老人ホームで働いていました。昔の方に聞くと、それ以前は福祉施設で働く職員は大変だつたのですね。二十四時間体制、三百六十五日休みなしのようなものですね。

稗田 昔は夜勤、宿直手当もなかつたし、宿直要員もはじめは措置費の中にありませんでした。でも宿直は必要だし、日曜日は最低三人はいるし、炊事はどうしても二人、寮母さんも欠かせない。それと看護



婦さんの確保が一番困ったね。休ませなきや駄目でしょ。休みのときに限つて、誰か

腹が痛いだと問題が起きるんだよ。

石川 どうしてでしようね。そういう時に限つて、問題が起きますよね。

稗田 そうそう。でも正月の餅の喉つまりは、看護婦さんがいると心強いです。いつも掃除機を用意していましたね。いろんな事があつても看護婦さんがいると、やっぱりすごいなあと思いました。対応が早いし適切です。

石川 さすが専門職だと思いますね。

稗田 ホームの入所者が増えて、看護婦がひとりでは足りなくなつたときは、もうひとり探しました。こんな田舎ですから、かんたんには決まらないですよ。青森まで行つても、結局だめだつたりと難儀しましたね。二か月くらいかかるて、なんとか確保しました。

石川 私も北広島の施設でしたが、看護師の確保だけは困りました。よく看護協会に行きました。

稗田 私も札幌に足を運ぶたびに、看護協会にいつたけど、ひとりも斡旋してもらえなかつたなあ。

石川 今は看護師さんの採用はどうですか。

稗田 病院みたいに宿直がないから、今はまだいとりますよ。その後、施設での経験年数で、何パーセントか加算というような民改費（民間社会福祉施設給与等改善費）

もできましたね。

石川 当時、職員さんの採用などでほかにご苦労はありましたか。

稗田 景気がいい時代は、職員を採用してもすぐ辞める子が多かつたね。

石川 共済会の加入とか脱退の状況を見ていると、景気がわかるつて、だれかが言つていました。景気が悪いと福祉職場つてなんだかんだ言つても安定しているので比較的辞める人が少ないです。ぼくもなるほどと思いました。

石川 高校卒業の人を採用したけど、大人のおむつ交換が気持ち悪いと言つて一週間で辞める子もいました。

稗田 それが理由ですか。はい、情けないけどね。十八歳の女の子に大人のおむつ交換というのは辛いかもしれないですね。徐々に慣らしていくしかないです。量は多いし、臭いはきついし。子どもならめんこいけどね。

石川 当時つて、布おむつですよね。昔、道社協でもおむつを贈る運動なんていうことをやつていました。一般的の女性というか、ご婦人たちがボランティアでおむつを縫つてくださいました。それを集めて各施設にお配りした時代です。

稗田 ああ、うちもいただきました。おむつは毎日使うものだから、お金もかかるんですね。ひどい汚れのものは、一般的の下着を洗う同じ洗濯機だと臭いがつくということ

で、川に行って洗いました。手が冷たくなつてね……。

石川 えー、それは大変だ。

稗田 そのうち使い捨てなんかができる、便利になりましたけどね。

石川 ぼくも老人ホームで十九年間働いていましたけど、割と早い時期に布おむつから紙おむつにしました。きれいに洗つて消毒してあるとしても、だれが穿いたか分からぬパンツを、穿けと言われてもイヤです。

石川 よね。布おむつも同じだと思つたんです。

稗田 おむつも下着の一部ですから。昭和六十年くらいかな、もうだいぶ前の話です。おむつにまつわる話つて、いろいろありますね。おむつ廃止運動とか、おむつの定期交換や随时交換ということなどもありました。そういう施設の取り組みとかを発表してもらつたり、先生たちと勉強会をやつた記憶があります。

石川 随時交換が当たり前でしょ。どうして定期交換になつたのだろうね。職員の数とか勤務時間の関係かな。

稗田 施設ではないのですが、昔、一部の病院が一日二回しかおむつ交換しなかつたところがありました。褥瘡はできるし、かぶれるし。もつとひどい所はおしつこが出るから、水も飲ませないとありました。

石川 人権侵害もはなはだしいね。

稗田 社会福祉協議会で出した「老人ホームの

# ひどい汚れのおむつは洗濯機を使えないの川に行つて手洗いしたけど冷たくてね。

リハビリテーション」、いわば専門書ですが、それを見てびっくりしました。問題老人とか異常行動とかという言葉が平気で出ているのです。一番びっくりしたのが不参加老人、行事に参加しない老人を不参加老人と言つて問題児扱いするのですよ。

稗田 それも人権侵害だね。介護なんかでも問題老人とかいう言葉を堂々と書いていたね。何が問題なのか。まわりは問題だと思つてはいるけど。本人はなんの問題もないんですよ。差別用語だね。

石川 先生のおっしゃる通りですね。ご本人はなんらかの合理的な理由があつて行動しているけど、まわりから理解されない。当時は収容という言い方もしました。お年寄りを被収容者といつて、措置による収容という言葉を使つていました。とんでもない言葉ですね。

稗田 昨年の冬、社会福祉学部をもつている大学の先生が資料を見せてほしいというので、昔の台帳を見せてあげました。収容者台帳ですよ。昔は収容者台帳といつていましたよね。資料を写真にとつて、すご

いと言つていました。  
ぼくも書いていました。

稗田 歴史に興味のある人だけが、「稗田さんのところに行つてみたい」と言つてたまに来てくれますが。十年一昔、過去ですね。

石川 先生、現在の高齢者福祉についてはどんな思いでいますか。

稗田 国や市町村の財政事情があるので、今は見直しもあるけど、よくやつてていると思いますよ。ぼくは、高齢者福祉はこの程度でもいいのかなと考えたりします。生きがい対策なんかもけつこうやられているでしょ。現場を離れてもう何年もたつからそういうのかも知れないけど。

石川 認知症の問題があちこちで取り上げられていますが、緑ヶ丘ハイツさんでもいらっしゃるのですが。

稗田 いますね。ただ認知症つて決めつけてしまふとやりにくいでしょ。八十過ぎたら、軽度か重度かわからぬけど、必ず認知症になると思つたほうが楽なような気がします。

だつて、ぼくもそうだよ。明後日の六時



屋外行事であいさつする若き日の稗田さん

# 高齢者福祉はもちろん大事だけど、これからは子どもの問題が大きくなるね。

石川 先生は認知症にならないと思いますよ。

稗田 忘れて被害がなければいいんだけどね。

石川 今ぼくは認知症の勉強をしています。特養に就職したのは昭和五十九年なんですが、その頃まだ認知症というのがよくわかつていなくて、ケアのあり方もあたり的なものでした。認知症ケアも研究されてきて、原因となる疾病的研究もずいぶん進んで、かなり整理されつつありますね。ご存じのように特効薬はまだないですが、進行を遅らせる薬は発売されていますね。

先生は認知症とのかかわりはどうですか。

稗田 養護だったから、基本的にはなかつたね。何人かはいたと思うけど特養とは違うから。こここの法人は特養も老健もあるからいいですよ。

石川 しりべし学園成人寮(障がい者入所施設)から老人ホームに入る人はいますか。

稗田 今までゼロだね、知的障がいからはね。

石川 あ、ゼロですか。ぼくがいた施設では二名いました。知的障がいの方は認知症と全く違うからケアの仕方も苦労しましたね。うちのしりべし学園成人寮は、高齢になつてもみていますよ。高齢になったからといつて、環境を変えるのは良くないでしよう。終生みてあげるのが、一番いいです。法律上がどうなつてているかはわからなけど、行くところがないと言えぱいいでしょ。

高齢者福祉はもちろん大事だけど、これからは子どもの問題が大きくなるね。子どもが生まれるような環境、産んだあと保育の施策がもつとあつていいと思う。とくにお母さんが働いて、子どもを保育園に預けたいときに、満足な受け入れ先がないでしょ。これは解消しなければいけない。ぼくは、お母さんが働かざるをえむ社会がいいと思うんだけど、そういう訳にもいかないからね。

保育所ですね。都市部では足りないです。ぼくがいま住んでいる豊浦は田舎なので、少し余裕があるようですが。

子どもの問題はちゃんとやらなければ駄目



お着いの浴衣をつくっています



慣れた手つきでお年寄りの散髪をする女性職員

目だね。

石川

話は大きく変わりますが、今回の対談は、民間共済会が創立五十周年として記念誌を出すことになり企画されました。先生は共済会で長い間、役員もされてご尽力されたと思いますが、最初どういう関わりで役員をされたのですか。だれかに頼まれたのですか。

稗田

おそらく高橋謙四郎さんか間所さんに頼まれのかもしれません。ぼくは最初から運営委員だったのかな?

石川

資料によりますと二十八年間、運営委員をなさっていたとのことですが、当時のエピソードとか思い出などありませんか。

稗田

毎月、運営委員会があつたね。貸付の審査をひとりひとり、毎月やるんだよ。一件一件、書類を見て審査するから、けつこう時間がかかつたね。あといろいろな制度の検討もしました。年金制度がまだなかつたから、年金の検討もしました

石川

福利事業ですね。ぼくもお祝い金とか健康診断などで、ずいぶん恩恵を受けました。ずっと会員だったから、退職金ももらいました。ありがたかったですね。

稗田

職員募集をするときに、健康保険、厚生年金加入ありとか何とか書かなければ人がこないです。そのあと、退職金制度や福利厚生制度ありつて書けるようになつて嬉しかつたです。

石川

なるほど、そうですね。共済会も今では大きくなりました。昔とは全然違うでしょうね。

稗田

施設がどんどんできて、毎月加入する会員も増えていきました。発展期だつたと思います。会長の野村琢民さんが元道庁の偉い人だつたから、だいぶ顔が利いたのではないでしようかね。昔は道庁も体力ありましたし。

石川

先生は共済会のほかに北海道社会福祉協議会、老人福祉施設協議会でも役員をやられて、会長さんもずっと長くやつてましたね。当時、三好先生とのコンビで全国老施協の役員は長かつたですね。お二人の評判はとても良くて、よく全社協の人には北海道はいいなあ…と言われたものです。

稗田

三好俊夫先生、及川芳藏先生、大上眞宏先生かな。

石川

わあ、懐かしいお名前です。

稗田

三巨頭がおられましたから、とても助かりました。その方たちの言う通りにしていれば良かつたんです。

石川

ぼくも社会福祉協議会が最初の職場で、すぐ先生にお会いすることができます。それ以来ずっとですね。ちょうど老人福祉施設協議会の事務局を担当することになつて、先生が会長さんでおられて全国大会をやつたり、毎年研修会とか研究発表会を最初にはじめたのが我々でした。

稗田

老人福祉施設の職員さんにいろんな調査

石川

研究をしてもらい学会風に発表するという機会をつくる、あれはたしか先生のア

稗田

以前、調べてみたら三百回やつていました。

稗田

道社協の老人福祉委員会では、稻垣さん

という有名な人がいて、ぼくと二人で講

義や講演して全道まわりましたよ。よくやつたなあ。

石川

稻垣先生はずつと長らく老人福祉委員会の委員長をされていて、先生にも入つていただきましたね。当時、北星学園大学の

三吉明先生とか、増谷先生、札幌医大的杉山先生、のちに北大の三谷先生も老人

福祉委員会のメンバーでした。お話ししてい

てぼくも思いだしました。老人福祉委員会が中心になって、いろんな所で研修会

をやりました。支庁の所在地はだいたい行つたと思います。

稗田

話した中身は、あまり覚えてないけどね（笑）。

石川

職員さんの確保についてお聞きしたいんですけど、どこも職員の確保で困っていますよね。とくに介護系が大変です。そのへんはどう思われますか。

稗田

養成学校に入学する人が少ないのでしょ。需要は増えているのにね。

石川

おっしゃる通りです。定員の半分というところがざらです。

稗田

四月一日に誰でもいいから人数だけ合わせなきやだめだから、質が落ちてしまう。不幸を見るのは利用者なんだよね。

石川

うちの大学も福祉のほうは定員八十名なのですが、六十ちょっとしか入らなくなつてきました。経営 자체が大変です。専門学校はもっと大変でしよう。ぼくの知り合いのところは、高校生の新卒者を採用して、法人施設内で鍛えていく。すぐ辞めてしまう人もいるでしょうが、なかには一生懸命勉強して介護福祉士の資格を持つたりする人もいますね。職員確保は本当に困っています。

稗田

なんでだろうね、給料はそんなに安くないと思うけど。田舎の施設の職員なら、地元の一般企業と比べたら、けつこう給料いよいよ。といっても、ここは人口の割に施設が多いから、うちは毎年補充する人数が多くて大変だと思うよ。

石川

私の知り合いのところも、施設を拡張したのですが、人が集まらないから開店休業です。個室ユニット、五つユニットが出来たけど職員が集まらないから、二つ開けないといって、三ユニットしかやってないようなところがありますよ。サービス付高齢者向け住宅がどんどん増えてきましたが、人がいなくて成り立たなくなつているところもあるみたいです。

稗田

田舎は専門学校を卒業しても戻つてこない。実習に来たときには声掛けをするけ

なきやだめだから、質が落ちてしまう。不幸を見るのは利用者なんだよね。

稗田

学生にしたら嬉しい話ですよ。来てくれるか来ないかはわかりませんけど。

職員確保につなげるのには実習だと思います。それは施設長の大変な仕事です。できるだけコミュニケーションをうまくやつておけば、勤めたいという人がいると思います。

石川

実習生が泊まるところはあるんですか。

稗田

各施設にありますよ。職員住宅もどんどん増やしました。職員採用のときに住宅ありとか、寮ありとか書かなければ、人は来ませんよ。昔みたいにアパートは自分で探しながらといつても、こんな小さな町ですから。こここの職員をターゲットにしてアパートを開設した人もいます。

石川

ところで法人では社会福祉士とか介護福祉士の資格をとるときには、何か応援されていますか。

稗田

やっていますよ。資格をとつたら手当がつきます。それこそ共済会の助成もあるし。介護福祉士が養護老人ホームに実習に来るということはほとんどないから、介護福祉士は別に探さなきやいけないよ。国家試験が義務化されてきたから、これからはますます大変になると思います。

福音にマンパワーというか、人を取り戻す工夫を真剣に考えないといけないね。そのためにも共済会には頑張ってほしいね。

石川

いま職員確保の話があつて思い出しました。



当時、バイキング形式の食事は珍しかった(昭和46年頃)



日本で初めて実施された配食サービス(昭和47年頃)

# 地域福祉をどう担うのかいつも考えました。 配食サービスは日本で初めて実施したんですよ。

緑ヶ丘老人ホーム前にて

たが、ずいぶん昔に、先生に教えていただけ  
いたことで大切に思っていることがあります。

それは「人材財産」というお考えでした。自分はそんなに金を持っているわけでもない。しかし、自分にはいろんな人がまわりにいて、私を助けてくれる。その人たちの価値は計りしれない。心が豊かになると話されました。お金よりも大切なものは人だよと。そこには職員さんも含まれますよね。

稗田 思いだしたよ、友人や知人、部下の価値は何十億円になると言つたね。そんな話、講演とか何かにも書いた記憶があるね。

石川 それでぼくに値段をつけたらいくらくらいかと訊いたら、石川くんはまだ若いから六百万円って言われました。ぼく、安くないですか（笑）。

稗田 そうだったかい？

石川 先生、ここに懐かしい写真があります。昔の緑ヶ丘老人ホームのアルバムからお借りしてきたのですが。わあ、懐かしいですね。昔は自給自足、みんな、血氣盛んでしたから何でもやりま

したね。行事もいろいろありました。うちには日帰り旅行なんかも早かつたです。

テレホンサービスもやりました。地域の独居老人に安否確認するためと、元気をつけるために、十時なら十時と決めて、職員がボランティアで電話するんです。

地域福祉を施設はどう担うことができるか……そういうことはいつも考えていました。食事のバイキングを取り入れたのも早かつたですよ。ぼくは栄養士だったから、食事にはとても関心がありました。最初から盛り付けて出すと無駄があつて、提供されたものが多いとか足りないとか、バധキングだと必要な分だけとつて食べるでしょう。でも、これをやるには職員の協力がないとできない。初めてやるときには、どの時間帯がいいか。朝は職員が二人しかいないから大変だということで、昼にしようとか、いろいろ試行錯誤しました。

配食サービスもやりましたよ。これはテレホンサービスとセットですね。配食サービスも日本で初めてです。若いころはいろいろひらめきました。でも実行に移すには困難もあります。多くの人の協力を得



るためには、相手を説得しなくてはならないから。ぼくはピーアールするのが下手だし(笑)。

石川 先生、今現場で働いている人、またこれら働く人に対し、何か伝えたいことつてありますか。

最近は交流の場が少ないような気がします。今の若い人ってお酒飲まないでしょ。

ぼくが酒飲みだから思うのかな。昔は職員と酒を飲みながら、いろんな話をしたね。そういう時のほうがいいアイディアがうかぶんだよ。飲んだらもつと心開いて楽しくなるよ。まあ、酒を飲めない人もいるし、必ずしも酒を飲まなきやダメではないけど、お互いに心を開いて話をすることは大切だと思うよ。

石川 まずは、まわりとのコミュニケーションを疎かにしないでほしいと。

稗田 そして福祉の心、他人を思いやること、このことだけは、一生通じて大切なものです。職場であろうとも、家庭であろうとも、なんでもけつこうですが、他人に思いやりを施せる人になつてほしい。福祉に関心

をもつてもらい、自分ができることからやつてもらう。あれもしく、これもせよといふと、人間、嫌になつてしまふからね。やつてゐるうちに専門職が必要だと目覚めたら、そのうちに講習を受けたり、資格をとつたりすればいいでしょ。

石川 福祉への関心というのが大事ということですね。他人への関心ですね。学生も実習にいて現場で刺激を受けて、大きく変わることがあります。きっかけが必要だと思います。

稗田 今、学校教育はどうなつてているのでしょうか。小さい時から福祉施設を教育の場として、使えないでしょか。年に一日でもいいから、「福祉の日」ができるといいですね。今日行つた老人ホームにおじいちゃん、おばあちゃんがいて、おかしなことしゃべつていたよ……そんなことでいいんです。家族がその話を聞いて、行つてきた話に補足してあげればいいでしょ。人生で福祉にかかるわらないことはないのだから。小さい時に、ちょっと動機づけしてくれればいいのです。

石川 福祉の現場を教育の場に、ですね。タイト



# 福祉施設を教育の場として 年に一度、「福祉の日」ができるといいですね。

ル、決まりましたね。

子どもは一年に一回か二回しか行かないところに興味をもつんですよ。国民ひとりひとりが福祉を考える日、やる日、本当に「福祉の日」があればいいですね。

稗田先生、今日はいろいろと貴重なお話を伺うことができました。どうもありがとうございました。最後に、これから福祉を担う人たちになにかもうひとつこと、いただけませんか。

さすがにこの歳になると昔の記憶がありまいかになつて、うまく話せないことが多くて残念だね。五年か十年くらい前だったら、もつとたくさん話ができるただけどなあ(笑)。

でもね、こうやつて話しているうちに思い出したことも、今日はたくさんあります。ぼくはもう現場を離れて何年も立つから、できることは限られるけど、次の時代を生きる人が、これから福祉をもつともつと良くするために知恵と汗を絞つてくれると信じています。

それと、今回こうやつて話をさせてもらつて、少しでも自分の経験などが何かのお役に立てるなら、こんなにしあわせなことはないです。そして、ちゃんと記録として残していくだけることはとても嬉しいです。

(収録／2017年夏)

## 価値ある社会福祉実践のバトンの受け渡しを

石川 秀也

今回の対談、そしてブナ林での散歩、本当に楽しく、豊かな時間でありました。稗田静男先生はとても不思議な方で、先生とご一緒にいると、周りの空気が温かく、穏やかになると、周囲の慈しみと素敵なお人柄がそうさせるのであります。

先生と私の出会いは、40年以上前

にさかのぼります。私が北海道社会福祉協議会に勤務していた折、先生が会長をお務めになつて、「北海道社会福祉協議会老人福祉施設協議会(現在の北海道老人福祉施設協議会)」の事務局を担当させていただいたことがあります。きっかけです。いつしか同会の会議終了後に先生にお誘いいただいて食事をご馳走になるようになり、心弾ませながら何度もお供をさせていただき、二次

会と称して拙宅にお越しいただいたこともあります。

先生は、「自分は108歳まで生きる」とおっしゃいます。現在90歳の先生は、とてもかくしゃくとされ、精神性の豊かさや洞察力の深さと識見の高さをお持ちであり、ご長寿世界一も夢ではないかもしません。

今後の社会保障をめぐる情勢は、楽觀を許さないものがあります。現在の、そして未来の社会福祉実践者の皆様、かけがえのない人々の命と暮らしを守り高めていくため、ソーシャル・アクションを含めた価値ある実践とご尽力を心よりお願いいたします。

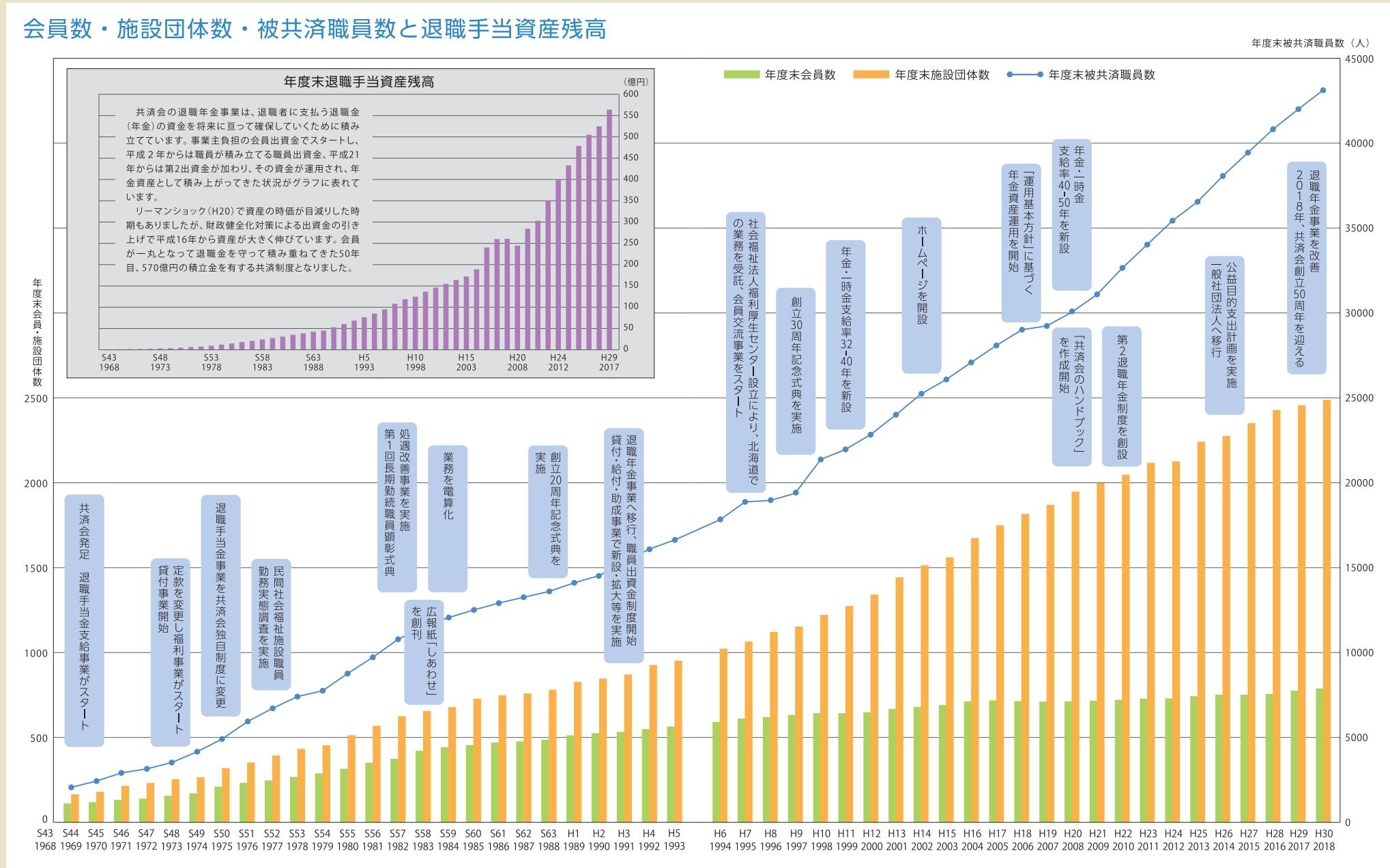


1968 - 2018

# 共済会のあゆみ

# グラフで見る共済会の発展と推移 [1968-2018]

## 会員数・施設団体数・被共済職員数と退職手当資産残高



【1968—1974】

## 民間社会福祉従事者の待遇向上を求めて共済会が発足

和暦(西暦)	会と事業の動き	福祉の動き	社会のできごと
昭和 43年(1968) 3月29日	・北海道民間社会福祉事業職員共済会の設立総会を開催、阿部謙夫氏(道社協会長)を設立代表者とし、社団法人の申請を道に提出 ・社団法人北海道民間社会福祉事業職員共済会発足、北海道から出損金5千万円、業務は道社協に委託、会員出資金25/1000 ・第1回理事会を開催	北海道立社会福祉会館	・川端康成がノーベル文学賞を受賞 ・十勝沖地震 ・三億円事件
4月1日			・アポロ11号(アメリカ)が月面着陸に成功
4月18日			
44年(1969) 3月5日	・設立後第1回総会となる昭和43年度通常総会を開催		
4月1日	・事業開始から一年を経過し、退職手当金の給付を開始(本俸と共に法の計算基礎額との差額補てん方式による)		
6月6日	・第1回運営委員会を開催		
45年(1970) 4月1日	・定款を改正し、正会員の資格に任意団体を追加	・心身障害者対策基本法成立	・日本万国博覧会(大阪) ・高齢化率7%を越える ・よど号ハイジャック事件
46年(1971) 7月26日	・共済制度改善委員会設置(退職手当金の独自支給率の検討)	・児童手当法施行(現金給付による養育支援)	・沖縄返還協定調印
47年(1972) 4月1日	・定款を変更し福利事業がスタート、死亡弔慰金開始(有扶養10万円、無扶養5万円)、被共済職員負担掛金3/1000、福利事業への道補助金200万円(以後昭和52年度まで累計520万円) ・退職手当金事業の計算方法を変更し(これまでの差額補てん方式による額と退職者の出資金総額の比較により、大きい方の額を支給)、会員出資金22/1000に変更 ・野村琢民氏(社会福祉法人柏葉荘理事長)が会長に就任 ・貸付事業開始(住宅資金80万円、生活資金15万円)	・老人福祉法改正(老人医療費を無料化)	・冬季オリンピック札幌大会 ・あさま山莊事件 ・男女雇用機会均等法 ・日中、国交樹立
4月4日			
7月1日			
48年(1973) 4月1日	・道社協から独立し、事務局4名で始動	[福祉元年] ・健康保険給付は改善、家族も7割に ・高額療養費制度新設 ・厚生年金給付引き上げ、物価スライド制導入	・オイルショック ・第2次ベビーブームをピークに子どもの数が減少する少子化社会に突入
49年(1974) 4月1日	・退職手当金事業を共済会独自の支給率による制度に変更 ・結婚祝金と出産祝金(各3千円)を新設、住宅資金の限度額を120万円に引き上げ		・経済成長率が戦後初めてマイナスになる ・フィリピンで旧日本兵(小野田寛郎)が発見される ・巨人軍、長島茂雄引退

\*青字は退職年金事業の動き 赤字は福利事業の動き

【わたしのしあわせ】娘が2年後台湾の大学へ留学に行きます。16年間2人で頑張ってきました。わたしの幸せは、家族が元気で笑って生きていけることです。  
心羽空さん (千歳市・女性)

福祉施設職員が身分保障について自ら声を上げたのは、北海道社会福祉協議会(以下「道社協」)が誕生して開催された全道社会福祉大会でした。以後、毎年「公務員並みの待遇改善」を掲げ、給与、諸手当の改善とともに退職金積立制度の要望が挙げられました。

昭和三十一年には道社協を中心とした「公務員並み」の退職金には程遠く、さらには社会福祉団体職員が除外されていたため、再び「北海道独自の共済制度の創設を」という要望が高まりました。

これを受けて道社協施設部会が制度の実現を図ることを決め、関係各方面への働きかけや私学共済制度の調査を実施し、昭和四十二年に北海道へ要望書を正式に提出して予算化を強く要望しました。道民生部は、掛け金や利回り、施設職員の給与など様々な数字をまとめて制度設計を行ったとともに、出資金として初年度三千万円、二年目一千円、三年目二千万円の道費支出を決定し、実現を確実なものにしました。

昭和四十三年三月二十九日、福祉施設や関係団体の代表者が出席して設立総会が開催されました。阿部謙夫道社協会長を初代会長に選出し、定款等を定め、法人設立手続きを経て、四月一日、

ても「公務員並み」の退職金には程遠く、さらには社会福祉団体職員が除外されていたため、再び「北海道独自の共済制度の創設を」という要望が高まりました。

これを受けて道社協施設部会が制度の実現を図ることを決め、関係各方面への働きかけや私学共済制度の調査を実施し、昭和四十二年に北海道へ要望書を正式に提出して予算化を強く要望しました。道民生部は、掛け金や利回り、施設職員の給与など様々な数字をまとめて制度設計を行ったとともに、出資金として初年度三千万円、二年目一千円、三年目二千万円の道費支出を決定し、実現を確実なものにしました。



【未来の自分へひとこと】福祉に関わる仕事に就き、20年以上が経ちます。未来の自分が、出来ることは出来る限り続けながら、健やかに年を重ねていきましょうという言葉を贈ります。けんけんさん(旭川市・女性)

共済会が発足しました。  
スタートの退職手当金給付事業は國の退職手当共済制度による支給額との差額給付だったた  
れを受け道社協施設部会が制度の実現を図ることを決め、関係各方面への働きかけや私学共済制度の調査を実施し、昭和四十二年に北海道へ要望書を正式に提出して予算化を強く要望しました。道民生部は、掛け金や利回り、施設職員の給与など様々な数字をまとめて制度設計を行ったとともに、出資金として初年度三千万円、二年目一千円、三年目二千万円の道費支出を決定し、実現を確実なものにしました。

この間、制度改善委員会や運営委員会が設置され、昭和四十年にはそれまで道社協に委託をしていた事務局が独立するなど、組織の基盤整備が行われました。

福利事業は、被共済職員負担の掛金千分の三を定め、道費補助と合わせて財源とし、昭和四十七年に死亡弔慰金、住宅生活資金貸付を開始しました。以降は結婚祝金、出産祝金など次々と事業の新設改善が進みました。

この間、制度改善委員会や運営委員会が設置され、昭和四十年にはそれまで道社協に委託をしていた事務局が独立するなど、組織の基盤整備が行われました。

福利事業は、被共済職員負担の掛金千分の三を定め、道費補助と合わせて財源とし、昭和四十七年に死亡弔慰金、住宅生活資金貸付を開始しました。以降は結婚祝金、出産祝金など次々と事業の新設改善が進みました。

この間、制度改善委員会や運営委員会が設置され、昭和四十年にはそれまで道社協に委託をしていた事務局が独立するなど、組織の基盤整備が行われました。

この間、制度改善委員会や運営委員会が設置され、昭和四十年にはそれまで道社協に委託をしていた事務局が独立するなど、組織の基盤整備が行われました。

この間、制度改善委員会や運営委員会が設置され、昭和四十年にはそれまで道社協に委託をしていた事務局が独立するなど、組織の基盤整備が行われました。

福利事業は、被共済職員負担の掛金千分の三を定め、道費補助と合わせて財源とし、昭和四十七年に死亡弔慰金、住宅生活資金貸付を開始しました。以降は結婚祝金、出産祝金など次

1975—1981

和暦(西暦)	会と事業の動き	福祉の動き	社会のできごと
昭和 50年(1975) 1月20日	・北海道に陳情(退職手当給付金の改善、福利新規事業の実施、貸付事業借入金の利子補てん、長期勤続職員に対する過去勤務の通算)		
51年(1976) 4月1日 8月9日 10月1日	・災害見舞金(5千円~1万円)新設、結婚祝金と出産祝金を5千円に引き上げ ・年金制度の実施検討に着手、道民生部と打合せ開始 ・北海道立社会福祉会館建て替えのため、事務所を協栄生命ビルに移転		・道庁ロビー爆弾爆発事件 ・ロッキード事件
52年(1977) 8月25日 12月7日 12月	・有珠山噴火被災3施設53名への災害見舞金特例給付 ・福祉相談室開設 ・共済会制度強化(年金制度実現)要望書を道へ提出	北海道立社会福祉総合センター	有珠山噴火 写真:洞爺湖有珠山ジオパーク提供
53年(1978) 4月1日 5月19日 12月26日	・結婚祝金を1万円に引き上げ ・民間社会福祉施設職員勤務実態調査を開始し、「民間社会福祉施設職員待遇問題研究協議会」を設置 ・北海道立社会福祉総合センターの完成により移転	・「新経済社会7か年計画」(家族や地域の連帯を基盤とする「日本型福祉社会」の提案)	・日本で初めて先進国首脳会議(東京サミット)開催 ・ソニーがウォークマン発売
54年(1979) 4月1日 5月1日	・年金制度創設の意向調査を実施 ・「民間社会福祉施設職員待遇問題研究協議会」の実態調査結果に基づく意見具申書(公私間格差是正を中心とした待遇改善策)を関係方面に提出 ・年金制度創設意向調査結果にもとづく民間施設職員の待遇改善事業計画を道知事及び関係機関に提出し、その実現を要望		・ルービックキューブが大ブームに
55年(1980) 4月1日 11月1日	・生活資金を30万円に引き上げ、災害見舞金給付額を1万円~3万円に引き上げ ・道社協より社会福祉事業振興会(現在、福祉医療機構)退職共済業務を受託		
56年(1981) 1月29日 6月1日 7月31日 9月19日 11月11日	・待遇改善事業(特別住宅資金貸付事業等新規事業)に対する道費補助の要望書を道知事、道議会に提出 ・待遇改善事業を実施(特別住宅資金貸付150万円、配偶者弔慰金3万円、傷病見舞金1万円、健康管理助成金上限2万円、研修助成金2万円、スポーツ等助成金、長期勤続職員顕彰事業を新設)(結婚祝金を2万円に、出産祝金を1万円に、災害見舞金を3万円~30万円に引き上げ)、掛金を会員負担1,5/1000、職員負担4,5/1000に変更 ・道補助金交付決定(昭和56年から5年間で2億円) ・福利厚生基金造成開始(10年計画、5億8千万円) ・第1回長期勤続職員顕彰式典を実施(フジサンタスホテル)	・国際障害者年(以後ノーマライゼーション理念が日本にも) ・第二次臨時行政調査会設置(増税なき財政再建行財政改革の進行) ・福祉見直し論調の高まり ・母子及び寡婦福祉法	・北炭夕張新鉱でガス突事故

※青字は退職年金事業の動き 赤字は福利事業の動き

制度改善委員会や運営委員会を中心に議論されたいた「年金制度」の創設は、北海道に協力を求めるために本格的な検討に入りました。昭和五十三年には「民間社会福祉施設職員待遇問題研究協議会」を設置しました。

社会福祉施設職員勤務実態調査として給与実態等細部の調査と待遇改善方策立案のため、「民間社会福祉施設職員待遇問題研究協議会」が設置されました。

調査結果には、当時の勤務実態が下段のように記録されています。

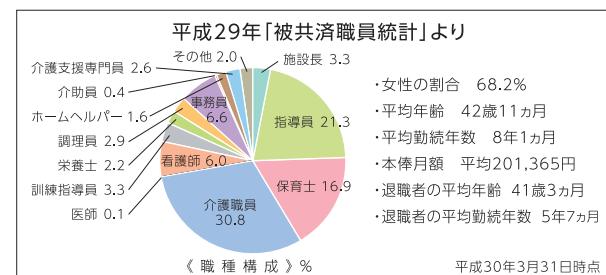
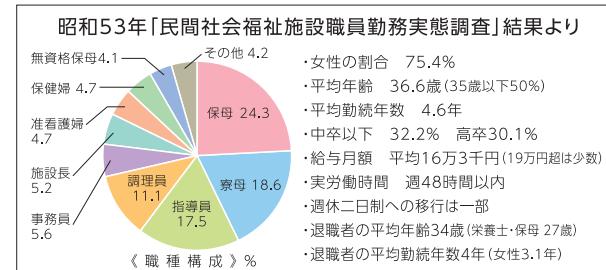
翌年には会員への意向調査を実施し、掛金に見合う給付と道費補助を条件としながらも、厚生年金を補完する年金制度の実施を強く望む結果となりました。

これを受けて、老後の生活保障と年金補助五千万円を希望しました。しかしながら、加入者の将来動向が不透明なことと北海道の厳しい財政事情から補助は見送られることとなり、年

間で二億円を拠出し、事業継続に備える福利厚生基金(積立目標五億八千万円)を造成しながら事業を展開することとなり、これが現在の福利事業の基となりました。

この年に第一回開催となつた長期勤続職員顕彰事業は、フジヤサンタスホテルを会場に、勤続四十年以上、三十年、二十年、十年の長期勤続者二九四名中二九一名が出席して、表彰、記念講演、祝宴が行われました。

北海道は昭和五十六年から五年間で、この頃は福祉施設の整備が急速に進んでおり、年度末で被共済員が一万名を超えるました。



【わたしのあゆみ】 サロンには、毎日たくさんの親子が遊びに来ます。初めて子育てや転勤してきたお母さんが、「ここに来て良かった」と素敵なお顔で話すのを見た時、また楽しそうに遊ぶ子どもの声を聞いた時に、しあわせを感じます。 まいるさん(函館市・女性)

【共済会50周年に寄せて】 共済会50周年、私も今年で50歳…ではありませんが、一年一年積み重ねての50年。私はこれから10年。共済会が目指すは福祉のあるかぎり100年、200年、300年。 私は64さん(鷹栖町・男性)

【1982—1987】

## 組織・事業の拡大と運営基盤の確立

昭和五十七年は創立十五周年を迎えた。第二回顕彰式典と合わせて記念式典を開催しました。式典では、二十年以上社会福祉関係法人の代表者として福祉の発展に尽力された方に感謝状と記念品が贈られ、以後も周年事業として実施されてきました。

また記念事業として、節目の勤続年数を過ぎた規格外の長期勤続職員一千二百四十二名の顕彰を実施しました。さらに、特別慰労金の制度を開始し、在会十五年で十万円、以降一年毎に一万円ずつ退職金に加算しました。この慰労金は、財政健全化対策により平成八年度で廃止されましたが、既得権分については今は引き継がれて退職時に加算しています。

これらの記念事業は、共済制度ができる以前から福祉に従事している長期勤続者に配慮したものでした。

この年の六月一日には、広報紙

「しあわせ」が共済だよりとして創刊されました。

退職手当金は、算定基礎となる標準本俸月額上限を二十五万円に引き上げ、国の退職手当共済制度と合わせると最高七百万円が給付されるようになります。

た。課税される時期に達したことから、税法上の退職所得と見なすための必要な要件を整え、昭和五十八年から退職金規定の整備、出資金累計額の資産計上等の会計処理と税務処理を会員において実施することとなりました。

経済環境が良好だったこの期

には、新しい事業も開始されました。

そのひとつは、労基法上の社内預金に位置づく福祉貯金事業です。給与天引きで月千円から貯金でき、年利七二〇という高利回り。一時中斷や解約も月一回は自由というのが好評でした。

中央信託銀行（現三井住友信託銀行）札幌支店がシステムをつくって運用

し、ピークは五千人以上が利用、五十六億円の預金残高になります。

また、傷病見舞金の申請内容を通して、加入者の健康に目をつけた時期でもありました。健康増進と職員同士の交流を深める趣旨で、全施設に卓球台などの健康器具を四年計画で配付しました。

さらに入間ドック助成対象を拡大。万が一に備えては、死亡保険金を二千万円まで受け取る割安保険料の団体定期保険事業を、日本生命相互保険会社と開始しました。

事務局においては、毎年加入者や事業が増えしていく中で、コンピューターの導入は時代の要請と

共に必然でした。切替えには苦労があつたものの、北海道電子計算センター（HDC）と開発したシステムにより、出資金・掛金請求書の発行で会員の事務負担を軽減、

退職手当金や給付助成金の迅速な支給など事務の効率化が進み

ました。さらに公益法人会計基準への変更、基本財産の設定など、運営基盤を確立していく中で五年が経ち、創立三十周年を迎えた。

和暦(西暦)	会と事業の動き	福祉の動き	社会のできごと
昭和 57年(1982) 6月1日	・創立15周年を記念し広報紙「しあわせ」創刊号を発行 ・創立15周年記念式典を実施、規格外の長期勤続職員(勤続21~29年、勤続11~19年)の顕彰と在任20年以上の長期就任法人理事長への感謝状贈呈を実施、15周年記念誌を発行 ・長期勤続職員特別慰労金制度を開始(在会15年で10万円、以降1年1万円を加算)	・老人保健法(高齢者医療の自己負担復活)	・北海道博覧会開催  写真:札幌市公文書館所蔵
58年(1983) 4月1日	・死亡弔慰金を一律10万円に引き上げ、配偶者弔慰金を5万円に引き上げ、出産祝金を被共済職員である夫婦には両方に支給するよう改正 ・公益法人会計基準による会計処理に変更 ・退職所得の課税問題に対応し、会員における会計処理と税務処理方法の決定と説明を実施 ・福祉貯金事業開始、福祉貯金代表預金保全委員会を設置 ・スポーツ用具配付事業実施(卓球台、ローライニングメカ、ヘルスキング、万歩計)	・国連・障害者の10年(1983~92) ・市町村社会福祉協議会の法制化	・東京ディズニーランド開園 ・北海道知事・横路孝弘当選
6月1日	・業務の電算化、出資金・掛金請求事務稼働 ・道補助金の継続要望書提出	・日本電信電話公社が民営化 NTTとなる	
59年(1984) 4月1日 10月25日	・団体定期保険事業(1年掛け捨て保険、250万円~2,000万円の死亡保険)を開始	・年金改革で基礎年金を導入し一元化 ・機関委任事務合理化法(国から地方自治体への分権化) ・老人保健施設の制度化	・日航機御巣鷹山墜落事故
60年(1985) 8月1日	・結婚祝金と出産祝金の支給要件(加入1年)を廃止、健康管理助成対象を拡大(5年以内35歳以上→3年以上30歳以上)	・第1回冬季アジア競技札幌大会開幕	
61年(1986) 4月1日	・創立20周年記念式典を実施、記念事業として被共済職員に記念品(オリジナルテレフォンカード)を配付	・社会福祉士及び介護福祉士法(福祉分野での国家資格) ・精神保健法施行	・国鉄分割民営化
62年(1987) 10月30日			

※青字は退職年金事業の動き 赤字は福利事業の動き



創立20周年記念  
オリジナルテレfon  
カード



創立15周年式典の様子



初代パソコン

【わたしのしあわせ】 我が家の夜ご飯は旦那さんが担当しています！夜勤の日も、自分は食べないのに作ってくれます！ むぎさん(札幌市・女性)

【わたしのしあわせ】 私の幸せは毎朝6時前の出勤時に「いってらっしゃい」と言いながら元気よくハイタッチしてくれる息子との触れ合いです。早起きのできない日は、愛嬌のある引き込まれるような寝顔を見せてくれます。シャボンの香りさん(札幌市・女性)

# 1988—1992

## 退職手当金支給事業から退職年金事業へ

和暦(西暦)	会と事業の動き	福祉の動き	社会のできごと
昭和 63年(1988)			
平成 元年(1989) 1月14日	・「民間社会福祉事業職員待遇問題研究協議会」を設置、退職金・年金小委員会と福利厚生小委員会を設けて事業検討を実施 ・「民間社会福祉事業職員待遇問題研究協議会」から具申書提出	・福祉関係3審議会合同企画分科会「今後の福祉のあり方について」(在宅福祉三本柱を中心とした福祉サービス拡充の方向へ)  ・高齢者保健福祉推進「十か年戦略」(ゴールドプラン)高齢者の保健・福祉の公共サービス基盤を整備	・青函トンネル開業  ・昭和天皇崩御 ・消費税3%が開始 ・ベルリンの壁崩壊
11月24日			
2年(1990) 4月1日	・退職手当金支給事業を退職年金事業とし、10年有期の年金給付及び職員出資金11/1000拠出を開始  ・貸付事業は、一般住宅資金と特別住宅資金を一本化し、住宅資金300万、生活資金の名称を変え一般資金100万円、教育目的等限定の低利の貸付として特別資金50万円を新設  ・給付事業は、血族一親等死亡弔慰金1万円を新設、出産祝金を2万円に引き上げ、結婚祝金と出産祝金は退職後10カ月以内の事由発生まで支給要件を拡大  ・助成事業は、健康管理助成金の健診対象に社会保険健診を追加し半額助成に変更、スポーツ等助成金を福利厚生助成金に名称変更し、助成目的を拡大  ・顕彰事業の記念品の額を制定(10年1万円以内、20年2万円以内、30年3万円以内)	・福祉関係八法改正(市町村の役割重視、在宅福祉の充実など「福祉改革」の先駆けとなる)	・大学入試センター第1回試験実施 ・東西ドイツ統一 ・雲仙・普賢岳が約200年ぶりに噴火 ・任天堂が家庭用テレビゲーム機「スーパー ファミコン」を発売
3年(1991) 6月3日	・職員拠出に対する労基法上の問題が浮上し、「退職年金事業検討委員会」を設置して検討を実施	・育児介護休業法制定	
10月19日	・道立道民活動センター(ができる2・7)が完成し、社会福祉総合センターが移転。共済会の事務所は4階に入居		
4年(1992) 4月1日	・職員出資金を任意拠出に変更し、被共済職員に加入確認を実施、非加入者に脱退給付金を支給  ・運営委員会に財政健全化と事業の見直しについて諮問。以降4年間検討  ・運営委員会に「福利厚生検討小委員会」設置 ・川村一公認会計士による監査を導入	・道立道民活動センター(ができる2・7)	・瀬戸戦争 ・バブル経済の崩壊 ・道産子宇宙飛行士毛利衛さん宇宙へ
4月7日			
5月6日 8月1日			

※青字は退職年金事業の動き 赤字は福利事業の動き

昭和から平成へのこの期には、かねてから懸案だった退職年金事業の実施と福利事業の充実に取り組みました。この検討のため、業種別の事業主代表、職員代表、役員代表、北海道生活福祉部から行政代表を委嘱し、「民間社会福祉事業職員待遇問題研究協議会」を設置しました。協議会は、年金と福利厚生の小委員会に分かれ、調査研究、会員への意向調査と説明会の実施、加入者への周知に取り組みました。

年金では、在会二十年以上かつ年齢五十五歳以上で退職した時は年金(十年の分割払い)を選択できるようにし、老後所得の確保を目的に、職員拠出(職員出資金)制度の導入を具申しました。この時、制度設計と財政計算を委託したのは、幹事銀行として今も制度運営を支えている三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)でした。

福利厚生では、公務員や他府県の提案も、總会決議、知事の承認を得て、平成二年度から実施されました。

ところが、職員出資金を徴収する段階で会員・被共済職員の一部から拠出拒否という形で労働基準法上の問題が提起されました。

この問題の解決のため、「退職年金事業検討委員会」を設置し、強制貯金をめぐる法的解釈と職員出資金制度の位置づけについて専門家を交えて検討しました。その結果、職員出資金部分を任意拠出とする制度の変更を行うこととなりました。平成四年四月一日付で被共済職員全員の加入確認ましたが、被共済職員の九十五%

が加入しました。

一方、福利事業は利用が増加し、特に貸付事業は貸付限度額の引き上げ等条件緩和により希望者が殺到して、年度途中で受付けを終了する事態となりました。前年対比三倍の利用となり、住宅の購入や増改築、自家用車の購入、子どもの教育資金などこの年だけで三億四千二百万円を貸付し、以後数年このような状況が続きました。

平成三年十月には、道立道民活動センター(ができる2・7)が建設され、社会福祉総合センターの移転に伴って共済会の事務所も引っ越しました。

そして、この期の終わりにもつ

とも衝撃的で、その後の会の制度

運営に大きな影響をもたらした出来事が、バブル経済の崩壊でした。

【わたしあのあわせ】 永年勤続で頂いた、南部鉄のすき焼き鍋。この鍋で家族揃って食卓を囲むと、身も心も暖まり、幸せを感じます。 ワンツースリーさん(帯広市・女性)



待遇問題研究協議会



理事会

【わたしのあわせ】 永年勤続で頂いた、南部鉄のすき焼き鍋。この鍋で家族揃って食卓を囲むと、身も心も暖まり、幸せを感じます。 ワンツースリーさん(帯広市・女性)

【共済会50周年に寄せて】 共済会を利用して久しぶりにコンサートに行くことができ、仕事・育児の息抜きになりました。これからも、毎日頑張っている職員さんの仕事疲れがふき飛ぶような心を元気にする事業をお願いします！ 猫大好きさん(旭川市・女性)

# 【1993—1999】 低金利時代の到来と制度運営の苦難

和暦(西暦)	会と事業の動き	福祉の動き	社会のできごと
平成 5年(1993) 3月23日 4月1日 7月6日 7月12日 11月10日	・年金資産運用に生命保険の一般勘定導入を決定 ・研修助成金対象資格に社会福祉士と介護福祉士を追加 ・運営委員会に「財政健全化対策等検討委員会」設置 ・北海道南西沖地震 被災者49名に災害見舞金 ・会員に財政健全化意向調査実施	・アジア太平洋障害者の10年 ・障害者基本法制定(精神障害者も福祉の対象に)	・Jリーグが開幕する ・北海道南西沖地震 ・米不足
6年(1994) 3月31日 4月1日	・福利厚生助成金を廃止 ・中川利若氏(元北海道副知事)が会長に就任 ・貸付事業の利率を引き下げ(5.5%→5.0%)、特別資金を100万円に引き上げ ・死亡弔慰金を引き上げ(被共済職員20万円、配偶者10万円、一親等2万円)、結婚祝金と出産祝金を3万円に引き上げ ・研修助成金対象資格に保母を追加、スポーツ大会助成金新設(全国大会50万円、全道大会20万円)、福利厚生旅行助成金2万円に新設 ・運営委員会に「財政健全化小委員会」設置 ・社会福祉法人福利厚生センター設立により、北海道での業務を受託。「福利厚生・企画情報会議」を設置	・高齢者保健福祉推進10か年戦略の見直し(新ゴールドプラン)  ・今後の子育て支援のための施策基本的方向について(エンゼルプラン) ・子どもの権利条約を日本批准 ・21世紀福祉ビジョン(少子・高齢社会対応)	・北海道東方沖地震
6月8日 7月1日	[ボランティア元年] ・障害者プラン～ノーマライゼーション7か年戦略」策定 ・「95年勧告」国として、健やかで安心できる生活の保障	・阪神・淡路大震災 ・地下鉄サリン事件(オウム真理教)	
7年(1995) 2月19日	・災害見舞金を3万円以上50万円以内に引き上げ、傷病見舞金を2万円に引き上げ ・出資金・掛金の口座引き落としを開始	・らい予防法廃止	・豊浜トンネル崩落事故 ・コンサドーレ札幌誕生
3月31日 4月1日	・財政健全化対策として会員出資金率を27/1000に引き上げ ・住宅資金を500万円に引き上げ、ボーナス併用償還の開始 ・運営委員会に「小委員会」設置	・精神保健福祉士 ・介護保険法制定(施行は2000年) ・社会福祉の基礎構造改革について(社会福祉の市場化へ)	・消費税5%になる ・北海道拓殖銀行経営破綻 
5月11日	・灾害見舞金を3万円以上50万円以内に引き上げ、傷病見舞金を2万円に引き上げ ・貸付事業の利率を引き下げ(5.0%→4.0%)、一般資金150万円に引き上げ、借換え制度導入 ・健康管理助成事業の受診医療機関の指定を廃止し、助成額を2万円(社保5千円)に引き上げ ・貸付償還金の口座引き落としを開始 ・年金選択第1号の受給者に年金支給開始 ・創立30周年記念式典を実施、30周年記念誌を発行	・特定非営利活動促進法(NPO法) (社会福祉の地域活動の活性化)	・冬季オリンピック長野大会 ・北海道国際航空(エア・ドゥ)就航
10月	・特別慰労金制度を廃止(既得権は保障) ・貸付事業の利率を引き下げ(5.0%→4.0%)、一般資金150万円に引き上げ、借換え制度導入 ・健康管理助成事業の受診医療機関の指定を廃止し、助成額を2万円(社保5千円)に引き上げ ・貸付償還金の口座引き落としを開始 ・年金選択第1号の受給者に年金支給開始 ・創立30周年記念式典を実施、30周年記念誌を発行	・ユーロ誕生	
9年(1997) 3月31日 4月1日	・退職年金事業の会員出資金部分の給付支給率を変更(6~10年引き上げ、11~29・31年引下げ、32~40年新設) ・健康管理助成金の在会年数制限(3年以上)を撤廃して対象拡大 ・年金資産運用の生命保険一般勘定の保証利率低下により解約 ・貸付事業の利率を引き下げ(住宅と一般4.0%→3.0%、特別3.0%→2.0%) ・研修助成金の対象資格に介護支援専門員と精神保健福祉士を追加 ・福祉貯金事業を廃止精算		
10年(1998) 4月1日			
11年(1999) 3月31日 4月1日			
12月15日			

※ 青字は退職年金事業の動き 赤字は福利事業の動き

バブルが弾けると一氣に景気は後退局面に入り、公定歩合の引き下げ、株価の下落、預金金利の低落傾向が止まらず、年金資産の運用に深刻な陰を投げかけました。退職年金制度における予定期率五.五%に対して、徐々に下回る運用成績となっていました。この運用難の対策として取り入れたのが導入当時五.五%の利率保証がある生命保険(日本生命・明治生命)の一般勘定でした。この保証利率はその後段階的に一.五%まで引き下られ、平成十一年に解約したものの、その間低迷する年金信託の運用を支えました。

平成五年～七年にかけて運営委員会に小委員会を設置し、事業の見直しなど諸問・検討協議を行なう中、平成六年に元北海道副知事の中川利若氏が会長に就任し、財政健全化に取り組みました。翌七年には、会員出資金率を千分の五引き上げて千分の二十七とし、特別慰労金制度の廃止や福利厚生基金から四億円の繰り入れを実施して積立水準を改善しました。

退職年金制度は、会員出資金の引き上げにより、拠出と給付のバランスが崩れることから、平成十一年度において在会年数間の支給率調整を図りました。さらに、在会三十二年から四十年までの支給率を新設し、被共済職員の在会期間の延びに対応しました。低金利の波は福利事業にも押し寄せました。貸付事業においては、貸付利率を五.五%から数年まで見直し、平成十一年には三.〇%まで引き下げました。

福利貯金事業は、代表預金保全委員会を中心して制度運営を進めましたが、低金利による運用難で労働基準法に定める下限金利の遵守が困難になってしましました。事業開始時年利七.二〇%だった預金利は、事業を廃止する平成十一年には〇.五%まで下がっていました。

て、事業の見直しに統一され、年金財政、事業の見直しに統一されました。また、福祉職場で専門性が求められる中、社会福祉士や介護福祉士を始めとする新しい資格が研修助成金の対象に追加されていました。年金財政、事業の見直しに統一されました。

会と事業の動き 福祉の動き 社会のできごと

も進められました。会員の事務負担の軽減を図るために、出資金・掛け金・償還金の口座引き落としを導入し、事務局ではパソコン処理に応じたシステムに変更しました。

国においては、急速な高齢化に対応した福祉事業従事者の確保を図るため、平成六年、福祉人材センターと合わせて福利厚生センターを社会福祉事業法に位置付け、全国規模で福祉事業従事者の福利厚生を実施することになりました。本会は、会の設立目的や事業内容、会員の利益を総合的に判断し、北海道における福利厚生センター業務を受託することになりました。福利厚生・企画情報会議を設置し、道内で利用できるメニューを増やすことからソウエルクラブの活動が始まりました。

設立以来、退職年金事業と併せて福利事業の充実を図ってきた本会は、平成九年に創立三十周年を迎えました。

# 【2000—2004】

## 財政健全化対策と年金資産運用

和暦(西暦)	会と事業の動き	福祉の動き	社会のできごと
平成 12年(2000) 3月31日	・有珠山噴火 被災者13名に災害見舞金給付	・社会福祉構造改革実施 ・措置制度から契約へ ・民間企業など多様な提供主体の参入 ・社会福祉法(「利用者」の利益保護と地域社会福祉推進) ・児童虐待の防止等に関する法律 ・DV防止法制定(保護と罰則を定めた)	・有珠山噴火 ・九州・沖縄サミット ・2000円札発行
13年(2001) 4月1日 4月30日 10月1日 10月19日	・貸付事業の特別資金限度額を150万円に引き上げ ・広報紙しあわせを季刊発行に変更 ・ホームページを開設 ・長期勤続職員顕彰事業の見直し実施(顕彰状の簡略化、記念品に旅行券を導入、式典出席者を勤続30年以上に縮小)	・アメリカ同時多発テロ事件 ・ユニバーサル・スタジオ・ジャパン開園	
14年(2002) 4月1日	・理事・監事選考規程」「運営委員会委員の委嘱基準」を制定 ・運営委員会に資産運用小委員会を設置して、年金資産運用課題への検討体制を強化 ・健康管理助成金の社会保険健診の区分を廃止(国の事業見直しによる) ・研修助成金の対象資格に管理栄養士を追加 ・顧問弁護士を契約	・重点施策実施5か年計画(新障害者プラン)策定 ・ホームレス自立支援法	・FIFAワールドカップ日韓開催 ・日朝首脳会談(日本人拉致問題)
15年(2003) 4月1日 5月14日 7月14日	・健康管理助成金の助成額を健診料に応じた額に変更(2万円・1万円・5千円) ・公益法人改革により、上野昌美公認会計士による監査を外部監査に移行(公認会計士3名体制) ・「退職年金事業にかかる会員意向調査」を実施し、予定期率5.5%から2.0%への引き下げに伴う会員出資金及び職員出資金の引き上げについて意向調査を実施	・支援費制度施行(身体障害者・知的障害者に対するサービスが措置から契約へ)	・北海道知事・高橋はるみ当選 ・イラク戦争
9月26日 11月21日	・十勝沖地震 被災者5名に災害見舞金給付 ・運営委員会が「共済会退職年金事業健全化対策にかかる答申」を提出	・三位一体の改革(税源移譲、地方分権を推進)	・駒大苦小牧高甲子園で初全国制覇
16年(2004) 2月20日 3月31日 4月1日 5月1日 9月8日 10月1日	・年金資産運用にかかる「運用基本方針」及び「運用方針細則」を制定 ・北海道の関与団体(道が出資している団体)見直し方針による関与団体見直し計画に基づき、道の関与団体から外れ、道から収入した基本財産5千万円を取り崩して退職手当準備金に積立、次年度より道の財政難から補助金が廃止 ・「運用基本方針」に基づく年金資産運用を開始。政策アセットミックスを策定 ・株式会社ワトソンワイヤット(現タワーズワトン・インベストメントサービス株式会社)と資産運用コンサルティング契約を締結 ・インターネットによる情報公開(予算・決算)を開始 ・台風18号 被災者40名に災害見舞金給付 ・退職年金事業の財政健全化策として、予定期率を2.0%に引き下げ、会員出資金率を40/1000、職員出資金率を16/1000に引き上げ、職員退職一時金への既得権保証の措置を実施		・北海道日本ハムファイターズ誕生

※ 青字は退職年金事業の動き 赤字は福利事業の動き

【共済会50周年に寄せて】 共済会とは昭和56年からのお付き合い。保育の道に入り沢山の子供達、保護者の方々との出会いは私の財産です。子供達が様々な場で活躍し、子を持つ親として再会する機会もあり、それを喜びと励みに、日々感謝し頑張っております。上岡そのみさん(江別市・女性)

時代は二十一世紀に突入。介護保険の導入、インターネットの普及、株価の下落、長期金利の低迷と、会を取り巻く環境が大きく変化していました。

収益率がマイナスになるという厳しい運用環境下で、抜本的な財政健全化対策が求められました。

引き下げた制度運営が適切となりました。しかしそのためには、出資金率を大幅に引き上げるか、給付を引き下げる必要がありました。

結果、会員分は千分の四十、職員分は千分の十六に引き上げるこ

とが了解され、平成十六年度から実施になりました。大幅な引き上げは、会員にとって介護保険の

実施と重なり大変な負担増でした

たが、職員の退職金を下げないと

いう一致点で理解と協力をいただ

いた結果でした。

収入増となつた出資金の効率

運用を図るために、年金資産運用

体制の強化にも取り組みました。

資産運用に特化した協議を行って、会と取り巻く環境が大きく変化していました。

収益率がマイナスになるという厳しい運用環境下で、抜本的な財政健全化対策が求められました。

引き下げた制度運営が適切となりました。しかしそのためには、出資金率を大幅に引き上げるか、給付を引き下げる必要がありました。

結果、会員分は千分の四十、職員分は千分の十六に引き上げるこ

とが了解され、平成十六年度から実施になりました。大幅な引き上げは、会員にとって介護保険の

実施と重なり大変な負担増でした

たが、職員の退職金を下げないと

いう一致点で理解と協力をいただ

いた結果でした。

収入増となつた出資金の効率

運用を図るために、年金資産運用

体制の強化にも取り組みました。

資産運用に特化した協議を行って、会と取り巻く環境が大きく変化していました。

収益率がマイナスになるという厳しい運用環境下で、抜本的な財政健全化対策が求められました。

引き下げた制度運営が適切となりました。しかしそのためには、出資金率を大幅に引き上げるか、給付を引き下げる必要がありました。

結果、会員分は千分の四十、職員分は千分の十六に引き上げるこ

とが了解され、平成十六年度から実施になりました。大幅な引き上げは、会員にとって介護保険の

実施と重なり大変な負担増でした

たが、職員の退職金を下げないと

いう一致点で理解と協力をいただ

いた結果でした。

収入増となつた出資金の効率

運用を図るために、年金資産運用

体制の強化にも取り組みました。

資産運用に特化した協議を行って、会と取り巻く環境が大きく変化していました。

収益率がマイナスになるという厳しい運用環境下で、抜本的な財政健全化対策が求められました。

引き下げた制度運営が適切となりました。しかしそのためには、出資金率を大幅に引き上げるか、給付を引き下げる必要がありました。

結果、会員分は千分の四十、職員分は千分の十六に引き上げるこ

とが了解され、平成十六年度から実施されました。

収益率がマイナスになるという厳しい運用環境下で、抜本的な財政健全化対策が求められました。

引き下げた制度運営が適切となりました。しかしそのためには、出資金率を大幅に引き上げるか、給付を引き下げる必要がありました。

[2005–2009]

制度の位置づけと法令対応、ソウルクラブの活用

和暦(西暦)	会と事業の動き	福祉の動き	社会のできごと
平成 17年(2005) 4月1日	・定款を社団法人定款例に基づき大幅に変更、業務方 法書及び福利事業の個別規程を廃止し共済運営規程 を制定。退職年金規程は施行細則と一本化し、支給制 限の整理等規程整備のため変更		・愛知万博開催
18年(2006) 4月1日	・退職年金事業の在会年数間での支給率調整を実施 (在会6-10年支給率を引き上げ、11-31年引下げ) ・道社協から再委託により業務を行ってきた「社会福祉 施設職員等退職手当共済法」による退職共済業務を、独立行政法人福祉医療機構との直接業務委託契約に変更 ・運営委員会に、退職年金事業小委員会、福利事業小 委員会、資産運用小委員会を設置	・障害者自立支援法 ・退職手当共済法の改 正により介護施設職員 の掛金公費負担廃止 ・「高齢者の医療の確 保に関する法律」 ・認定こども園法 ・高年齢者雇用安定法 改正で、定年引上げ。 再雇用制度の推進	・知床が世界自然遺産 に登録
19年(2007) 3月 4月1日	・平成18年4月1日施行の改正保険業法に「企業内共 済制度」として対応 ・退職年金事業の年金・一時金支給率40-50%を新設 ・被共済職員の包括加入による福利厚生センター事業 (ソウエルクラブ)の利用を開始、これに伴い被共済職 員及び配偶者の死亡弔慰金を廃止。ニュース「ソウエ ルクラブ北海道」の毎月発行開始 ・出産祝金は双子以上の出産に対応し1子毎の給付に 変更、修研助成金対象資格に言語聴覚士、理学療法士、 作業療法士、看護師、調理師、社会福祉施設長資格を追 加、福利厚生行业助成金を廃止、顕彰事業は永年勤続 記念品贈呈事業に名称変更、対象期間を在会年数に変 更、勤続5年を追加		・世界金融危機(世界同 時不況)
4月30日 6月20日	・「共済会ハンドブック」を作成配付開始 ・「社会福祉施設職員等退職手当共済法」の変更による介 護保険事業への掛金公費補助廃止・支給率の引き下げ を受け、代替制度の必要性について会員意向調査を実施		・郵政民営化スタート ・年金記録問題発覚
20年(2008) 3月31日 4月1日	・年金債務の認識を「責任準備金」から「一斉退職要支給 額」に変更 ・公益法人制度改革への対応のため、理事会に「公益 申請検討委員会」を設置し検討開始 ・会員交流事業を全道展開するため、13地区に実行委 員会を設置、翌年には全20地区に設置		・後期高齢者医療制度 ・リーマンショック
12月1日	・公益法人制度改革による新法人への移行猶予期間 (5年)として、特例民法法人となる		・北海道洞爺湖サミット開催
21年(2009) 4月1日	・林陽氏(元北海道副知事)が会長に就任 ・職員出資金部分の退職一時金計算方式を累積給付型 に変更、第2退職年金制度を創設 ・改正保険業法に対応して共済運営規程を一部変更 (積立金の分別管理、債務の範囲、財政計画の再検討) ・金融商品取引法に対応して共済運営規程を一部変 更(積立金の運用)し、運用基本方針及び運用方針細則 について会員同意を文書で確認		・裁判員制度 ・民主党政権
6月19日 8月1日	・一般社団法人全国民間社会福祉從事者共済連絡協 議会の設立、加盟 ・電算システムを再構築し、新システムの稼働による 業務開始		

※赤字は退職年金事業の動き　青字は福利事業の動き

[共済会50周年に寄せて] 創立50周年おめでとうございます。会員交流の地区実行委員会を10年以上務め「帯広と言ったら、グルメ会！」を浸透させてきました。ただ常連さんが多く、もっと多くの会員に広めたいです。初参加待ってます。 学童おやじさん(帯広市・男性)

[未来の自分へひとこと] 今年は勤続22年。長かったようで短かった。色々な方々に出会い、勉強させてもらい自分も少しあは成長できたかな? 子供を3人授かり、働きながらの子育ては大変だったな。あと20年まだ頑張るぞ! Kokesiさん(若小牧市・女性)

翌十九年には、共済会と棲み分けが課題となっていた福利厚生センター事業の活用を図りました。福利厚生センターの法改正による福利厚生特例契約を利用して包括加入し、被公済職員全員が福利厚生センター事業を利用できるしくみをつくりました。本会が実施している福利事業と福利厚生センター事業のうち重複しているメニューは、内容が充実している方を選択し、センターに掛金を支払う方法となりました。

このしくみにより、保険業法との関係で縮小を迫られていた死亡弔慰金は、福利厚生センター事業に切り替え、六十万円（業務上は百八十万円）に給付額が拡大。講習会や会員交流事業は加入者が増えたことで全道展開となり、新規事業を展開していくことになりました。北海道での業務を受託し

受けて各地区に福利厚生企画員を中心とする会員交流事業実行委員会を設置し、ソウエルクラブによる会員出資金率の大軒な引き上げによって生じた拠出と給付のバランスの問題を解決するため、再度在会年数間の支給率を調整しました（六年～十年引き上げ、十一年以上引き下げ）。さらには設立から四十年を迎えるところで、支給率を五十年まで十年間新設しました。

平成二十一年四月からは、職員出資金部分の計算方式を累積給付型に変更して給付内容を改善し、併せて国の退職共済制度の代替制度として準備していた第2退職年金制度をスタートしました。

受けて各地区に福利厚生企画委員会を設置し、ソウエルクラブによる会員出資金率の大幅な引き上げによって生じた、拠出と給付のバランスの問題を解決するため、再度在会年数間の支給率を調整しました(六年～十年引き上げ、十二年以上引き下げ)。さらで、支給率を五十年まで十年間で、新設しました。

平成二十二年四月からは、職員出資金部分の計算方式を累積給付型に変更して給付内容を改善し、併せて国の退職共済制度の代替制度として準備していた第2退職年金制度をスタートしました。

本会の退職金制度では、退職金の支払者は事業主である各会員です。本会は、会員から退職金の原資(出資金)を毎月預かって運用管理し、二定の約束(退職年金規程)に基づいて、会員に代わつて退職金の支払い処理をするという位置づけになつています。そこは、共済法により退職金の支払者として認められている福祉・医療機構とは異なります。税法上の対応は昭和五十八年に整備されました。またが、平成十八年には、保険業法への対応が求められました。オレンジ・共済等の事件が問題となり保険業法が改正され、本会の共済制度が法に抵触するという見解でした。

さらに平成二十一年には金融商品取引法の改正により、年金資産運用がその法にも抵触することとなりました。これらは事業の根幹を搖るがす問題であることから、全国の共済会と連携して金融庁や関係方面との協議を重ね、

この時に交渉の窓口として活躍した全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会は平成二十二年六月に法人化し、本会も加盟して福社従事者共済事業の発展のために活動を展開するところとなりました。

会員に大きな影響をもたらしたのは平成十八年の共済法の改正でした。国の退職共済制度において、支給率を引き下げ、さらには介護保険事業に従事する職員の掛け金の公費負担を廃止するというものでした。それにより、多くの事業所が新しく採用する職員をこの制度に加入させないとする選択を行つたため、職員間の退職金額に大きな格差が生まれることとなりました。本会は代替制度の必要性について会員に意向調査を実施し、第2制度の創設準

備に着手しました。

受けて各地区に福利厚生企画委員会を中心とする会員交流事業実行委員会を設置し、ソウエルクラブ北海道事務局として事業を広げることとなりました。

退職年金事業は、財政健全化による会員出資金率の大幅な引き上げによつて生じた、拠出と給付のバランスの問題を解決するため、再度在会年数間の支給率を調整しました(六年～十年引き上げ、十一年以上引き下げ)。さらには設立から四十年を迎えるところで、支給率を五十年まで十年間新設しました。

# 2010—2013

## 公益法人制度改革と一般社団法人への移行

求められる内容となりました。

和暦(西暦)	会と事業の動き	福祉の動き	社会のできごと
平成22年(2010)6月	・北海道公益認定等審議会に本会の公益性について意見を求める。		
23年(2011)3月11日	・東北地方太平洋沖地震 被災者21名に災害見舞金、東北3県に見舞金		
3月23日	・第2回通常総会において、特例民法法人から移行する法人格は「一般社団法人」とすることを決定		
4月1日	・改正保険業法に対応して災害見舞金の給付上限額を10万円に引き下げ ・法人移行後の貸付事業の貸金業法適用除外を求めて、全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会と金融庁など関係機関に要請		
5月1日 7月26日	・林裕司法事務所と顧問契約 ・一般社団法人移行に向けて、理事会に「移行準備委員会」を設置。法人移行のため新日本アーンストアンドヤング税理士法人と、貸金業法対応のため森・濱田・松本法律事務所とコンサルティング契約	・障害者虐待防止法(2012年施行)	・鈴木草北海道大学名誉教授 ノーベル化学賞受賞 ・東日本大震災 ・福島原発事故
24年(2012)3月31日 4月1日 9月27日	・平成23年度決算より時価会計に移行 ・公益会計の平成20年基準に会計を移行 ・臨時総会を開催し、定款変更、林陽氏を代表理事に選任、公益目的支出計画策定等の手続きを行い、道へ一般社団法人(共益の活動を目的とする非営利型法人)の移行認可申請	・障害者総合支援法制定(2013年施行) ・子ども・子育て支援法	・スマートフォンの世帯普及率が約50%となる ・東京スカイツリーが開業
11月22日 12月11日	・道へ貸金業者登録 北海道知事(1)石第03054号 ・日本貸金業協会加入	・障害者差別解消法制定(2016年施行)	・富士山が世界遺産に登録
25年(2013)1月15日 2月4日 2月21日 3月6日	・広報紙しあわせの冬号から「ほっかいどう福祉だより」として道民向けに一部変更し、市町村社協等の協力を得て外部への配付を開始 ・「キャリアアップセミナー」を開催 ・日本信用情報機構(JICC)と契約 ・法人移行に伴う対応として、政策アセットミックスを変更し、課税対応商品(私募投資信託)へ資産移管開始	・日本、障害者権利条約を批准	・富士山が世界遺産に登録
3月18日 3月31日	・重要な会計方針の退職給付引当金計上額を、債務の上限額または期末予支給額に変更 ・法人移行に伴い貸付規程を廃止し、住宅・一般・特別の各資金貸付を終了		
4月1日	・特例民法法人の名称変更による「一般社団法人北海道民間社会福祉事業職員共済会」設立登記 ・会員出資金率を38/1000に引き下げ ・貸金業法に対応した新貸付制度を開始、「共済ライフサポート資金」(上限200万円、総量規制) ・公益目的支出計画の公益事業開始、「福祉施設と道民をつなぐ広報事業の実施」「公益セミナーの開催」「福祉職場ガイドへの協賛」 ・一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に基づく諸規程(理事会運営規程、理事の職務及び権限規定、他の制定・変更 ・新定款に基づき、「共済制度運営委員会」と「資産運用委員会」を設置 ・道から公益目的財産額確定通知(42億7,590万円、公益目的支出計画実施期間418年)。	・西之島の付近で噴火が発生して新島が出現	

※青字は退職年金事業の動き 赤字は福利事業の動き

【わたしのしあわせ】 この前、お父さんがたおれて入院しました。今は元気になったけど、家族みんなが元気でいられることが、ばくのしあわせです。  
たいようさん(深川市・男性11歳)

公益法人をめぐる不祥事が多発し、政府は公益法人制度そのものに問題があるとして抜本的な見直しを進めました。公益法人制度改革関連3法が制定され、四十年以上公益法人として運営してきた共済会は公益社団法人か一般社団法人のいずれかに移行することを迫られました。

平成二十年十一月にはこの法律の施行とともに「特例民法法人」に位置付けられ五年の間に移行しなければ解散という状況に置かれていきました。

この年から理事会に「公益申請検討委員会」を設置し、公益社団法人として其済事業を継続実施することを念頭に課題整理を行いました。この委員会検討の中心にいた林陽理事が翌平成二十一年に会長に就任し、検討と準備が進められました。

検討には、公益と一般の選択以外に、法的根拠に裏付けされた退職共済制度への移行を含めました。それ

の結果が一般社団法人へ移行を決定づけました。

法人移行にあたって理事会は、通常会に一般への移行を踏た上で「移行準備委員会」を設置し、コンサルタントや会計士から関連法、税制資産運用の各方面について専門的なナ

ショナルを経て準備を行いました。道へ登録、日本貸金業協会や信用情報機関に加入して準備を行いました。

こうした様々な協議と準備を重ねて北海道公益認定等委員会に移行申請手続きを行い、平成二十二年三月十八日に認可、同年四月一日移行登記

により、共益の活動を目的とする非営利型の一般社団法人となりました。

### ①公益目的支出計画

移行日前日の正味財産額を公益事業で費消することが義務付けられました。そのため、「福祉施設と道民をつなぐ広報事業として、これまで発行していた広報紙の内容を

一部一般向けに変更して発行、道民も参加できるセミナーの開催、道社協が主催する福祉職場ガイドへの協賛、この三つを計画しました。い

ずれも、会員と被共済職員にも役立つものとなることをを目指しました。

計画時は六億九千三百万円を六十八年で費消する予定でしたが、移

行前年度に市場環境が好転し、年金資産の評価益で正味財産額は、四十

二億七千五百万円に膨らみました。

そのため支出計画実施期間は結果的に四百十八年という途方もない年数に延びてしましましたが、道から

はこれが認められ、実施しています。

### ②定款変更

内閣府のモデル定款に沿つて全

て北海道公益認定等委員会に移行申請手続きを行い、平成二十二年三月十八日に認可、同年四月一日移行登記

により、共益の活動を目的とする非

営利型の一般社団法人となりました。

### ③課税対策

公益から外れたことで課税団体となりました。特に年金資産運用では、

収益への課税を意識した効率運用に努めるとともに、運用商品は課税団

体向けの私募投資信託(三菱UFJ

信託銀行・三井住友信託銀行と契約に切り替える必要となりました。

### ④貸金業法への対応

一般法人での貸付事業は、貸金業法の適用を受けるところとなりましたが、

被共済職員の貸付ニーズに応えるため、

これまでの貸付事業を廃止し、新貸

付規程を制定して共済ライフサポート資金の貸付を実施することを選択

しました。事務局に貸金業務取扱主任者を配置し、貸金業者として北海

道へ登録、日本貸金業協会や信用情

報機関に加入して準備を行いました。

こうした様々な協議と準備を重ねて北海道公益認定等委員会に移行申

請手続きを行い、平成二十二年三月

十八日に認可、同年四月一日移行登記

により、共益の活動を目的とする非

営利型の一般社団法人となりました。

# 【2013～2018】創立五十周年、退職年金制度の給付改善・安定運営

和暦(西暦)	会と事業の動き	福祉の動き	社会のできごと
平成 25年(2013) 8月21日	・総会で選任された会計監査人上野昌美公認会計士と監査契約により、法人法に基づく法定監査を開始。上野会計士のほか監査従事者3名、審査担当者1名の公認会計士による体制 ・全国公益法人協会に加入		
10月8日			
26年(2014) 3月17日	・「内部統制システムの整備に関する基本方針」を平成25年度第5回理事会で決議		
4月1日 9月12日	・研修助成金対象資格に幼稚園教諭を追加 ・今後の会員出資金率の引き下げと退職年金制度の見直し検討のため、「退職年金制度に関する調査」を会員に実施		
11月13日	・広報紙「あわせ100号」発行記念「しあわせ表紙イラスト展」を開催		
27年(2015) 2月1日	・国内債券の金利上昇リスクに対応するため、生命保険一般勘定の運用を導入		
7月22日	・退職年金制度変更検討のため、共済制度運営委員会に「退職年金制度検討部会」を設置		
12月17日	・マイナンバー法施行に伴い「特定個人情報取扱規程」を理事会で制定し、個人番号の取り扱いを開始		
28年(2016) 4月14日 8月30日	・熊本地震 熊本県社会福祉協議会に支援金 ・台風10号、今年3度目の台風となりこの間の被災者23名に災害見舞金		
29年(2017) 6月13日	・太田博氏(元北海道代表監査委員)が会長に就任 ・退職年金制度変更のため、退職年金規程を大幅に変更		
30年(2018) 3月31日	・年金資産政策アセットミックスを変更し、円ヘッジ付外国債券(パッシブ及びアクティブ)を導入。 ・共済会創立50周年を迎える		
4月1日			

\* 青字は退職年金事業の動き 赤字は福利事業の動き



総会の様子

策アセットミックスの変更に会員の同意を得て実施しました。平成三十一年四月一日改善された退職年金制度はスタートし、共済会は創立五十周年記念の日を迎えました。

【未来の自分へひとこと】 就職、そして共済会の会員になってもうすぐ20年。未来自分が永年勤続40年の表彰をされるまで、子どもからお年寄りの方々とのふれあいをしつつ健康な身体で働き続けてほしいと願うばかりです。 サクラさん(滝川市・女性)

一般社団法人に移行した平成二十五年度には、会員出資金率を引下げ、千分の三十八としました。財政健全化で千分の四十に引き上げてから十年、運用収益と合わせて資産を積み上げ、徐々に積立水準を回復し、百分を超える見通しとなつたのです。今後も積立水準の上昇が見込まれましたが、さらなる会員出資金率の引き下げは、現行制度の課題を整理した上で決定することとしました。課題となっていたのは、「制度の安定性・公平性」でした。

この検討課題は、それまでの運営委員会においても議論されていましたが、法人移行後に理事会の諮問機関として改めて設置された「共済制度運営委員会」に本格的な検討が委ねられました。委員会では、検討に先立ち会員の雇用実態と制度に対する意向を把握するため、「退職年金制度に関する調査」を実施しました。

この検討課題は、それまでの運営委員会においても議論されていましたが、法人移行後に理事会の諮問機関として改めて設置された「共済制度運営委員会」に本格的な検討が委ねられました。委員会では、検討に先立ち会員の雇用実態と制度に対する意向を把握するため、「退職年金制度に関する調査」を実施しました。

この検討課題は、それまでの運営委員会においても議論されていましたが、法人移行後に理事会の諮問機関として改めて設置された「共済制度運営委員会」に本格的な検討が委ねられました。委員会では、検討に先立ち会員の雇用実態と制度に対する意向を把握するため、「退職年金制度に関する調査」を実施しました。

・消費税8パーセントになる

・改正派遣法の施行  
・マイナンバーの通知が始まる

・退職手当共済法の改正により障害施設職員の掛金公費負担廃止

・社会福祉法人制度改革改革  
・北海道新幹線(新青森駅→新函館北斗駅)が開通

委員会では、調査結果に基づいて協議を行い、平成二十七年には数理計算など専門的な作業と細かな協議を行うため、委員会内に「退職共済制度検討部会」を設置し、コンサルタントを配置して検討を進めました。

まず調査結果で重視したのは、被共済職員の雇用形態や給与体系の多様化が顕著だったことで、した。会員が雇用する非正規職員の割合は四十六%を占め、給与では時給・日給の職員が三十一・八%、年俸制の職員が一・二%でした。事業運営の厳しさや経営判断から、会員間でも給与体系の違いが大きくなっていました。

これまでの退職年金制度は、「最終給与比例型」であり、長期勤続者を優遇した公務員モデルに倣い、新卒者の終身雇用をベースにして制度設計になっていました。本俸上限額は十一年ぶりに引き上げとなり、四十二万円になりました。これらは説明会等を通して会員の理解を得、平成二十九年度の定期総会で規程が改正されました。

この総会では、共済制度運営委員会委員長として制度変更に取り組んだ太田博氏が五代目の会長に選任されました。この会長は年金ALMの結果を基に検討し、株や為替のリスク資産を増やさないこと、十年後も制度変更時の積立水準を確保し、その間は百分を常に下回らないことを基本としました。検討の結果、円ヘッジ付外国債券を導入することとし、そのうちの半分はアクティブライト運用(ゴールドマン・サックスとブルーベイの2社)に投資することを理事会で決定。政

職年金制度で採用していた「累積給付型」に変更し、元利合計の計算方式に変えて既得権を持ち込むこととしました。

意向調査では、会員出資金率を引き下げるより、給付額の増額を望む会員の割合が高く、中短期在会者の給付改善をしつつ長期在会への優遇も適度に必要という結果が出していました。こ

の結果を受けて制度設計を行い、在会七年で元利合計を超える給付が受けられ、かつ全ての在会年数で現行制度よりも給付額を増やす制度内容となりました。本俸上限額は十一年ぶりに引き上げとなり、四十二万円になりました。これらは説明会等を通して会員の理解を得、平成二十九年度の定期総会で規程が改正されました。

この総会では、共済制度運営委員会委員長として制度変更に取り組んだ太田博氏が五代目の会長に選任されました。この会長は年金ALMの結果を基に検討し、株や為替のリスク資産を増やさないこと、十年後も制度変更時の積立水準を確保し、その間は百分を常に下回らないことを基本としました。検討の結果、円ヘッジ付外国債券を導入することとし、そのうちの半分はアクティブライト運用(ゴールドマン・サックスとブルーベイの2社)に投資することを理事会で決定。政

度の安定運営のため、制度改善と併せて年金資産運用の見直しにも取り組みました。

「資産運用委員会」では、低リスク運用を基本にしながら様々な検討を行い、平成二十七年からは生命保険明治安田生命富国生命の一般勘定の導入で、全資産の八十三%を占める国内債券の縮小を図っていました。しかし、マイナス金利政策以降、収益の低下と金利上昇リスク懸念から、さらに国内債券の配分比率を下げることが課題になりました。

委員会は年金ALMの結果を基に検討し、株や為替のリスク資産を増やさないこと、十年後も制度変更時の積立水準を確保し、その間は百分を常に下回らないことを基本としました。検討の結果、円ヘッジ付外国債券を導入することとし、そのうちの半分はアクティブライト運用(ゴールドマン・サックスとブルーベイの2社)に投資することを理事会で決定。政

【わたしのしあわせ】 私達夫婦、共働きで子ナシ。お互いシフト勤務で滅多にお休み合う日がない。そんな中で、休みが合った連休があると、夏はキャンプ、冬はワカサギ釣りに行って楽しむのが今の私の幸せです。 ベクさん(江別市・女性)

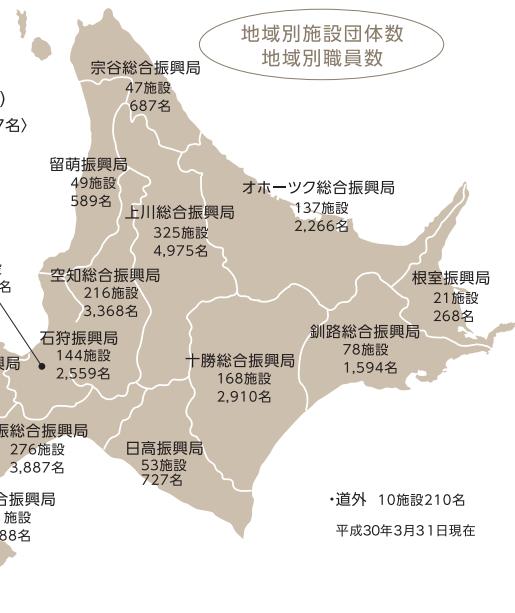
# 【2018－共済会の現在】

4万人を超える組織のスケールメリットで  
各事業の充実と安定運営を進めます。

ま  
い

地域別施設団体数  
地域別職員数

道外 10施設210名  
平成30年3月31日現在



## 会の概要

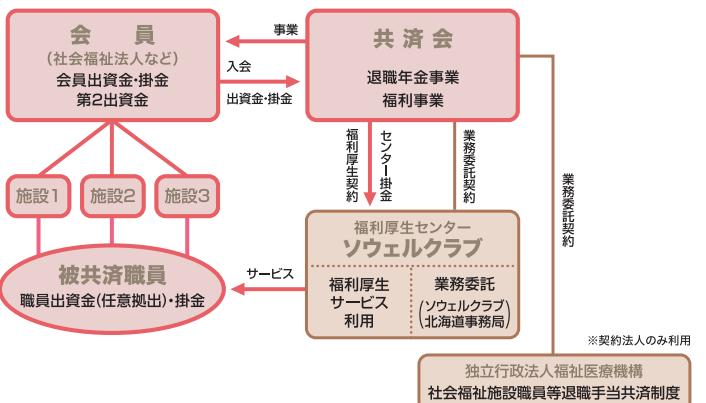
設立 昭和43年4月1日  
会員 768法人(平成30年3月31日現在)  
<2,489施設・団体 被共済職員:42,817名>

■共済会の「会員」とは、道内で社会福祉施設  
または社会福祉を目的とする事業を営む非  
営利の法人をいいます。

### 加入業種

- 生活保護に関係する施設・事業
- 児童福祉に関係する施設・事業
- 老人福祉に関係する施設・事業
- 身体障害者福祉に関係する  
施設・事業
- 障害者総合支援法に関係  
する施設・事業
- 社会福祉協議会
- その他、社会福祉を  
目的とする団体等

## 共済会のしくみ



### 共済制度の運営を支える組織

総会 共済会の最高議決機関で、事業主である会員で構成します。

理事会 共済会の運営に責任を負う役員会で、業種別代表等の理事12名で構成します。

監事 共済会の運営や予算の執行が適正に行われているか、3名の監事が監査します。

会計監査人 公認会計士による会計の法定監査が行われています。

共済制度運営委員会 / 資産運用委員会

理事会の諮問に応え、共済会の制度運営、制度改革、資産運用などについて協議し、理事会に提案しています。

福利厚生企画情報会議 / 会員交流事業地区別実行委員会

福利厚生センター事業について、全道20地区から様々な業種や年齢層の20名の企画員が協議し、道内事業の企画も立てます。

地区毎に実行委員会を設置して事業を推進します。

## 退職年金事業

事業主である会員が支給する退職金を確保し、さらに職員出資金、

第2出資金の上乗せを選択できる累積給付型の制度です。

**退職年金** 在会20年以上かつ年齢55歳以上の退職者に、原則60歳から年4回10年間に分割して支給。死亡後は遺族に支給。一時金の選択也可。

**退職一時金** 在会1ヶ月以上の退職者に支給。在会1年未満の退職者には、拠出した職員出資金累積額を支給。

第2出資金分 会員負担による上乗せ(利用選択)  
職員出資金分 職員負担による上乗せ(利用選択)  
会員出資金分 会員負担による退職金(ベース)

会員出資金分  
職員出資金分  
会員負担による退職金(ベース)

在会年数	支給モデル		年金で受け取る場合 ※職員出資金含む
	退職一時金支給総額 (うち職員出資金)	年金で受け取る場合 ※職員出資金含む	
10年	122万円 (36万円)	—	
20年	292万円 (84万円)	26,280円×120ヵ月	
30年	508万円 (145万円)	45,670円×120ヵ月	
40年	788万円 (226万円)	70,840円×120ヵ月	

会員出資金分  
職員出資金分  
会員負担による退職金(ベース)

会員出資金分  
職員出資金分  
会員負担による退職金(ベース

創立50周年を迎えて  
お祝いのことば



## お祝いの言葉

一般社団法人  
全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会  
会長 残間 英充

一般社団法人北海道民間社会福祉事業職員共済会が創立50周年を迎えたことを心からお祝い申し上げます。貴会は昭和43年4月の創設以来、半世紀にわたり退職共済事業並びに福利厚生事業を柱に、この間の福祉施策や関連法令の見直しや金融市場の混乱期におかれましたのも、高い専門性だけでなく、加入者の視点に立った制度の見直しを行うなど、常に民間社会福祉事業従事者の働きやすい環境づくりに取り組んでこられました。その結果、加入者数だけでなく、サービスの質や量においても全国のモデルとなる全国屈指の共済制度に発展されました。これもひとえに会員様はじめ、これまでの役職員の皆様のご理解や努力の成果であると存じます。

## お祝い

一般社団法人  
北海道民間社会福祉事業職員共済会  
顧問 林 阳

一般社団法人北海道民間社会福祉事業職員共済会が創立50周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。民間共済会が、50年にわたり、様々な問題を乗り越えてきましたが、一貫して民間社会福祉事業職員の待遇改善に努めて来られたことに敬意を表しますと共にその足跡を記録する記念誌が発刊されたことにお慶びを申し上げます。私は、民間共済会との関わりは、平成19年に、当時の中川利若会長の御声掛けで理事に就任したことから始まり、平成21年から平成29年まで会長を務めさせて頂きました。

会長在任中は、公益法人制度の抜本改正への対応、超低金利政策の下での年金資産の運用、雇用形態や給与体系の変化を踏まえた年金制度の改善などの問題に直面しました。

このような状況の中、民間共済会の果たす役割は今後ますます大きくなることと存じます。創立50周年を契機に事業の一層の充実発展を図り、本道の民間社会福祉事業の振興に寄与されますよう祈念申し上げます。

ましたが、理事・監事の皆さんのご尽力、会員・被共済職員の方々のご理解、事務局の皆さんのご奮闘に支えられ、何とか打開の道筋をつけることが出来ました。

私は、民間共済会の運営に関わる機会を与えられたことを誠に光栄に存じ、感謝しております。

このところ、福祉分野で人材確保が難しさを増しているとの報をよく耳にします。私の住む北広島市でも、市の福祉事業所に就職した際に支援金を交付する制度が始まりました。

このような状況の中、民間共済会の果たす役割は今後ますます大きくなることと存じます。創立50周年を契機に事業の一層の充実発展を図り、本道の民間社会福祉事業の振興に寄与されますよう祈念申し上げます。

さらに、昭和62年に退職共済制度の課税対応を機に発足した全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会においても、当初から加盟され様々な課題に対し、常に組織のリーダー的存在として共済制度の方向性を示され、業界全体の発展に貢献頂いております。また、保険業法や金融商品取引法の対応を目的とした本会の事務局設置にとどまらず、現在に至るまで一貫して積極的に本連絡協議会組織の支えとなつてください、北海道の民間社会福祉の向上はもとより、全国の共済制度の発展にも大きく貢献して頂いておりますことに敬意と感謝を申し上げます。

貴会におかれましては、50周年を新しい出発点として、今後ますますご発展されますよう祈念申し上げましてお祝いの言葉といたします。

## 創立50周年を祝して

独立行政法人福祉医療機構

共済部長 並木 哲也

この度は、一般社団法人北海道民間社会福祉事業職員共済会が創立50周年を迎えたことを心よりお慶び申し上げます。

貴会は民間社会福祉施設等従事者の支えとなる退職年金事業、福利事業の業務を行い、福祉医療機構の退職手当共済事業についても、永年にわたりご尽力を賜っています。

退職手当共済事業と北海道の関係については、昭和36年10月に北海道社会福祉協議会との業務委託契約にはじまり、貴会には昭和55年から実務を担つていただき、平成18年4月に正式に業務委託契約を締結するに至りました。貴会には実に38年の間、北海道における退職手当共済事業を支えていただきました。

その間、介護保険制度の導入、障害者総合支援法の施行など社会福祉施設をとりまく情勢は大きく変わりました。退職手当共済事業についても数度の制度改正を行いましたが、その都度、貴会には多大なご支援・ご協力をいただきました。

福祉ニーズが多様化する中、国の制度だけではない地域の特性に合わせた貴会の活動は民間社会福祉施設従事者にとって一層重要ななると思慮いたします。

これまでの皆様のご活動に敬意を表し、今後の貴会の益々のご発展を祈念いたします。

## お祝いのことば

社会福祉法人福利厚生センター

理事長 橋口 正昇

北海道民間社会福祉事業職員共済会が50周年を迎えたことに対し心よりお祝い申し上げます。

北海道共済会は、北海道内の社会福祉事業に従事する職員の待遇向上を図ることを目的に昭和43年4月に設立されました。その後、平成6年に全国の社会福祉事業経営者の要請を受けて、全国の社会福祉事業に従事する者的人材確保を目的に、福利厚生を提供する法人として、当福利厚生センターが設立されました。

両者の提供するサービスは、それぞれ多岐多様にわたっておりますが、社会福祉事業従事者の福利厚生を図るという目的は同じです。

そこで、北海道共済会では、両者の一部重複するサービスの調整を図った上で、北海道共済会では退職金のほか

慶事のお祝や健診費用の助成、北海道の地域に密着したサービスを提供し、当福利厚生センターでは全国規模のメリットを生かして、弔慰金や災害見舞金、各種講習会、会員交流事業、全国の宿泊施設やレジーヤー施設など全国規模の様々なサービスを提供することとした上で、北海道共済会の加入者を当センターに一括加入するという方式を採用していただき、現在に至っています。

福利厚生センターといたしましては、今後とも北海道共済会と一致協力して北海道の社会福祉事業従事者への福利厚生の増進に一層尽力してまいりたいと存じます。

最後になりますが、北海道民間社会福祉事業職員共済会の今後益々のご発展を心より祈念いたしております。

## 創立50周年を祝して

三菱UFJ信託銀行

札幌支店長 渡辺 勝之

一般社団法人北海道民間社会福祉事業職員共済会が、創立50周年を迎えたことを心よりお祝い申し上げます。

貴共済会は、平成2年4月に退職金制度から退職年金制度へご移行されました。その後、バブル崩壊、リーマンショック、そして現在の低金利環境など、幾多の運用面での厳しい環境に見舞われながらも、在籍職員の方々や年金受給者の皆さまへの支払必要額（要支給額）に対し、100%を超える健全な積立水準を維持されております。それは、共済会の皆様方が一致団結して、迅速且つ的確に課題を解決されてきたことの証左だと感じております。

弊社は、貴共済会が退職年金制度へ移行された平成2

## お祝いの言葉

福祉新聞社北海道総局

総局長 西島 和明

北海道民間社会福祉事業職員共済会の創立50周年、本当におめでとうございます。

昭和43年、「施設職員に公務員並みの退職金を」という強い願いのもと、共済会は創立されました。この新事業を成就させるためのご苦労は並大抵のものではなかつたと、多くの先輩からお聞き致します。

そして、そこから50年、退職年金事業と多様なニーズに応える福利事業を実施して、773会員・2542施設団体、加入者数約44,000人。この積み上げられた事実に、歴史の大きさを改めて感じます。今さらながら時流に沿い、鋭い洞察力で発展させ続けた関係者と役職員に深い敬意を表します。

共済会創立の頃はまだ、福祉の仕事が特殊だった時代。

よく、「大変なお仕事ですね」「立派ですね」などと言われたものでした。当時この仕事は、働く職員の奉仕や犠牲により、成り立つておりました。だが、無理は続きません。当然ですが、よい仕事を長く続けるためには働く職員も十分に幸せでなければなりません。

活力ある福祉社会には、支える人材に加えて、魅力ある職場づくりも必須要件です。この先また50年。共済会への期待とその役割は、益々大きくなることでしょう。

昭和43年4月1日号の「福祉新聞」には、本紙先代総局长による貴会創立の記事が掲載されています。そして今、50周年に私までが立ち会えた幸運に感謝しつつ、貴会の益々のご発展ご繁栄を祈り、お祝いの言葉と致します

年4月より年金制度のコンサルテーションと資産運用に関する幹事銀行を拝命しており、制度設計、資産運用をはじめ、出資金・給付の支払い手続に至るまで受託金融機関の代表として、貴共済会事務局と一体となつてサポートをさせていただいております。今日の貴共済会のご発展は弊社といたしましても大きな喜びでござります。

弊社は、忠実義務・善管注意義務を中心とした法的義務を果たすことはもとより、高い倫理観と専門性に基づき、常に貴共済会のために行動することで、ご信頼に誠実にお応えすべく、今後とも一層努力をさせていただく所存でございます。

最後に、貴共済会がますますのご発展を遂げられますことを祈念いたします。



これからのお社会福祉について話そう。



*Masachi Hosaka*

*Hiroaki Ushijima*

*Akihiro Ichijo*

*Masae Yanagiya*

*Kanako Taneichi*

さまざまな社会福祉法人で活躍する現場のリーダーに集まつていただき、介護、保育、障がいなど各分野の現状をどう捉え認識しているのか、公益性、事業運営、人材確保……山積する多くの課題に対しても

どう向き合おうとしているのか、さらに福祉従事者が働きやすい職場環境や待遇改善のためには何をすべきか、などを議論をしていただきました。また、五十周年を迎えた共済制度に対する期待もお聞きしました。

## 〈出席者〉

保坂 昌知／司会

社会福祉法人宏友会 西野ケアセンター 施設長  
ケアハウス藤花 施設長／札幌市

柳谷 雅江

社会福祉法人旭川あゆみ会 認定こども園永山くるみ保育園 副園長／旭川市

牛島 博昭

社会福祉法人千歳いずみ学園 いずみワークセンター 施設長／千歳市

一條 晶弘

社会福祉法人札幌厚生会 札幌市あけぼの荘 施設長／札幌市

種市 加奈子

社会福祉法人岩内厚生園 岩内厚生園 主任保育士／岩内町

保坂

本日、共済会創立50周年記念座談会の進行役をさせていただく保坂と申します。お忙しいなかお集まりいただきありがとうございます。

がとうございます。

今日は、「これから社会福祉と福祉従事者」というテーマで座談を進めてまいります。皆さんお若く見えますが、それなりに時間を重ねて、今の立場で活躍されています。まず、最初にご自身が福祉の仕事に就いたころに抱いていた夢とか、どんなことを考えて仕事を

されていたのか、遠い記憶かもしれませんのが、自己紹介を兼ねておひとりずつにお話していただきたいのですが、まず柳谷さんからお願いします。

もともとは保育園だったのですが、

今年度から認定こども園に変わりました。昨年度までは、主任として現場に近いところで仕事をさせていただいていました。いまは副園長という立場なのです

柳谷

今年度から認定こども園に変わりました。昨年度までは、主任として現場に近いところで仕事をさせていただいていました。いまは副園長という立場なのです

牛島

牛島さん、お願ひします。

私は皆さんとちょっと経路が違つて、福祉の道をずっと進んできたわけではなく、この仕事を始めたのは平成16年です。障がい者分野でいうと、自立支援法というのがちょうど施行されたのと同じくらいの時期です。

この仕事をやる前は全く福祉には携わつていませんでした。自分自身で事業をやっていましたが、諸般の事情でその仕事をたたんだころです。いずみワークセンターが仕事を通した発達支援を行なう事業所ということで、一般的な商売のスタンスをもつた人で誰かいなうか、というお話をいたしました。

その際、ワークセンターという部署に

が、管理の場面よりも現場の話の方が自分が、今は広く一般化されました。そんな中でしあわせなことに29年間ずっと乳児に携わることができました。今では絶対だめですが、うつぶせ寝が流行ったときもありましたし、保育もいろいろと変化しています。同じように職員の意識も時代とともに変わつてきているなあと最近、常々考えています。

続いて障がいのほうになりますが、牛島さん、お願ひします。

私は皆さんとちょっと経路が違つて、福祉の道をずっと進んできたわけではなく、この仕事を始めたのは平成16年です。障がい者分野でいうと、自立支援法というのがちょうど施行されたのと同じくらいの時期です。

この仕事をやる前は全く福祉には携わつていませんでした。自分自身で事業をやつていましたが、諸般の事情でその仕事をたたんだころです。いずみワークセンターが仕事を通した発達支援を行なう事業所ということで、一般的な商売のスタンスをもつた人で誰かいなうか、というお話をいたしました。



保坂 昌知 氏

いきなり配属するのは避けていただきたいとお願いしました。なぜかというと、障がいに関する知識を全くもたないままにお話するというのは、職員の方も違和感をもつのではないかと考えたからです。それで3年間、入所施設のほうで現場職をやらせてもらいました。その後、ワークセンターに移動して取り組んでいるところです。福祉という経験値としては13年、14年というところなので、皆さんから見たら短いかなと思います。

商売をやっていたときの接客と福祉の視点はすごく似ているというか、ほとんど一緒だなと感じます。観察すると、対象となる利用者さんも商売でのお客様も、何を求めていらっしゃるのか、通じるところは同じだと思っています。

転職で来られたのですか、なるほど。では救護施設から一條さんをお願いします。

### 一條

私も学生時代、福祉の勉強をしてきましたが、障がいの如何を問わず受け入れるという施設です。時代の変遷があり、昔は障がい者施設や高齢者施設があまりなかつたころの受け皿としてあつたので、知的障がいの方も身体障がいの方もいました。最近はほとんど精神障がいの方や、生活困窮者が入つてくるという施設になっています。思い起こせば、昔は右も左もわからなかつたのですが、福祉の理論とか、人権擁護とか、いろんな要素を学んで今にいたつています。救護施設が今の時代に合うものは何かというのを模索しているところです。

### 保坂

たわけではなく、卒業後は民間企業の営業を5年間やつてきました。ささいなきっかけがあつて、福祉施設で働いてみないかということでお誘いをいただきました。民間企業が嫌だった訳でもなかつたのですが、たまたま飛び込んだところが救護施設だつたということです。福祉の「ふ」の字も知らない状態で、事務職員として入りました。基本は事務所にいるんですが、少しずつ自分で利用者の方と接するようになつて、この仕事がおもしろくなり、肌に合つてきたという感じで今にいたつています。

法人内の転勤はしていますが、平成10年からですから18年になりますね。救護施設って皆さん、ご存知ですか。生活保護を受けられている方を対象とした入所施設ということで、障がいの如何を問わず受け入れるという施設です。時代の変遷があり、昔は障がい者施設や高齢者施設があまりなかつたころの受け皿としてあつたので、知的障がいの方も身体障がいの方もいました。最近はほとんどの精神障がいの方や、生活困窮者が入つてくるという施設になっています。思い起

こせば、昔は右も左もわからなかつたのですが、福祉の理論とか、人権擁護とか、様々な要素を学んで今にいたつています。私が大学を卒業したときは、ちょうど就職難でした。厳しい時代で、就職先

### 保坂

一條さんも転職組なんですね。ありがとうございます。とうござります。では児童養護の種市

種市 私がこの園に来たのは、平成9年なので今年で21年になります。高校生のころからいろいろな所でボランティア等をしていましたが、学校に入つてからはさまざまな施設を見学したり、実習したりする中で、子どもの施設がとても楽しかったというのが児童養護を選んだ理由のひとつです。子どもの施設にどうしても行きたいと思つていたときに、ちょうど岩内厚生園と縁がありまして今にいたつています。

昔は純粋な養護の子たちとか、非行傾向の子たちが多く入所していましたので、私が入つたときはそれなりに大変でした。現在は、ニュースにもなつていてますが、虐待とか発達障がいのお子さんが増えています。園では障がいをもつている子たちが8割くらい入所しています。行先がない子たちに、できるだけのことをしてあげたいと思っています。

ありがとうございます。私は特別養護老人ホームとケアハウス、デイサービス、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所と5つ程の事業所を管理している立場でやつております。

私が大学を卒業したときは、ちょうど就職難でした。厳しい時代で、就職先

[共済会50周年に寄せて] 創立50周年おめでとうございます。職員のためにいつも楽しい企画を考え下さりありがとうございます。家族でのおでかけも共済会のおかげで増えました。今後ますますの発展をお祈りいたします。 たいようママさん(深川市・女性)

がなかなかなかつたですね。昭和50年代後半から平成にかけて、北海道では市町村でどんどん特養が建ちあがっていく時代です。だから、福祉法人には入りやすかつたというのありました。ただ、私の場合、祖父母と暮らしたことがなかつたんです。しかも学校で福祉の勉強はしていましたが、高齢者のほうはあまりやつていませんでした。最初は50人の施設だつたのですが、職場に就くと高齢者が一同に介していくびびりましたね。異様な光景だったのを今でも覚えています。

柳谷さんや一條さんも先ほどおっしゃっていましたが、介護の世界もけつこう時代に振りまわされてきて、今にいたつていています。認知症であつたり、高齢者のケアであつたり、なんていうか進化していく過程だつたと思つているんです。勤めたところから比較してみると、ものすごい変わり方をしたと感じています。

私は高齢者施設を5回くらい変わっています。転々としているのですが、キャリアだけはあるので、いろいろ考えたり、思つたりすることもあります。難しい時代だと思います。

保坂

今日は、いくつかお話を伺いたいのですが、まず「いまの社会と福祉の状況を

## ■いまの社会と福祉の状況

がなかなかなかつたですね。昭和50年代後半から平成にかけて、北海道では市町村でどんどん特養が建ちあがっていく時代です。だから、福祉法人には入りやすかつたというのありました。ただ、私たんです。しかも学校で福祉の勉強はしていましたが、高齢者のほうはあまりやつていませんでした。最初は50人の施設だつたのですが、職場に就くと高齢者が一同に介していくびびりましたね。異様な光景だったのを今でも覚えています。

柳谷 確実に少子化の時代を迎えている状況なので、今度は私たちが選ばれる側になつてているというところがありますね。柳谷さんからお聞きしたいですね。平成元年に就職され、乳児保育からはじまりました。ということでしたが、そのころと比較していかがでしょうか。

柳谷

どうのように見ていているかをお聞きします。柳谷さんからお聞きしたいですね。平成元年に就職され、乳児保育からはじまりました。ということでしたが、そのころと比較していかがでしょうか。

保坂

柳谷 どうのように見ていているかをお聞きします。柳谷さんからお聞きしたいですね。平成元年に就職され、乳児保育からはじまりました。ということでしたが、そのころと比較していかがでしょうか。

種市 保坂

A.I.(人工知能)に代わる時代になつてくと聞きますが、対人援助職は一番代われない職業だと私たちは話しています。A.I.にまかねえ心の機微とか、心に寄り添うような力が必要になるのではないかと思います。

同じく子どもさんを対象にした種市さんのところはどうですか。

柳谷 どうのように見ていているかをお聞きします。柳谷さんからお聞きしたいですね。平成元年に就職され、乳児保育からはじまりました。ということでしたが、そのころと比較していかがでしょうか。

柳谷 どうのように見ていているかをお聞きします。柳谷さんからお聞きしたいですね。平成元年に就職され、乳児保育からはじまりました。ということでしたが、そのころと比較していかがでしょうか。

牛島

柳谷 どうのように見ていているかをお聞きします。柳谷さんからお聞きしたいですね。平成元年に就職され、乳児保育からはじまりました。ということでしたが、そのころと比較していかがでしょうか。

牛島 私が入職したのが平成16年なので、障がい分野で言えば法律が措置法から自立支援法というかたちに変わつて、そこからサービスという概念ができるべきだと思います。最初は、時期が来たら出ていくだけというふうに思つていたのですが、

柳谷 どうのように見ていているかをお聞きします。柳谷さんからお聞きしたいですね。平成元年に就職され、乳児保育からはじまりました。ということでしたが、そのころと比較していかがでしょうか。

牛島 私が入職したのが平成16年なので、障がい分野で言えば法律が措置法から自立支援法というかたちに変わつて、そこからサービスという概念ができるべきだと思います。最初は、時期が来たら出ていくだけというふうに思つていたのですが、

**[わたしのしあわせ]** 2人の息子の成長です。年子の息子達が思春期に突入しました。ツンデレの毎日で、なんだか笑っちゃいます。親から自立しようとする息子達の健やかな成長を少し離れた所から見守り、これからも応援していきたいです。 サッカー少年さん(旭川市・女性)

れている部分はかなり強いですね。

新人職員研修に参加したとき、「一年

間、働いて感じたことは何か」という課題でレポートを書いたのを覚えています。

自分の働いている原資を理解していない職員が多いのではということを書きました。サービス対象、支援対象、介護対象の利用者さんに対して義務的に接しているのではないかと、感じたんです。たとえば短期入所で利用者さんをお預かりして、お帰りいただくときに、必ず忘れ物があつたんです。靴下片方とか。それをみんな、ふしげに思わない。私の感覚からいうと、お帰りいただくときに、お客様のものをきちんとお渡ししないといふことに違和感がありました。「あ～忘れたね」で終わっているところに違和感がありました。一般社会の「お客様に対する意識」と、福祉施設の「支援する」という意識のズレですね。今はないです。

## 一 條

く感じたということなんですね。一條さんも転職組ですが、どうですか。

民間企業では、競争の原理というのがまず最初にありますよね。私も営業でしたので、売つてなんば、成績をあげてなんば：というのがありました。しかし施設には施設の風土とかルールがあつて、そつちのほうが優先される。単なる数字だけではないところにたどりつくのです。正解がないというか、職員の意識が統一しづらいというか、そういうことを感じたことがありますましたね。目指すべき方向

は大まかには一緒なのですが、方法論がいろいろあって、それぞれの到達点が微妙に違っている、揃つてないということで。これからは、そのへんをどうするかというところを考えたいですね。

先ほど措置施設の話がありましたが、救護施設というのは、実は残り少ない措置施設のひとつなんですね。平成12年に介護保険ができて、支援費ができて、自立支援になつて、そういう時代に救護施設も契約の施設にならないといけないという全国的な動きもあつたのですが、母体が生活保護法なので、契約というのはなじまないだろうと措置のままです。ただ、やっぱり救護施設も過渡期というか、それを肌で感じています。

最近はサ高住とか、有料老人とか介護に関する施設が増えてきています。障

## 保坂

がい者の施設も充実してきています。そういう流れの中で、逆に救護は他法優先で選ばれにくい存在になりつつあり、そこを危惧しているところです。今まで法の網の目からあぶれてきた人たちを、最後のセーフティーネットとして受け入れることで、その役割を果たしてきたのですが、その目がきゅっと縮まつてきてます。選ばれる施設になつていくには、何が必要なのかということは、これからも職員と一緒に考えていかなければならないところです。

介護の話は皆さんも、よくご存じだと思います。2000年に介護保険法が始まつて、それまでの措置から契約とうかたちになり、当時は契約制度が福祉になじまないのでないかということも議論されましたが、スタートしてしまいました。措置は功罪があると言いましたが、私個人としては戻してもらえるなら、戻してほしいです。

一方で老後破産という言葉も出ていますが、経済的にも特養とかそういう施設を利用できないような経済状況の方もたくさんいらっしゃる。今、ユニット型で、ひと月13万～14万円くらいです。しっかりと厚生年金をかけて受給される方は払えますが、国民年金は、ひと月7万くらいですから、どうするんだという話です。介護保険は介護の社会化と

〔共済会50周年に寄せて〕 50という歳月、私よりも大先輩。調べてみるといつか見聞きした人物や出来事。時の深みを感じます。今へ繋げてくれた先人に感謝を。未来を担う希望の世代に安心を。皆のハートにクローバーが見つかりますように。 まごころさん(岩見沢市・男性)



一條 昌弘 氏

保坂

おかげでいる状況は、それなりに課題をかかえていると感じます。皆さんにはキャリアと実績をつんできて、

## ■社会福祉法人の課題と展開

も言っていたのですが、結局家族が介護の部分もかたがわりしなければならない。お金もそうですし、お金を使えないから自宅でという考え方も出てくるでしょう。なかなか当初描いていたようには、動いていないのではないかと思います。

良かった面もありまして、「介護」という言葉は造語なのですが、うちうちの中でも使われていた言葉です。この「介護」という言葉が社会的に認知されるようになったのはとてもいいことだと思います。来年は介護報酬改定があつて、診療報酬とダブル改定ですが、また大きく変わることもかもしれませんね。

一條

保坂

保坂

職場を動かせる立場だと思います。これから自分の職場をどう展開していくといふか、やっていきたいのかをお聞きしたいのですが、一條さん、どうですか。

選ばれる施設になるとはどういうことか、今まであつた組織を役割分担も含めて、すこし変えながら模索しているところです。いろいろな文献も読んだりしています。介護職員がいて、相談員がいて、調理員がいて、看護師、事務員がいて、役割分担があつて仕事をしていますが、とくに介護職員は、生涯一介護職員で終わってしまうことが少なくないですね。もつと専門性をもつて、キャリアをふむと肩書きも責任の範疇も含めて、キャリアアップしていける仕組みを作つてみたいというのはありますね。

保坂

そのための取り組みとか何か今やっていますか。

柳谷

保育も2015年から子ども子育て支援新制度となりました。それこそ措置から契約ということで、子どもたちが

今まで措置とされていたところから、1号認定、2号認定、3号認定と認定されます。職員もキャリアパス制度により、キャリアアップしていきます。今まで保育園は一保育士からステップアップしていくという状況がほとんどなかつたのです。もちろん担任がいたり、フリー保育士がいたりということはありました。例えばグループリーダーだったり、役割をもたせることで、自分たちが育つていいところでは有効かなと思つています。待遇改善の制度も研修を受けた

職場を動かせる立場だと思います。これから自分の職場をどう展開していくといふか、やっていきたいのかをお聞きしたいのですが、一條さん、どうですか。

選ばれる施設になるとはどういうことか、今まであつた組織を役割分担も含めて、すこし変えながら模索しているところです。いろいろな文献も読んだりしています。介護職員がいて、相談員がいて、調理員がいて、看護師、事務員がいて、役割分担があつて仕事をしていますが、とくに介護職員は、生涯一介護職員で終わってしまうことが少なくないですね。もつと専門性をもつて、キャリアをふむと肩書きも責任の範疇も含めて、キャリアアップしていける仕組みを作つてみたいというのはありますね。

まさにキャリアパスの考え方です。もう少し階段式になつて、役割分担がしつかりするといいかなと思っています。組織があるわけですから、人事交流を柔軟にして、いろいろなところで経験を積む仕組みを組織的に考えなくてはならなく思います。

介護と保育は、国の方では資格の条件緩和などがとりだたされていますね。専門性という話が出ましたが、柳谷さん、いかがですか。

保育園というのは子どもが育つ場なので、それにもなつて保育士さんも育つてほしいなと思うし、それを支えてくれ私たちも成長することができます。多くの人が幸せだと感じられる力を身につけることができるので、保育園は子どもだけではなく人が育つ場だと思ってます。私たちの時代は就職が大変でしたが、今は人手不足もあり、学生はいろいろ見学に行って自分がいいなと思う保育園で働きますね。そこが今までとは違うので、求める人材を選ぶ時代ではなくて、採用してから求める人材に育てるという感じです。

ら該当していきますよと国は言いますが、現場キツキツの状態の中で、例えればひとつの研修に15時間出しましょうといったらうちは32人の職員中、13人が該当しますが、いつたい何年かかるのという話です。痛し痒しですね。種市さんのところはどうですか。

岩内町は過疎化の地域というのが問題になっています。うちは多いときで年間70人の実習生がきますが、その中で本当に福祉をやりたくて児童養護施設にくる人は何人いるかというとゼロです。求人募集をかけてもゼロなんです。今も足りないのが現状ですね。そういう中で、園生にどれだけのサービスができるのかなと思います。

岩内厚生園では二種事業といつて、地域のお子さんを短時間でもお預かりしています。保育所、幼稚園が定員いっぱいで預けられないといった場合には、お母さんが歯医者にいきたいとか、買い物に行きますという間だけ預かります。札幌市内なら、そういう所もあるかもしませんが、田舎に行けば行くほど、そういう場所がないんですね。私たちも、お子さんを預つて、地域に知つてもらうということを大事にしています。目立たないところから、オープンな施設をめざすというところです。障がいをもつているお子さんもたくさんいますので、お母さ



柳谷 雅江 氏

んたちの休憩時間みたいな感じで使つてもらうといいのかなと思います。  
子どもさんをただ預ける、預かるじゃなくして、保護者さんと一緒に子どもさんたちを支えていくということですね。

育てにくさを感じている保護者さんが多いのではないでしようか。核家族化しているので難しいですね。

なるほどね。介護でも似たところがありますね。特養の場合は、重介護、うちでいえば要介護4くらいなのですが、最初のうちはたくさん面会にくるのですが、時間が経つにつれて、面会の回数が少なくなっていく傾向の方がいらっしゃいますね。別にそれを責めているわけではないのですが。自分の親のときも同じようなことを思いましたが、認知症になつたり、体が弱つていく姿を見たくないという気持ちがあつて、介護や認知症のことよくわからない。だから、そこから目を背けたい。でも年をとるとはどういうことなのかということがわかつていれば、もつと関係性が深まつていき、家族さんと一緒にケアをしていくというかたち作りができるかなと思っています。そういう意味では、保育や児童養護の世界と似ているところがあるなと思つて、聞かせてもらいました。

牛島さんのところは、どうでしょう。

介護のほうの自由化と同じように、障がいの分野では就労継続支援のA型について、民間企業でも障がい者の方を雇用した事業が乱立している状態です。コンサルタントが「儲かります」とすすめる、放課後デイサービスのようなものが多くなっています。「儲かります」という観点ではじめるものではあります。私がワークセンターに来たときは、私どもと同じような事業をやつているところは千歳で3カ所くらいで、社会福祉法人でやつてているのは、うちだけでした。あとは、NPOさんとか、小さいところしかありませんでした。高等養護を卒業して、ワークセンターに来たいという方はいっぱいいたんですけど。でも、今はA型事業所が千歳にも10カ所くらいありますので、選択肢がいっぱいあって、いいことだと個人的には思つています。事業所がどんな取り組みをしているか

[未来の自分へひとこと] 最近、道行く女性の姿に目がいってしまう。杖をつき、一足一足歩く女性。背を丸くして歩道をシルバーカーを押して歩くお婆ちゃん。やがて来るであろう自分の姿を重ね、「頑張って!」。エールを送ってしまう私です。まるの飼育係さん(千歳市・女性)

## 種市 保坂

## 柳谷 保坂

## 牛島

は、それぞれなのでなんとも言い難いですが、利用される方の道は広がりました。ただ悪質なものもあり、相談を受けたこともありますね。

障がいのほうも親御さんとの連動が大事です。私どもの力だけでは限られているのでやはり協力が必須です。足並みが揃っていないと苦しまれるのはご本人ですから。私たちは日中活動なので、一日の3分の1程度の閑わりしか持てませんが、あとの3分の2で親御さんは頑張つておられます。障がいをもつているお子さんで言語が通じない自閉症や、高度障がいをもつたお子さんと苦闘されています。ですが、親というのは自分の子どもに対してどうしても甘くなってしまします。私どもは、プロとして発達障がい知的障がいに対して親御さんがちよつと見られない客観的な部分をご提供したり、助言することができるので、そこに親御さんの愛情をミックスして、どう支えていけるのかを考えてやっています。これからやってみたいことがありますか

事業所ですか。

はい。

そうですね、皆さんも苦労されていると思うのですが、職員を採用するためには、こちらもしっかりと準備しなくてはならないし、お金もそれなりにかけなければいけないと思います。欠員ができた

から、中途で入れましようという感じではなく、こちら側からアクティブに動いていくべきということで、今年からいろいろなサイトを活用して求人活動をやつています。私どもの事業所はパンをやつてゐるんですが、10年前までは、職員が朝4時からパンを焼いて、注文が増えれば、それが3時になり、2時になるという状態でした。それでお金をかけて機械を導入し、仕事時間を短縮しました。

一  
條

作つてあげたいと思ひます。

キヤリアパスの話ですね。一條さんには、さきほどもキヤリアパス的な話をしていますがどうですか。

法人としてのコンセンサスがとれない  
と、うちの施設だけでは私が勝手にやり  
たくてもできないというのはありますね。  
私は事務職員のあと、会計主任になつて、  
総務主任になり総務課長になつて、施設  
長になりましたが、主任と課長のやつて  
いる仕事は何も変わらないのです。総務  
職としての人員の枠があつて、そこで経  
験を積んで、課長にしてくれたのだろう  
と思うのですが、そのへんは明確ではあ  
りません。

職員がしあわせでないと、利用者さんのしあわせを作り出せないと思います。10年前に、ワークセンターの部署に来たときに、利用者さんの不適応行動が連発していました、なぜかなと思つたら、職員が鬼のような顔で働いていたんです。朝早くから来て働いていると、どうしても支援に行けないという部分がありました。去年までうちは年間休日が94日しかなかつたのですが、それを12日増やしました。

介護職員はどんなに頑張つても、せいぜい主任になれるかどうかなのですが、施設長になるルートだつてあつてもいいと思います。うちの法人も救護施設や特養、保育園もありますので、全体として仕組みというものを考える必要があ

保坂

るのかなと思います。  
種市さんは、まさしく主任ですが、この先はどうですか。

若い職員たちには、自分のやりたいと  
思うことを提案しようよと、よく言つて  
います。福祉施設つて、ステップアップし  
て先がどうなつていくかが、あまり明確

種市

牛島 保坂 牛島 保坂

そうですね、皆さんも苦労されている  
と思うのですが、職員を採用するためには、  
は、こちらもしっかりと準備しなくては  
ならないし、お金もそれなりにかけなけ  
ればいけないと思います。欠員ができた

一  
條

人事考課つて、皆さん、法人としてさ

【わたしのしあわせ】 ともだちとあそんでいるとき。ブロックであそんでいるとき。  
おりがみがうまくできたとき ゆっちゃんさん(深川市、男性7歳)

れていますか。

### 保坂

うちは導入しています。ただどうなんでしょう、施設は法人自体が大きいところもありますが、それ以上に小さいところがたくさんありますよね。企業もううですが、小さい組織つてポストが空かないですよね。一般企業ですと、M&Aというかたちがありますが、社会福祉法人の合体も今後は考えられるかもしれませんね。一施設、一事業所ではきびしいのではないでしょか。

キャリアパスのことは、よくわかるのですが、それに応えるだけの法人のボリュームというか、力量が必要なのかと思います。うちの法人は今、250人くらいいるのですが、全部で7事業所あります。その中でキャリアパス制度をある程度作つたところです。これでも頭がつかえると、なかなか難しいでしょね。

## ■働きやすい職場環境づくり

### 保坂

牛島さんのところでは職場環境の話が出ていましたね。介護や保育士の世界も人材難つて言われていますが、介護はブラック企業のレッテルがはられ、3Kどころじやないですね、5K、6Kと言わっています。今日、座談会の前にIT企業の方と話をしていたのですが、今はバブルのときよりもいいらしいです。売り

手市場で、そんな時代の中で福祉を選んできてくれる人って、難しいのかなと思います。志とか、思いとかあれば違うでしょが。

### 牛島

皆さんの職場の中で、いま考えていることでもいいですし、これからやることでもいいですが、やりがいのある職場環境と働きやすい職場環境についてお話ししていただけませんか。牛島さん、何か取り組みを教えてください。

労働時間が長かつたり、残業代を払わなかつたりすると、職員の笑顔がなくなるので、利用者さんの笑顔もありえません。そのため、先ほども話しましたがハーフ面で整えられるものは、できるだけやつていくとか、補助金をどのように使つかうかというのもよく考えます。

また、仕事の意義ということをポジティブにとらえるように意識しています。私は民間で接客業をやつていたので、実習生にも福祉は究極のサービス業だよ、根っこは同じだと話します。お客様が何を求めていて、この人はどうやつたら笑顔になれるのかという接客と、福祉の仕事というのは同じです。うちに実習にくる学生は保育の勉強をしているのですが、そういう話をして2、3週間のあいだに、うちに来るよう気持を変えてもらいます。

### 保坂 牛島

楽しいとね。

このままだと保育士さん、取られてしまいますね。

### 柳谷

本当にですね。実習生に「どうして保育園を希望しているの」と訊くと、みんな「子どもが好き」と言うのです。もちろんそこは大切ですが、実際、現場に入るときの保育提供に加えて、書類の作成、行事の準備、体力も気力も必要ですし、それに加えて、さまざまな価値観の

りたいという若い子たちに、主体的にそれをやつてもらうというのが必要かなと思っています。この間も、ラジオに若い

丘の上にあるので景色がとてもいいのです。ここにカフェを作つてお茶が飲めたらしいな、たとえば自閉症のお子さんと一緒に来ていただき、お預かりしつつ利用者さんが接客するとか、そういうことができたらいいな」という話をしていたのです。じゃ、それを本当にプロジェクトとして立ち上げて、自分たちで楽しくしていかないといけない。仕事つてつらいこともあるので、同じ8時間はどう楽しくやつていくかと話したのです。一日一回、利用者さんの笑顔が見られるような支援つてなんだろう、自分たちの考え方やつていける仕組みをプロデュースするという気持でやつています。

### 牛島

64

保護者さんとの対応、さらに地域の子育て支援も頑張りなさいという状況ですね。ですから、子どもが好きだけでは賄えない多くのことを求められている状態です。毎日、子どもの命を守つて、人として一番重要な時期ですから、基礎を培う責任の重さとか、社会貢献ということもあります。やりがいはもちろんあるんですけど、もっとそれに対する対価を得てもいいのではないかと思います。

昔は先輩たちから手作りのおもちゃを習い、手遊びを教えてもらいました。今は、わからないことはネットで検索しますし、書類作成の負担軽減、行事の見直しなどで、職員の作業簡素化などをしつかり詰めていくことが必要かなと、園長も含めてとり組んでいるところです。人が育つ場ということで、私たちもそこで成長させていただいていますね。

## 牛島

職員さんの労力をカットしてあげるということは大事です。うちにはパンとクリーニングをやっていますが、どちらも専門職ですよね。何年も修行して、一人前になる世界です。福祉職で入った職員が支援しつつやるというのは、私は無理だと思っています。なので、法人に話を聞いて一般のクリーニングはやめました。障がいを持つた人と素人でできるクリーニングだけにしました。お金をかけて機械を入れているので、スパンとやめるわ

## 保坂

けにはいきませんけど。パンは50種類とか作っていましたが、菓子パンはやめて食パンだけやるようにしています。

一般企業も人材確保が厳しいですが、福祉職場、とりわけ介護人材の確保つて難しいです。実は私のところは特養をあつかって2年半なんですが、2年前から障がい者雇用に力を入れています。いま、法定雇用率が2%ですが、職場の雇用率は5・5%なんです。

介護労働安定センターが毎年介護従事者の意識調査をしていますが、職場を選ぶ理由は、「資格・技能を活かせるから」、あるいは「人の役に立ちたいから」が多いんです。10年ずっと変わっています。ただ離職する人も多く、そういう思いで入ってきたのに、やめるときはどうしてかと聞くと、「賃金が安い」とか「社会的な評価が低い」、「体力的にきつい」という理由で辞めています。たぶ



牛島 博昭 氏

ん、思っていた仕事と実際に職場でやる仕事にギャップがあるんだろうなと思いました。

介護の領域って、たしかに専門的な領域と誰でもできる領域というのがあるんです。シーツ交換であったり茶碗洗いだつたり、そういうものって別に介護福祉士の資格はいらないですよね。学校を卒業して入ってきた人たちには、利用者さんと直接かかわらないような仕事がけつこうたくさんある。介護現場に聞くと人が足りない、人を補充してほしいといふんです。ですが、一人二人補充しても介護現場は何も変わらないです。負担感も変わらない。

そこで、一般領域のシーツ交換やゴミ集めなどのケアを障がい者の子にやってもらいました。この10月からは60歳～75歳の元気高齢者もそこに使つてミックスアップしています。そうすると介護現場の負担感がかなり軽減しました。専門職としてのスキルをあげていくには、あれもこれもでは磨かれない。質をあげて磨くにはその環境を作ろうとしているところです。たぶん障がい者雇用については、2年間やっているのでまちがいなく効果があると思います。

介護の職場を良くしようというのがスタートだったのですが、やってみて思うのは、障がい者の子たちも、元気な高

**[わたしのしあわせ]** 私にとってのしあわせは、やっぱり友人との外出や美味しい食事！ そのためには心身ともに元気でいること。これからも共済会の特典を利用していただき、健康第一で過ごしたいところです。 さくらさん(旭川市・女性)

齢者もうちの職員も、いつしょに働きやすい環境を作っていくことなんだなと思います。今はやりの言葉で言えば「共生」になりますね。

3年前に比べると離職が少なくなつて、今はほとんどいません。それは、やりがいがあるとか、資格・技能が活かせるとか、そういうところがうまくマッチしてきたんだと考えています。このまま継続してくれるといいなと思っています。福祉というのは、昔から専門職だと言われながらなんの専門職なのかわからなかつたところがありました。看護師さんが看護助手制度ができたときに非常にスキルが上がった時期があつて、それと介護の世界も似てるのかなと思つています。

うちの施設でも高等養護学校に行く子が多くいるんです。そういう形で障がい者雇用につながるのは、とても助かるなと思います。

## 種市

### ■職場環境の改善と取り組み

#### 保坂

自分たちの世代とこれから世代とは、働く価値観が違つてきていて、皆さん悩んだりもしていると思うのですが、そういうことも含めて職場環境の改善や取り組んでいることなどを聞かせてください。

職員は保育士で入つてきますが、「障

がい」の部分でも強くならなければ思つています。子どもの様子がおかしいときには、私たちは医者じゃないので、すぐ診てもらいなさいと言えますが、新人の職員がたいしたことないと判断してしまってないとは言えません。そのあたりの職員間の意思疎通、統一はやつていかなければなりませんね。新人教育を重点的にやり、職員ともっと話をする機会を持ちたいと思います。

岩内厚生園に、子育てについてのマニフェアルがあります。「怒鳴らない」「叩かない」「子どもたちもしないから、私たちもしない」「子どもたちもするんだから、新人も上の職員もしましよう」と、みんなが同じ見解でやるようにしています。うちの施設は、定員55のところ39人の子どもがいて職員は18人です。まだ小規模でやつっていますので、意思統一もスムーズにできるのかもれません。

#### 保坂

就労支援のほうでは、牛島さんのところも受け皿になりそうです。さつき儲けるためにやるのはいかがなものかというようなことを言つていましたね。目的というのは大事だと思うのですが、牛島さんの事業所の中でそれをスタッフにどんな形でお伝えするのですか。

職員研修では、何年か前にはやつたドラッカーのマネージメントの本の中に非営利組織の運営というのがあって、地域社会が形成されるという考え方をすると、それぞれの事業所や施設も関わり合つていくんじゃないかと思うんです。利

條さんのところでは生活困窮者についてはどうですか。

#### 一 條

生活保護受給者世帯というのは、やはりまだよつと増えています。これからさらに高齢者が増えていきますので、また生活保護受給者も増えていくだろうという見通しはあります。

救護の本業とは違うのですが、生活困窮者自立支援という概念ができてきて、社会福祉法人も公益事業をしていかなければなりません。我々の得意分野でもありますので、地域でお手伝いできることをやりはじめているところです。就労支援をして、施設の中だけでなく、地域にいる人も施設に来ていただき、うちのサービスを受けてもらうということをやつています。

就労支援のほうでは、牛島さんのところも受け皿になりそうです。さつき儲けるためにやるのはいかがなものかというようなことを言つっていましたね。目的というのは大事だと思うのですが、牛島さんの事業所の中でそれをスタッフにどんな形でお伝えするのですか。

#### 牛島

職員研修では、何年か前にはやつたドラッカーのマネージメントの本の中に非営利組織の運営というのがあって、地域社会が形成されるという考え方をすると、それぞれの事業所や施設も関わらいいか、そして私たち職員が何をするべきかということをお話しします。利

[共済会50周年に寄せて] 共済会の割引券を利用して、これまでプールや水族館、美術館などを家族でとってもお得に楽しませていただきました。次は遊園地に行きたいと思っています。共済会50周年バンザイ!! おやまさん(旭川市・女性)



種市 加奈子 氏

保坂

益のためにやるわけではないが、社会福祉法人もお金がないと何もできませんよね。でも営利だけを追求するのではなく、理念を追求するんだ、よりよい商品を届けるんだ、より良いサービスを提供するんだと事業を続けていると、消費者の皆さんがそこに対してもお金を払ってくださるようになります。

うちの事業所、千歳にあるんですが、交通費払って他市町村から来てくれる利用者さんが何人かいるんですね。選ばれる事業所になるためにどうすべきか考え、伝えているつもりです。

福祉の世界でいろんな業種があつて、いろんな分野があつて、手と手を携えていくことは可能だと思うんです。一般企業だって、コラボレーションによつて新しいものを作り出していくことがありますから、福祉の業界もそうなつてほしいと思うんですよ。障がい者、高齢者、子どもを育てる仕事、自分の役割を学ぶことで育つてほしいなと思います。

保坂

今お話ししされたことつて、OJTのシステムですね。種市さんのところではどうですか。先輩から後輩へ。

新人さんがどんな趣味をもつているのかということを聞いておくのは必要かなと思うんですけど、

種市

あ、それは大事ですね。

好きな音楽があるといえば、その日にライブがあるから休ませてあげようとか、こつちのほうでやつておいてあげるよということも必要かなと思います。同じだつたらいつしょにやつてみようとか、子どもを育てる、スキルをあげる、自分が

もの分野もあつて、理念の話がいま出ましたが、質を磨くとかやりたいことをやるとか、やりたいことがやれるとか、そういう環境がとても大事ですね。

柳谷

柳谷さんのところでは、スタッフの方たちにどのようにお伝えしていますか。

世代間、子育てされている保護者さんと若い年頃の職員もいれば、もつと上の世代でおばあちゃん的役割で保護者さんと話をできる人もいます。いろんな職員がいて、新人には新人の、中堅には中堅の、主任には主任のそれぞれに役割があるということを意識することにより、自分と違う視点で見ていく様になら分からぬだけではなくて、自分のできる仕事、自分の役割を学ぶことで育つてほしいなと思います。

保坂

先輩がどんなに正しいことを言つたとしても、その人が嫌いだつたら聞けませんよね。だからその前の人間関係を作ることとはものすごく大事です。昔は飲み会とかでそういう関係性を作つてきたことが、今の世代ではどうですか。そのへんのご苦労を聞かせてください。

一條

まあ、ご苦労というほどの苦労はしていませんが、我々が習ってきたことをそのまま押しつけるというのは違うだろうなと思いますよ。伝えようとするんだけど受け入れる側が自分と同じ気持じやないような印象を受けますね。職員との距離を縮めるというのも上の仕事だと思います。しゃべらせてあげますね。職員が本かもしれません、一方で「俺の背中を見て憶えろ」という時代ではないので、マニュアル作成や職務の棲み分けをどうするのかというところは課題ですね。

保坂

好きな音楽があるといえば、その日にライブがあるから休ませてあげようとか、こつちのほうでやつておいてあげるよということも必要かなと思います。同じだつたらいつしょにやつてみようとか、子どもを育てる、スキルをあげる、自分が成長する。柳谷さんも育つという言い方をしていましたが、やっぱりそこの感覚

[わたしのしあわせ] 共済会の会員となり、早14年。健康生活用品、研修助成(年2回)、永年勤続記念品等、これまで数々のお祝いを頂戴いたしました。次は結婚祝金を目標に、これからも私は働き続けます…涙 もうすぐアラフォーさん(旭川市・男性)

が職場の中で実感できると、そこは働き

やすい職場だと思うんです。牛島さんが

話していたようにスタッフさんが好き勝

手なことを言つて、それ面白いよねと言

つてくれる上司さんとか、そういうもの

は楽しいことだし、職員が楽しく感じな

ければ楽しくない職場になつてしまふん

だと思います。

自己成長だと自己覚知つていう言

い方をこの業界ではよくしますが、自分

が成長していくことが実感できる職場、

そのためのいろんな取組みだと、体系

とかシステムなどが必要になつていくん

だろうと思います。そういう環境をぜひ

とも作つていきたいと思います。

牛島

職場環境では、なかなかマニュアル化しづらい部分もありますが、できることとは最大限やるというのも必要になつていると思います。そのうえで、直接現場で支援にあたる人の業務負担を減らしてあげられればいいかなと。

保坂

種市

いろんな業種の人々がいる中で、自分の施設しか分からぬ、介護や障がいの世界が分からぬではダメなんだなと思いました。障がいをもつてゐる子は障がいたときに、その施設はどういうところなのか調べなきや分かりません。ただ調べる方法はいくらもあるんだろうなと

思います。子どもたちに提示していける場がたくさんほしいと思いました。

一條さん、何か補足とかありますか。

キヤリアパスというか、段階を踏んで

という話をしましたが、できるだけその

場、現場に権限委譲することを模索

しています。職員の定着とかやりがいと

か、新人に面白いものをやつてもらうと

か、それが職員の自発的な行動に結びつ

くという話を聞いて、そうだなと思いま

した。その仕組みをどうやっていくかと

いうことは課題としてあげていきたい。

柳谷さん、どうですか。

この仕事でどんなことをやつていきた

いか、ということを問われましたが、現

場の職員一人ひとりが先を見通して仕事ができるということで、やりがいにつながつたり、そこを目指すために職場環境をどうしようかというところは有効なんだなと思いました。

## ■共済制度に期待すること

保坂

共済会の各種事業は、私たちのサポ

ーター、あるいはバックヤードの役割な

んだなと思っているのですが、皆さんの立場でこれから期待すること、こういう

ことをやってもらいたい、といったところを聞かせてください。

種市

共済会のパンフレットなどいただいた



[共済会50周年に寄せて] 私たち夫婦は今年結婚2周年になります。目指せ結婚50周年を目指し結婚生活を送りたいと思います。50周年、100周年続くように私たち会員も微力ながら力になりたいです。 みえみさん(旭川市・女性)

ときには、職員間でこういうのがあるんだねという話をしたり、私個人としてもチケット斡旋を活用させてもらっていますので、このまま継続して欲しいです。

共済事業の話ではないのですが、種別ごとに縦割りっぽいところをリンクしていくと面白いかもしません。共済会を福利厚生プラス社会福祉法人というくくりでとらえると、ものすごい事業体ですよね。グループ会社とを考えると、支店が700いくつ、北海道と言つてもいいくらいです。共済会に加盟している施設間でネットワークみたいなものができたら、面白いかなと思いました。民間企業もぜひ協力したいところもあるかもしれません。いろんな取引を活性化していくと、内需だけですごいことになるかもしれません。ひとつの事業体でできないことが、お互いにリンクすることでの解決策も見えてくるかもしれません。共済会を通して、横つながりもできたら面白いかなと思います。

柳谷さん、いかがですか。

結婚祝金とか出産祝金とか入学祝金といった給付事業をけつこう使わせてもらっています。産休育休を心情的にもとりやすいというのがあって、離職率が少なく、定着率もいいのであります。

職員の慶事のことつて職員もみんなしないわせになるのでいいですね。

牛島

保坂  
柳谷

一時は、職員間でこういうのがあるんだねという話をしたり、私個人としてもチケット斡旋を活用させてもらっていますので、このまま継続して欲しいです。

共済事業の話ではないのですが、種別ごとに縦割りっぽいところをリンクしていくと面白いかもしません。共済会を福利厚生プラス社会福祉法人というくくりでとらえると、ものすごい事業体ですよね。グループ会社とを考えると、支店が700いくつ、北海道と言つてもいいくらいです。共済会に加盟している施設間でネットワークみたいなものができた

一條さんはいかがですか。

私はソウエルクラブの会員交流事業の企画委員をやらせていただいた時期がありまして、自分も楽しめてもらいました。

横つながりということでは、種別を超えた募集の仕方をしますので、何回か同じ企画をしていると、また今年もあつたね」ということもありますし、企画委員同士の交流もありました。施設の親睦会で集まりにくいところは、ソウエルクラブのボウリング大会とか食事会を利用して参加するのも効果的かなと思います。

福利厚生の効果と業務上での効果があるようですが、一條さんは企画委員もされていて、会員の方たちに伝える周知の仕方はうまく伝わっていましたか。

これは事業所さんによつていろいろ違うと思うのです。共済会のパンフレットを見て、ボウリング大会があるよとか、ソフトバレー大会、パークゴルフ大会があるから行こうよと言つて私のほうから声かけしましたね。

いろんな福利厚生の形があつて、活かされて、結果としてこういうことに役立つたということ、メリットになつたということがありますか。

事業所内での健康診断もありますが、それよりももう少し調べたいという職員も多くなつてるので、ある程度条件を満たしたら助成金が出るというのもとても役だっていますね。

保坂

共済会の福利厚生を使つてみて、これありがとうございます。

今は養成校で保育士の資格と幼稚園教諭の免許をダブルでとるのがスタンダードだと思いますが、私たちの時代は福祉に特化した保育士だけの資格を重点的に勉強した職員がもてはやされた時代がありました。私自身も保育士だけの資格でずつときていたのですが、今回認定こども園になるということで、職場からとくに求められている訳ではないですが、幼稚園教諭2種免許をとらせていただいて、共済会のほうからも助成金をいただき、頑張ったことに対しても必要な支援をもらえるというのはありがたいなと思いました。

保坂  
柳谷

柳谷さん、いかがですか。

福利厚生プラス社会福祉法人といふくくりでとらえると、ものすごい事業体ですね。グループ会社とを考えると、支店が700いくつ、北海道と言つてもいいくらいです。共済会に加盟している施設間でネットワークみたいなものができた

うと思うのです。共済会のパンフレットを見て、ボウリング大会があるよとか、ソフトバレー大会、パークゴルフ大会があるから行こうよと言つて私のほうから声かけしましたね。

いろんな福利厚生の形があつて、活かされて、結果としてこういうことに役立つたということ、メリットになつたということがありますか。

なるほどね。牛島さんはいかがですか。

私も働き始めてから社会福祉士の資格をとつたので助成事業でいただきました。それなりに金額がかかりますので、ありがたいと思いました。さきほどのキ

らストレスになるし、人間関係がギスギスしてしてしまうので、そこでしつかり休んで楽しんで、発散するのが一番かなと思います。

柳谷

共済会の福利厚生を使つてみて、これありがとうございます。

今は養成校で保育士の資格と幼稚園教諭の免許をダブルでとるのがスタンダードだと思いますが、私たちの時代は福祉に特化した保育士だけの資格を重点的に勉強した職員がもてはやされた時代がありました。私自身も保育士だけの資格でずつときていたのですが、今回認定こども園になるということで、職場からとくに求められている訳ではないですが、幼稚園教諭2種免許をとらせていただいて、共済会のほうからも助成金をいただき、頑張ったことに対しても必要な支援をもらえるというのはありがたいなと思いました。

事業所内での健康診断もありますが、それよりももう少し調べたいという職員も多くなつてるので、ある程度条件を満たしたら助成金が出るというのもとても役だっていますね。

なるほどね。牛島さんはいかがですか。

私も働き始めてから社会福祉士の資格をとつたので助成事業でいただきました。それなりに金額がかかりますので、ありがたいと思いました。さきほどのキ

**[わたしのしあわせ]** 私のしあわせは「伝える」ことです。人間関係の良し悪しは人の想いが伝わるかどうかに起因し、小さな誤解や齟齬の積み重ねが影響します。私の想いが伝わったと実感した時はとても嬉しくなります。 小原 穂さん(遠軽町・男性)



# 座談会

牛島

小学校での認知症の勉強会に僕も行きましたが、最後に感想文を書いてくれるんです。ものすごくおもしろいですね。「とても興味をもつた」「福祉の世界には入らないけど認知症の薬を開発したい」とか。今年のテーマは”老人ホームで働く人たちがどういう気持ちで働いているかを聞きたい”です。そういうところから底辺がひろがって、さつき言っていたやりがいのある職場環境とか、福祉になかなか人が来ないというところが変わっていくのかなと思いました。福祉業界を一本に束ねる、横をちゃんとつなげる組織だと思います。

種市

最後にひとこと感想をいただいて終わるために思います。

今日はいろいろ話を聞けて勉強させてもらいました。また、楽しく仕事できるのも福利厚生がしっかりとあるからだなあと、あらためて感じました。

一條

共済制度については、さきほど福利厚生が充実してないと、という話がありましたが、退職金もとっても重要で、法人一施設ではなかなかできない事業なので、こここそ共済会の大事なところだと思います。今日は色々なお話を聞かせていただきました。ありがとうございます。

東日本大震災や、そのあといろいろうれしかったです。

※オレンジカフェ／認知症になつても住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、認知症の人やその家族、地域住民などが集い、交流する場。

(収録／2017年秋)

柳谷

大変なときに、多くの若い人たちもボランティアで現地に行きました。別に彼らはそういうことをやりたくないと思つてはいたわけではないんですね。震災以降、意識が変わつたのかもしませんが、自分は社会の役に立てる、貢献したいと思う人がすごく増えている気がします。福祉つておもしろいよ、たいへんなこといっぱいあるけど、喜べる瞬間がいっぱいありますよということを、もつと発信しなければいけないと感じています。共済会を通じていろんな分野とも連携して、夢のある職場だとPRしたいですね。

保坂

座談会の話をいただいたとき、異業種間の交流というイメージがあつたのですが、皆さんいろいろと話していくうちに、福祉の分野はひとつだなと思いました。また共済会の活用のしかたについては、私たちももっと工夫して伝えていく必要がありますね。

今日は、たくさんのお話をありがとうございました。



# これからの中の福祉と共済制度の課題



一般社団法人全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会  
常務理事兼事務局長

塚口 研一

## この50年で私たちを取り巻く環境はどう変わったのか

社団法人北海道民間社会福祉事業職員共済会が設立された昭和43年頃は、高度経済成長の真っただ中で経済成長率は10%を超えて、国民の平均年齢も30歳を切っていました。合計特殊出生率は2・13倍、生産年齢人口の比率も65・9%と、今大きな経済成長を遂げているASEAN諸国と同じような状況で、社会は活気にあふれていました。

しかしその一方で水俣病、イタイイタイ病、四日市ぜんそくといった公害病の発生や、都市部への人口流入などを通した核家族化を背景に家族や地域の相互扶助機能の低下といった社会問題が顕在化した時代でもありました。高齢人口の上昇が始まったのもこの時期です。

さて、この時代の社会福祉の分野に目を向けると「寝たきり老人」が社会的な問題として取り上げられたほか、障害者や母子世帯など経済成長に取り残された人々への関心も高まるなかで、社会福祉施設の緊急整備が行われるとともに、コミュニティーオーガニゼーション理論を背景とした地域福祉活動が積極的に展開されるなど国民の社会福祉への関心が高まり、社会福祉事業所の開設や、市町村社会福祉協議会の結成が相次ぎました。

これらを背景に、事業の担い手である人材の確保が急務となり、「きつい」「汚い」「給料が安い」といったいわゆる3K職場からの脱却を目指して多くの福祉関係者が待遇改善に努めたのもこの時代でした。

この当時の共済制度の中身を見ると、退職金（年金）制度では、その多くが公務員並みの給付水準を目指し、正規職員を加入対象に年功序列・終身雇用を前提にした給付設計になっていました。

今では考えられない話ですが、制度設計上の利回りである予定利率も高い物価上昇を背景に標準で4%と今では考えられないほど高いものでした。

その他の福利厚生事業については慶弔金給付のほか、高度経済成長期に数多く建設された保養所、リゾート施設、スポーツ施設的とした都道府県や政令指定都市を単位に

した共済制度もこの昭和30年代から昭和40年代にかけて多く設立されています。

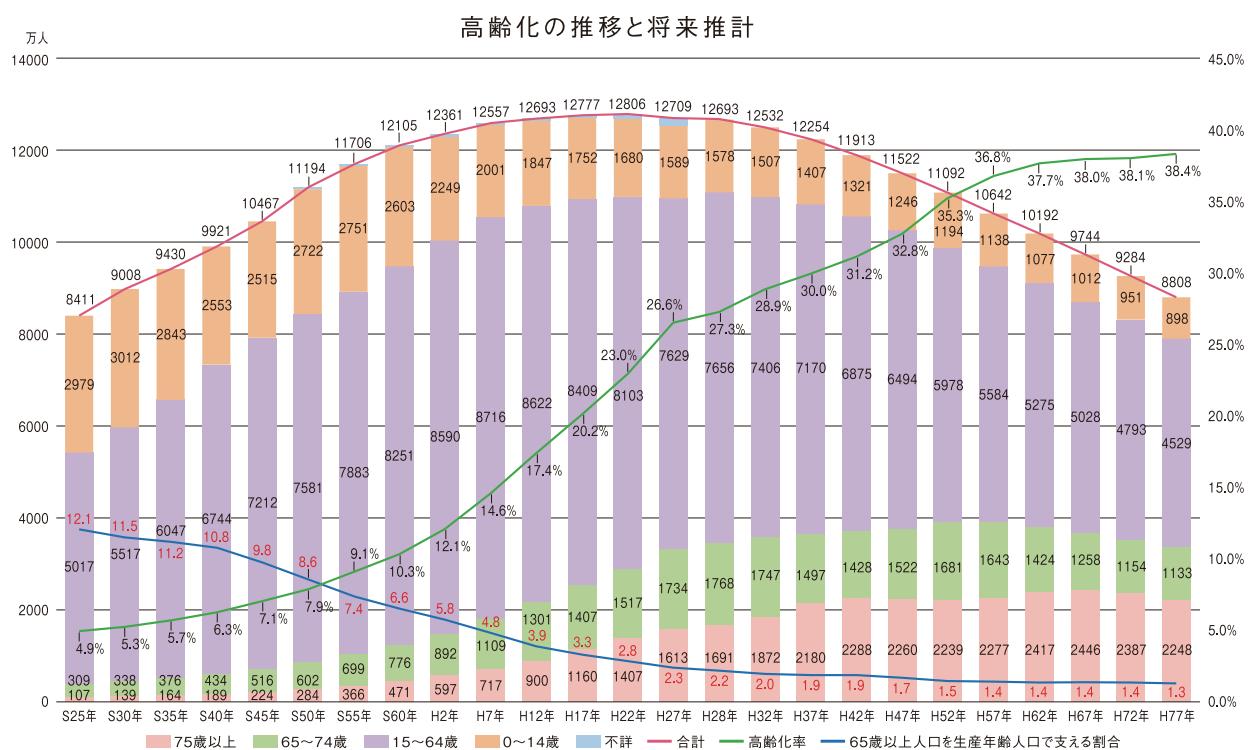
社会福祉事業振興会（独立行政法人福祉医療機構の前身）が実施する社会福祉施設職員等退職手当共済制度がスタートしたのもこの頃です。

といった箱物を利用したサービスや、レクリエーション性の高い行事などが主流となつていました。

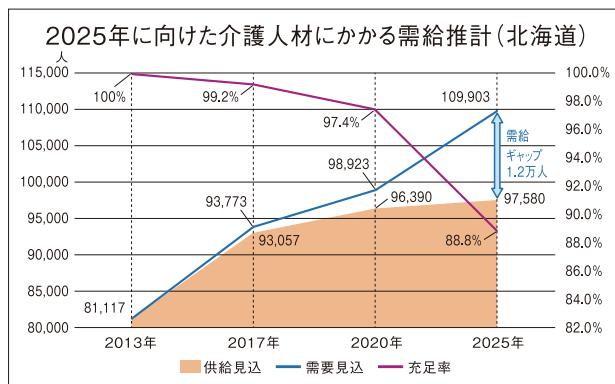
制度発足から50年の時を経て社会福祉、そして共済制度は大きな転換期を迎えています。その背景として押さえておかないと云ふ重要なポイントは3点です。

ひとつ目は少子高齢化という人口構造の変化に伴い労働力人口が大幅に減少する中で、共働き世帯が増加し、子育て世代の就業率が高まり、保育の需要が高くなっていること、そして人口の高齢化が進む中で特に後期高齢者が増加している点です。共済会発足当時におよそ7%だった65歳以上の人口は今では28%に達しています。介護や福祉に対するニーズはこれまでにないほど高まっています。

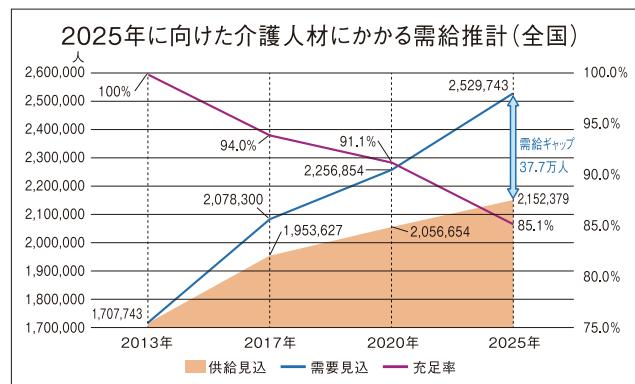
これらを背景に人材確保や定着を目的とした取り組みが進められていますが、保育分野では、厚生労働省が待機児童解消のため打ち出した保育士確保プランの平成29年度末の目標保育士数46・3万人に対しても、平成28年10月1日現在で38万人（社会福祉施設等調査／厚生労働省）と未だ8万人が不足しており人材確保が計画に追いついていません。また介護分野においても職員の需要に供給が追い付かず、2025年度には介護士



出典: 平成29年版高齢社会白書(内閣府)



出典: 2025年に向けた介護人材にかかる需給推計(確定値)について 平成27年6月24日 (厚生労働省)



が約38万人不足すると言われています。

さらにこの状況に追いつきをかけるのが地方からの人口流出です。北海道の場合、札幌市等の一部の市町村を除けば人口が減少しています。増加をしている市町村も増加要因は人口流入であり、出生者から死亡者を差し引いた自然減が今後進めば、まもなく人口の減少がはじまると思われます。今後なお一層の人材不足が懸念されます。

二つ目は福祉の担い手である職員の働き方が多様化していることです。共済会発足当時の働き手は大半が正規職員でしたが、現在の介護分野では施設系（入所型）の約35%、訪問系では約60%が非正規職員（「平成28年度介護労働実態調査」／公益財団法人介護労働安定センター）となっています。そして保育分野では保育士の約21%が非正規職員（「平成25年度社会福祉施設等調査」／厚生労働省大臣官房統計情報部）です。いまや介護や福祉の担い手は正規職員が主体ではなくなっています。

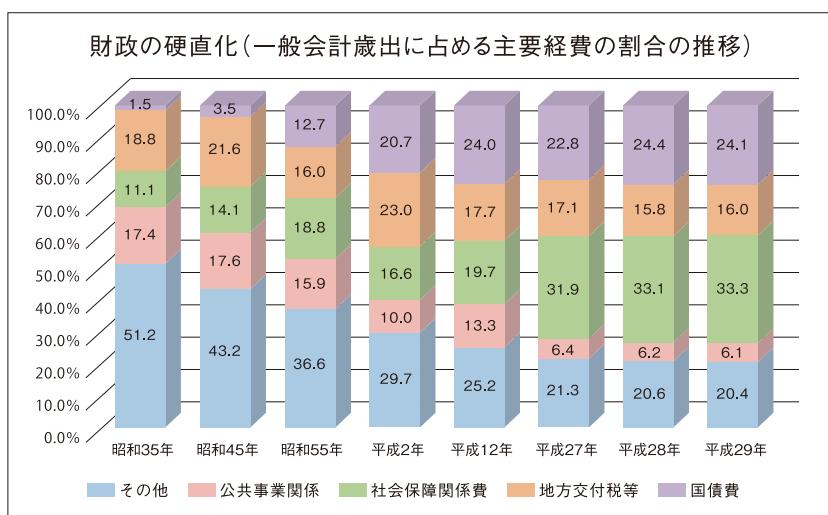
労働力人口の減少を背景に新規学卒者は介護・福祉の新たな担い手の中心では無くなりつつあり、中高年の労働者が将来の戦力として期待されています。

また、働き方も正規職員、非正規職員という単純な区分ではなく、時短正規職員、専門性の高い業務に従事する契約職員、定年再雇用者等の嘱託職員、臨時雇用職員など多様化しています。さらにEPA（経済連携協定）や外国人技能実習制度を利用した外国人の雇用も今後増加するものと予測されています。

そして三つ目は年金・医療・介護といった社会保障費の大幅な増加に加え、国や地方の長期債務残高が大幅に増加したことから財政に余裕が無くなり、様々な公費が削減される中において、社会保障の軸足も公助から共助・自助へと変わってきたことです。

老後資金として夫婦で5000万円の資金が必要と言われる時代に公的年金だけで老後の資金を貯うことは困難となってきたおり、公的年金にプラスして老後の資金を確保することが必須の備えとなっています。

福祉事業所の退職金制度として、共済会の制度と共に利用されてきた社会福祉施設職員等退職共済制度の公費助成（国と都道府県で約3分の2を負担）も、平成18年度に介護分野が、そして平成28年度からは障害分野が対象から外され、現在保育分野に



出典：財務省ホームページ

おいても補助金見直しの検討が行われています。

それでは介護や福祉の人材の確保・育成・定着が重大な課題になつてている中で、働き手が求める職場環境はいつたいどのようなものなのでしょうか。

#### 平成28年度介護労働実態調査(公益財団法人介護労働安定センター)によると介護職員の離職理由の1番目は「結婚・出産・妊娠・育児のため」(26.4%)、2番目は「自分の将来に見込みが立たなかったため」(16%)とあり、「収入が少なかつたため」(12.2%)は意外にも5番目にランクされています。また東京都保育士実態調査報告書(東京都福祉保健局／平成26年3月)においても「事務・雑務の軽減」(34.9%)「未消化休暇の改善」(31.5%)「勤務シフトの改善」(27.4%)が現場保育士の業務改善要望の上位にあげられるなど、人材を確保し、さらには定着させていくためには、ただ単に報酬を引き上げれば良いという単純な構造では無くなっています。

さらに人材の確保や定着には、これら所得水準の見直しや業務負担の軽減だけではなく、仕事以外の生活との調和を図るいわゆるワークライフバランスへの配慮と、将来の目標を持つてやり甲斐を感じながら仕事を

ができるようにするためのシステム、いわゆるキャリアパスの構築も重要なポイントになります。

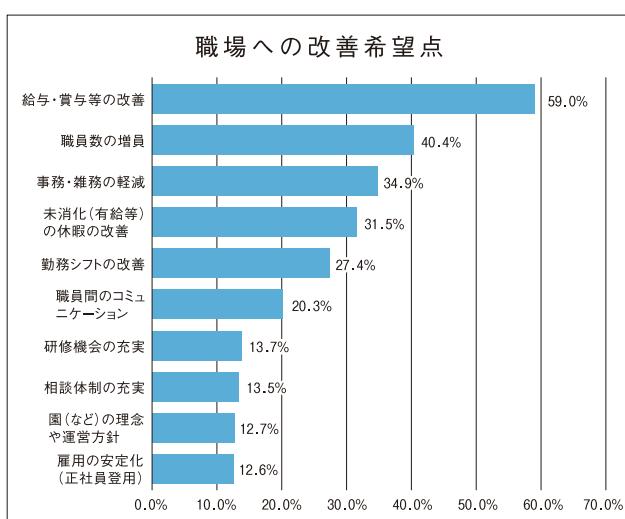
多様化する働き方の中で就業の形態に関するキヤリアパスの構築も重要なポイントになります。

わらずやり甲斐を持つて働くためには、業務の評価システムの構築や、時短正規職員や非正規雇用の職員が不利にならないような同一労働同一賃金のシステム構築も必要です。

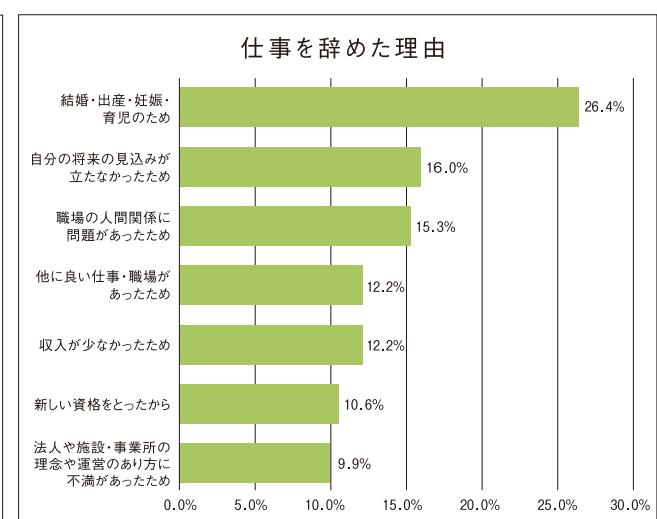
職場の業務負担軽減を目的とした記録や報告業務のIT化推進や介護ロボット導入についてはこれまで人員配置の見直しに繋がらなかつたため普及が進まないという側面もありましたが、平成30年4月の介護報酬改定ではロボット導入を報酬加算につなげる方針が打ち出され、いよいよ本格的な普及に繋がる可能性があります。現場の職員はこういった変化に対応する新たな専門知識に加え、社会福祉法人が求められている地域における公益的な取り組みを推進するには、コミュニケーション・ソーシャルワークのスキルも求められることになります。

このように介護・福祉現場で働く人材には、様々な専門性が求められると同時に、その働き方も時間にとらわれない働き方へ大きく変わろうとしています。

つまり在職期間や勤務時間の長さではなく、資格や専門性、スキルや業績を評価する労働形態に変わりつつあります。給与形態



出典: 東京都保育士実態調査報告書 平成26年3月(東京都福祉保健局)



出典: 平成28年度介護労働実態調査(公益財団法人 介護労働安定センター)

もこれにあわせたものに変わりつつあり、共済制度の掛金や給付の基準となつて来た給与の考え方も多様化が進んでいます。

そして社会福祉事業所の設置主体も、介護保険の導入や様々な規制改革を背景に大きな変化が起こっています。

制度発足当時の社会福祉事業所の設置主体は、社会福祉法人や宗教法人といった非営利組織を中心でしたが、平成12年に介護保険が施行されて以降、居宅サービス関係では営利法人の参入が相次ぎ、訪問介護事業所の65・5%、通所介護事業所の47・3%が営利法人（「平成28年介護サービス・事業所調査」／厚生労働省）となっています。

障害分野においても障害者総合支援法施行（平成18年4月）以降設立された就労支援関係事業所には多くの営利法人が参入し、特に就労継続支援（A型）事業においては57・3%、児童福祉法の放課後等デイサービスでは52・5%が営利法人による運営となっています。（「平成28年社会福祉施設等調査」／厚生労働省）

また保育等施設についても、待機児童解消を目的として企業主導型の事業所内保育事業が平成28年度から開始されるなど、営

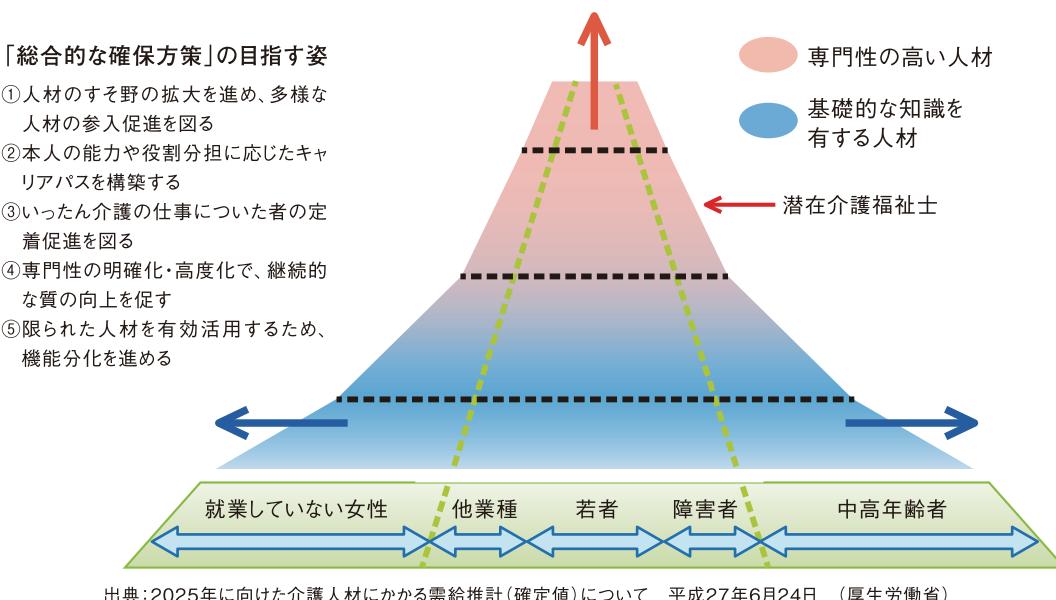
利法人による保育事業への参入がこの先増加するものと思われます。今後人手不足が進む中でこれまで以上に職員の争奪合戦が増え、雇用の流動化もこれまで以上に進むでしょう。

### これから求められる共済制度とは

これまで述べたように介護・社会福祉の現場では人手不足が深刻な問題となっており、共済制度も退職後や老後の生活保障というこれまでの役割に留まらず、人材確保や定着の促進へと期待される役割も多様化しています。

また、共済会という組織に求められる役割も、従来の退職金や福利厚生といったサービス提供に留まらず、介護や福祉の現場と密接な関係を持つている立場として、現場の声を集め・分析し、関係団体や機関と連携して人材の確保・育成・定着に努めるなど新たな事業展開が求められます。広報誌やホームページを利用した福祉現場の魅力の情報発信拠点としての役割も期待されています。共済制度に求められる役割は今後ますます多様化してくるでしょう。

### 目指すべき姿



雇用の流動化に伴うポータビリティ実現

や、大規模災害における事業継続のためのバックアップ体制構築、運営コスト削減による会員負担の軽減等を考えると、都道府県を超えた共済制度実施団体間の連携も重要です。

北海道民間社会福祉事業職員共済会の制度は企業年金のように法的根拠をもつた制度では無いために、制度運営上の幾つかの課題もありますが、会員ニーズに沿った自由な制度設計ができるという大きな魅力があります。

働き易い環境実現へ、そして万が一のセーフティーネットとして大きく期待されています。

す。

## 結びに代えて

ここまで述べて来たことは、福祉を取り巻く状況変化の一端にすぎません。退職金制

度を含めた福利厚生制度のあるべき姿は、地域によつても、業種によつても、また個人によつても様々です。そのような中で北海道民間社会福祉事業職員共済会はこれまで、常に会員の立場に立つて制度の見直しをすすめてきたことは紛れもない事実で、全国に誇れるものであると思っています。

今、福祉ニーズの増加や多様化、そして働

き手の不足の中でこれまで以上のスピードで大きな変化が押し寄せようとしています。また地域格差も非常に大きなもので、全国一律の制度ではカバーできない問題もたくさんあります。

介護や社会福祉の人材不足が深刻化する中、職域に特化し、しかも地域性をもつた共済制度の役割はこれまで以上に重要なものです。

北海道民間社会福祉事業職員共済会は、この度創立50年の節目を迎えるましたが、これからも会員一人一人の声を大切にし、現場を支える会員の想いに寄り添える組織として、ますます発展されることを願っています。



### プロフィール

#### 塙口 研一（つかぐち けんいち）

昭和39年兵庫県宝塚市生まれ。

昭和62年日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科卒業、社会福祉法人みぎわ会に勤務。

特別養護老人ホーム、デイサービスセンターの業務に従事。

平成4年から財団法人大阪民間社会福祉事業従事者共済会に勤務、平成19年より全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会事務局長、平成20年6月に全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会の一般社団法人化にあわせて、同協議会の常務理事に就任し現在に至る。

他に一般社団法人全国社会事業振興センター(特定退職金共済団体)常務理事の他、複数の共済団体の委員を兼任。

地元神戸では、まちづくり協議会委員長として、街づくりや防災に関わる活動、青少年育成協議会の青少年育成委員として青少年育成活動に取り組んでいる。

趣味は40歳代から始めたランニングと料理。



職

業

指

導

# 事業をどうやっていくか、どう広げていくかも考えます。

——職業指導員として、どんな仕事をしているのですか。

第2わかふじ寮は聴覚障がいだけでなく、重複障がいの方もいます。

障がいが重い方には、ウエス製作をやつていただくんですが、一人ひとりできることが違うので、その人に合わせた作業を準備し、利用者さんの日常生活支援もやります。トラックを運転して、完成したウエスを札幌まで納品することもあります。

さらに、事業をどうやっていくか、どう広げていくかということも考えます。もともとここを立ち上げた方がいたんですが、「習うより慣れろ……」と言う感じで、随分鍛えられました。「あれもやつてくれ、これもやつてくれ」と言われ、どつちをどうやればいいのか、最初は訳がわからなかつたです。「俺、身体ひとつしかないですよ」という感じで



## PROFILE

かとう ゆうへい  
**加藤 優平**

社会福祉法人 厚生協会  
第2わかふじ寮(新得町)  
／職業指導員

1987年生まれ、旭川市出身。  
小中高、専門学校、社会人と野球をつづけていたが、最近は仲間とサッカーやゴルフも。  
同福祉法人で共働きの妻と二人暮らし。



利用者さんへの仕事の指示はすべて手話で伝えます。



仕入れた材料の確認も大事な仕事です。

した。

ぼくは久々の新人だったので、わからないことがあつたら、訊いてくれと言われても、わからないことが判らない状態でした。とにかく見て覚える、自分から訊いて覚える。困ったことで訊いたことは、比較的すぐ覚えましたね。

——支援や事業のほうの自信がついてきたのは、いつころからですか。  
時間がかかりました。去年あたりかな。ぼくは負けず嫌いだから、言わればなじや嫌ではじめはストレスも溜まりました。辞めたいと思つたこともありましたが、力をつけて自分の意見を言えるよ

うにしました。

作業場には材料のタオルが山積みになつてゐるのですが、この事業

を大きくしていくためには、倉庫も必要になります。利用者さんも高齢化していくので、いずれは機械も導入しなくてはなりません。

上司とは事業計画を作ろうと話しています。営業が顧客を開拓していますから、年々ニーズも増えているんです。うちのウエスは品質もよく、商品単価も安いんですよ。

売上げがあがると、利用者さんの給料が増え、生活を守れると思うと励みになりますね。

仕事は楽しいというより、やら

なきやいけないという気持ちが強います。

——利用者さんとのコミュニケーションは手話ですよね。

利用者さんに「お前、手話できるのか」と言われ、とにかく必死で覚えました。筆談ができる方もいるの

で、利用者さんが手話の先生でした。「これどうやってやるの」と書いて、「こうやるよ」と教えてもらいました。毎日必ず手話に触れるので、自然に覚えていきました。気が付いたら、一年くらいで日常会話は問題なくできるようになつていましたね。

今は職員対象の手話学習会で、教える立場です。まずは利用者さんの名前ですが、顔写真を見ながら50音をつかつて表現の仕方を勉強します。

——仕事以外の時間は、どのように過ごしていますか。

昨年（2016年）、結婚をしました。嫁は同じ法人の特養で看護員として働いています。職場結婚は、できるだけ避けていたのですが……（笑）。

共働きなので、掃除や洗濯、食器洗いなどもやります。ぼくは宿直などがなければ、平日は6時には家に帰れます。嫁はデイサービスの相談員なので、夜は会議と

かがあると帰宅が遅いですね。余暇は、もともとスポーツが好きなので、仲間と体育館で年中サッカーをやっています。他の施設の若い男の人たちとも交流ができて、一緒にお酒も飲むようになりますね。横つながりが広がりました。仕事で落ち込むことがあります。仕事で落ち込むことがあっても、お酒を飲んで寝て、次の日にはコロッと忘れて、また頑張ろうという感じです。いつまでも引きずらないようにしてしています。

——福祉を志す人に、なにかアドバイスはありますか。

他の仕事を比べて、多少イメージは良くないかもしれません。少子高齢化の中でニーズが増えて、絶対に必要な仕事です。人のためにする仕事に魅力を感じられれば出来ると思う。「福祉」と捉えるのではなく、人に尽くす仕事と考えればいいかな。新卒だけでなく、中途でもそういうふうに捉えればいいのではと思います。

介

護

職

員

大変なこともありますが、それ以上にやりがいがあります。



—老人福祉施設に勤めた理由  
を教えてください。

子どもが好きで保育士になりたいと思い、保育の短大に進みました。が、2年の時に知的障がい者施設で実習して児童以外の分野に興味をもち、福祉施設で働きたいと思つたのです。両親は保育士になりたいというから、短大に行かせたのに…と最初は反対していました。

卒業して知的障がい者施設に就職しましたが、そこは1年で辞めてしましました。そんなときに、花の苑で職員を募集しているよ、と高校時代の友人が声をかけてくれたのです。ここで働きながら介護の勉強をして、介護福祉士の資格を取りました。親はあなたに介護の仕事ができるの?と心配していましたが、今では応援してくれてい

## PROFILE

むかいひら しょうこ  
向平 翁子

社会福祉法人 浄光会  
特別養護老人ホーム 花の苑  
(遠軽町) / 介護福祉士  
1992年生まれ、湧別町出身。  
保育士と幼稚園教諭の資格。  
2017年に結婚、夫と二人暮らし。

友人は高校卒業後、ここに就職してその後結婚し、出産ぎりぎりまで働いていました。お腹が大きくなつても働けるというのは、職場環境もとてもいいのだろうと思ふると思うので心強い職場です。

——介護の現場に飛び込んで大変なことはないですか。

人対人なので決まった形がなく、その日によって、その人によつて常に変化しているので、対応も難しいし大変なこともありますが、それ以上にやりがいがとてあります。

ここはユニット型で、私は「さくら」というショートステイの利用者さんや自立度の高い入所者さんをお世話する場所を担当しています。私が勤めはじめて、1年もしないうちに建物が新しくなつてユニット型になりました。木の温もりを感じる優しい建物は働く私たちも心豊かになります。

長く関わつていると利用者さんに自分の祖父母のような感情がわいてきます。何をしたら喜んでくれるか、何をしたら調子が良くなれるか、いつもその方が笑顔になれるように工夫しているつもりです。利

用者さんは、若いころのお話や90代の方だつたら戦争時代のことも話してくださいます。そんなお話を聞けることもとても貴重です。

長期の休み明けに出勤したら、ショートステイを利用している方が、「ずっといなかつたから心配していたよ」と言つてくれたんです。私のこと覚えていてくれたのだと思つたら嬉しくなりました。必要とされていると感じた時や、「あなたが好きだよ」と言つてもらえた時は、嬉しいですし、がんばろうという気持ちになります。

——いつもどんなことに気をつけて仕事をしていますか。

笑顔は心がけています。利用者さんに対してももちろんですが、スタッフ同士も笑顔で、明るい雰囲気作りを心がけています。家でいやなことがあつても仕事なので、ちゃんと切り替えます。

仕事がうまくいかなかつた時は、夫に話します。○○だよつて言つてほしいのですが、無口なのであまり言つてくれません。でも黙つて聞いてくれるだけでも、ストレス解消できます。家に帰つて誰かいてくれるということは、ありがたいです。

——介護の仕事に就いて、自分自

誤嚥を予防するための体操のあと、笑顔で食事の準備・支援を行います。



身変わつたことはありますか。

昔は親に強くあたつていたのが、優しくなつたかな。自分の祖父母の生活もすごく気になるようになります。休みの日に顔を見に行く回数が増え、そんなに心配しなくていいよつて、かえつて気を遣わせてしまします。最近は私に祖父母のことを相談してくれるようになります。私のわかる範囲で相談にのつたり、調べてあげたりしてあります。私の方からもこういうところを気をつけて見てあげて、なんて言つたりしています。

——勤務のシフトもあると思いま

すが、休日はどう過ごしていますか。

結婚した時にお祝い金をいただきました。介護福祉士の資格を取つたときにも、共済会のハンドブックを見て、こんなものもあるんだ、と思いながら見ています。

早朝出勤、日勤、遅番、泊まり



もあります。夫は消防署に勤めていて泊まり勤務もありますので、そういう意味では私の仕事に理解があります。平日に休みを合わせてとることもできますから、休みが一緒のときは車で遠くまで出かけたり、温泉に行つたりします。夫が仕事で私だけが休みの日は、とにかく早く家事をすませて、あとは家でゆつくり寝ていますね。



保

育

保

士

育

# 中学生の頃から、保育の仕事にあこがれていました。

——保育の仕事について10年ですか。男性はまだ少いですよね？

はい、年数だけは経ちましたね。こここのこども園には4月に転勤してきました。それまでは、同じ法人の谷地頭保育園に新卒で入って9年、勤めました。今は男性保育者が3名いますが、谷地頭では、ぼくひとりでした。

——保育者を目指したのはいつごろで、何がきっかけですか？

中学、高校生くらいです。5歳下の妹がいて、よく面倒をみていました。小学生のときに近くの児童館に遊びに行って、年下の子に関わることも好きでした。また自分自身も保育園の先生が大好きで今でも名前を覚えています。そういうものもあって、中学生のときに



## PROFILE

佐藤 翔太  
さとう しょうた

社会福祉法人 函館共愛会  
函館鍛治さくら認定こども園  
／保育士・保育教諭

1987年生まれ、函館市出身。  
小学校では体操、中学校ではバレーボールをやっていた。  
休みの日は、買い物や友人に会ったり、冬はスノボをやっている。



子どもたちのお昼ごはんを準備したあとは一緒に食べるのが日課ですが、ひとりひとりの様子を見るのも怠りません。



## 様変わりしたことはありますか。

28年度に保育園から認定こども園となりました。保育ニーズも多様化してきているので、様々な面で配慮が必要なことも多くあります。が、子ども達が安心して遊んだり生活したりできる、よりよい環境を整えていくことは変わらず行つて行きたいと思っています。

## 特別な行事で佐藤さんが関わることはありますか。

12月に初めてやる行事がありましめたが、保育者を続けているのは、ぼくともうひとりだけですね。専門学校で男の同級生は6人いましたが、保育者を続けているのは、ぼくともうひとりだけですね。

## 保育者としてどんなことに気をつけた仕事をしていますか。

大事なお子さんをあずかっているので、けがをさせない環境をつくつくり、一緒に楽しんで思いきり遊ぶ。

## まわりに保育者を目指している友人はいましたか？

いないですね。でも、保育者を目指していることを友人に話すと、そうなんだ、という普通の反応でした。家族も応援してくれました。母が働いていたので、ぼく自身も保育園の経験がありました。

## つてなんですか。

子どもたちの大事な時期の成長を間近で見て、関わることです。昨日まで出来なかつたことが今日は出来るということを一緒に喜んであげる。ゆっくりの子もいるし、どんどん出来る子もいるけど、その子なりに頑張っている姿を見られると嬉しくなります。

## 卒園児を出すときは、ぼくは毎回泣いてしまいます。修了証書を

もらう子どもの姿や、保護者さんからありがたい言葉をいただいた時は、この職業でしか味わうことできない、やりがいを感じます。ぼくが最初にうけもつた年長は、してもらう企画です。今回は大きいクラスのお子さんとお父さんだけですが、もつと子どもとふれ合つて、向き合う時間をつくつてもらいたいと思って考えました。初めてなので楽しみです。うまくいったら、これからも続けていきたいです。

## 保育者としてスキルを高めるためにどんな努力をしていますか。

先輩先生の考え方やアイデア、子どもたちへのことばかけの仕方など見て勉強します。作り物はこんなふうに作るとかわいくできると知つて、そのアイデアをいただいたり、いろいろ相談にのつてもらつています。長くこの仕事を続けてこれたのは、なんでも相談できて、話ができる環境だと思います。もつと勉強して、スキルを上げて、園長先生になることが目標です。

人と話すのが好きだから、ずっと現場で働きたいです。



—地元で福祉の仕事に就いた理由を教えてください。

私は平取で生まれ、小中高と地元で学びました。専門学校に通うために2年間だけ札幌で暮らしましたが、やっぱり平取が好きで就職するために戻ってきました。

高校の選択授業に福祉コースがあつて、地元の特養とかデイサービスで実習するんですが、在学中にヘルパー2級と介護福祉士の資格を取りました。同級生35人のうち、福祉コースを選択したのは6人だけで、みんなが夏休みで遊んでいるときも実習や講習があつて忙しかったです。その時は、福祉コースを選択して失敗したなと思いましたが、今考えると良かったです。

福祉の専門性をもっと身につけてと思って、専門学校の介護福祉学科に進みました。きっかけは祖母の死でした。祖母の希望で最

#### PROFILE

うえき ひとみ  
植木 瞳美

社会福祉法人 平取町社会福祉協議会／指定訪問介護事業所サービス提供責任者

1989年生まれ、  
平取町出身。  
介護福祉士、ヘルパー2級、  
介護支援専門員。

後は自宅で看取りましたが、私は何もできませんでした。元気だった頃のおばあちゃんの面影は全くなかつたんです。ガンで衰弱し寝つきりになつた祖母を前にして、不甲斐ないと思いました。

今だつたら経験もいろいろ積んでるので、声掛けやスキンシップを通して、寝つきりの祖母に寄り添うことができたと思います。

——訪問介護員の責任者として、どういう仕事をされるのですか。

ヘルパーの仕事もしますが、事務方の仕事が多いですね。また、うちの事務所には5人のヘルパーがいますので、新規の利用者さんのところに行くときは必ず同行し、「こういう方で、今日はこういう事をやります」と説明や紹介をします。利用者さんとヘルパーが合わないという場合は、どうやつたら円滑にいくかということを、話を聞いて対処していきます。またヘルパーのほうから、「今日こんなことがあります」という報告を受けたら、担当のケアマネに伝えるという橋渡しもします。ヘルパー業務とは別のかたちで利用者さんのお宅を訪問することもあります。事務所は土曜、祝日はお休みなので、私は休みの

日でも業務に入つてはいるヘルパーと連絡がとれるようになっています。

——お休みの日に連絡が入ることがあるんですか。

祝日にヘルパーが訪問したとき

に、利用者さんが留守だというのが一番多いです。祝日はヘルパーが来ないと思って出掛けるんですね。

お元気ならしいのですが、ひとり暮らしの方ばかりなので、家の中で倒れているかもしれないし、具合が悪くて病院にいったかもしれない

ので、ケアマネさんや緊急連絡先のご家族さんに電話をかけたり、安否確認するまではあらゆる方法で連絡をとります。連絡がとれるまで、本当にそわそわして落ち着かないですね。お年寄りなので予期せぬことがありますから。

——訪問介護の仕事で、苦労することや困ったことはありますか。

今日、訪問したお宅は掃除とべットメイキングとゴミ出しでしたが、ほかの利用者さんのお宅では、料理をすることもあります。でも料理は苦手です。自分ひとりの料理ならなんとかなりますが、利用者さんは、ひとりひとり味の好みも違うし、食材ひとつとっても、その家庭で切り方も違うので、家の

中で一番大変だと思います。「冷蔵庫の中にある食材で何か適当に作つて…」と言わると困ります。実家でも家事はやっていますが、料理のレパートリーは少ないんです。

——この仕事をやっていて良かつた、と思うのはどんなときですか。

利用者さんから、「ひとりでいる」と話することも笑うこともないけど、今日は笑つたよ、来ててくれて嬉しかったよ」と言われると、私も嬉しくなりますし、元気をいただきます。「またがんばろう」といつも思います。人と話をするのがとても好きなんです。自分の体が動く間はずつと現場で働きたいですね。

さまで参加するかもしれません。

あとスポーツ観戦で一年に何回かは、札幌ドームに野球を見に行きますが、ビジター席の扱いはないのですが、ビジター席の扱いはないですね。私、ロッテファンなのですよね。

で、日ハム側じやないチケットが欲しいです。日ハム側に席を取ると、私にとつてはアウエー状態になるんです(笑)。(収録／2018年春)

現場が楽しいです。

——共済会の交流事業で利用したいものがありますか。

グルメの会などに参加してみたいくつ思うことはありますが、今はひとりで行く勇氣がないので、もう少し年齢を重ねたら「おひとりさま」で参加するかもしません。

あとスポーツ観戦で一年に何回かは、札幌ドームに野球を見に行きますが、ビジター席の扱いはないのですが、ビジター席の扱いはないですね。私、ロッテファンなのですよね。

で、日ハム側じやないチケットが欲しいです。日ハム側に席を取ると、

私にとつてはアウエー状態になる

んです(笑)。(収録／2018年春)



福祉の仕事を目指す方には、がんばってと言つて応援したいです。



平井 唯昌

介  
護  
支  
援  
専  
門  
員

胸をはつて誇れる職業です。

——老人福祉を仕事に選んだ理由はなんですか。

高校時代に、将来どうしようと考えていたとき、ニュースなどでは、しきりに「高齢化」が言われていました。今後は高齢者福祉が重要なことになるんだなと思ったことがきっかけです。子どものころから祖父母と暮らしていて、周りにもお年寄りがたくさんいたので、お年寄りに関わる仕事に就いても違和感はありませんでした。

福祉専門学校では、介護福祉科を選択しました。実習も特養だったのですで、就職は最初から老人福祉施設と考えていました。

——介護支援専門員（ケアマネジヤー）の資格を取ったのはいつですか。  
2年前です。介護の現場の仕事には全く不満はなかったのですが、結婚して子どもがてきてからは、将来のこといろいろ考えると、



## PROFILE

ひらい ただまさ  
平井 唯昌

社会福祉法人 愛善会（旭川市）  
老人保健施設 愛善ハイツ  
／介護支援専門員

1988年生まれ、苫前町出身。  
学生時代は野球、現在は職場のフットサルチームに所属。  
家族は妻、5歳の女の子と2歳の男の子。

ケアマネを取ったほうが道も広がると思ったので挑戦しました。

試験は毎年10月なので、2月くらいから準備しました。3日間日勤業務をして、夜勤をするとその次の朝9時半くらいに仕事が終わるんです。明けと休みが必ずセットになつてるので、それを利用して勉強しました。子どもが寝付いた夜9時ころから試験問題などを集中して勉強しました。自分から資格を取ろうと思ったので苦にはならなかつたですね。

——いまの仕事に就いてからの苦労や悩みはありますか。

入所を希望されるご本人とご家族に何度もお会いしてお話をしますが、「ことば」ひとつで、トラブルの可能性になるで神経は使います。私は業務課なのですが、みんな忙しいのに気かけてくれて、相談事があるといつでもミーティングをしてくるのでありがたいです。「ここがいきづまつて」と言うと、話を聞いてアドバイスをくれるので本当に助かります。

話すときは相手に正確に伝えるために、自分の中で一度きちんと考えますし、ほかの方も違う視点で整理してくれます。気持ちが楽に

なりますね。私自身が難しく考えすぎていることもあります。

家庭に仕事のことを持ち込んではいけないのですが、前よりは愚痴をこぼすようになつたかもしれませんね。自分は切りかえが苦手なタイプなんです。でも、人を支えている仕事なので、胸をはつて誇れる職業だと思います。だから、この仕事がつらいと思ったことはないです。価値があると実感できる仕事だと思います。

——ケアマネジャーになつて変わったことがありますか。

研修会や交流会、勉強会に積極的に参加するようになりました。旭川は福祉サービス事業者の横のつながりがけつこう熱いみたいです。そういう会に出て顔みしりになると、お互いに悩みとか疑問などを話せるようになりました。

私はここで介護職員になり、ここでケアマネをやらせてもらつていいので、他の事業所のやり方を知りません。視点が狭いかなと思うんです。外とのつながりが増えたことで、もつと幅広く知りたいと思つようになりました。

——何かチャレンジしていること

解決すべき課題を把握し、どんなサービスができるかケアプランを作成します。



ケアマネの実務2年間を積むことができましたので、国家資格を

取ろうと思います。5月から社会福祉士の通信課程をはじめます。

他の事業所の人会つて話をしてもうと、自分はまだだなと思

います。難しい症例や相談もたくさん経験していくことで成長していきます。

「顔の見える連携」はこれからも大切していきたいです。

——ストレス発散はどうしているのですか。

じつは休みの日でも仕事のことが気になつて、法制を調べたりして、わりと引きずるんです。職場の人からはいろいろアドバイスをいただ

いて、そんなことじや精神衛生上良くないと言われます。切りかえが大事だと。しかし、今は子どもがそのあたりを埋めてくれているのかもしれません。

もともと出かけるのが好きではなく、家でゴロゴロしたいほうです。

でも、もちろん子どもと一緒に出かけるし、公園とかに行けば楽しいですし、家族の存在は大きいです。

あとは、映画を観ることも好きなので、その世界に入つて現実逃避するのも、気分転換になつています。

切りかえが下手だといつても、こうやつて仕事を続けているので、たぶん、ちゃんとストレス発散しているんだろうなと思います。

栄

養

士

# 給食を楽しみにしている人を嫌な気持にさせたくないんです。

— 栄養士になりたいと思ったのはいつごろですか？ また福祉施設を選んだ理由はありますか？

小学校一年から剣道をやっていたんですが、高校生のときにもう少し剣道を続けたいと思って、住んでいた伊達から一番近くで剣道ができる学校を探したら、駒澤大学苦小牧短期大学でした。そこは食物栄養科しかなくて。そんな訳で栄養士になりました(笑)。

ふみだすに勤めるようになつたのは、たまたま栄養士を探してみると聞いたからです。面接にきたら採用されました。それでも、室蘭で企業の社員寮などの栄養士をしていましたが、そこでは調理士さんがほとんどのことをやっていたので、私は事務員みたいな感じで、ちゃんと栄養士の資格を活かせていなかつたんです。でも、一番の理由は家から近いと「言うことですね」。



## PROFILE

たなか ゆか  
田中 佑佳

社会福祉法人 伊達コスモス21  
ふみだす／栄養士

1981年生まれ、伊達市出身。  
数年前まで続けていた剣道は三段の腕前。現在も仕事が早く終わったときは、体育館のトレーニング室で体を鍛えたり、ピラティスなどを習っている。

作ったものは車で運び、回収もします。量も重さもあるのでちょっととした力仕事です。



利用者さんにも人気の田中さん。

――ふみだまでの栄養士の仕事を教えてください。

冷蔵庫や冷凍庫の在庫を見ながら材料を注文して、2週間ずつ献立を作ります。野菜などは発注だとどうしても価格が上がるので、私が直接、店に買いにいくこともあります。利用者さんが働いた工賃の中から給食代をいただいているので、簡単に値上げするわけにはいきません。無駄なものは買わない、あるものでうまくやりくりするなど、工夫をしています。

――献立を作るときに工夫していることはありますか？

ふみだまで作ったものは、向かいの施設にも運ぶので私が車を運転して、配達し回収もやりますね。あと、事務仕事もいろいろあります。

――献立を作るときに工夫していることはありますか？

栄養のことはもちろん考えますが、好き嫌いもあるし、やわいとか固いとか、いろいろ考えなくてはなりません。例え、今日の献立のミートローフの場合、ひき肉が苦手という人もいるんです。そういうときは豚肉を焼くとか、生野菜が食べづらい人には温野菜にして細

――ふみだまでの栄養士の仕事を教えてください。

す。調理員さんの中に、前任の栄養士がおりますので、相談にのつてもらひ助けてもらっています。

――利用者さんの様子を見て、気をつけていることなどありますか。

むせこみやすい食材は、使わないようになっています。身体が弱い人も元気な人もいるので、いろいろ考えて作っています。魚は骨抜きのものを仕入れます。目も悪くなっているので、骨をよけることができない、喉につかえたら大変です。

――共済会の制度を利用したことはありますか。

今年初めて、伊達グルメ会に参加しました。盛り上がりがついていましたよ。とてもいいですね。グルメ会では他の栄養士さんにもお会いで話もできました。また来年もいきます。（収録／2017年冬）

かく刻むとかありますね。呑み込むのが苦手な人もいますから。食べられなかつたら、かわいそうでしょう。ここに来ている多くの人たちは給食を楽しみにしています。だから、食べることで嫌な気持ちにさせたくないのです。

メニューは、月曜日はパンの日、水曜日は麺類の日、木曜日は色ごはんの日（まぜごはん、丂ぶりもの、カレーライス）と、私なりに決めてメニューを作っています。人気は丂ぶりものやカレーライスです。嗜好調査以外は「何食べたい」って聞くと、「肉」って答えます。魚よりも肉ですね。

――今までに失敗したこととか、困ったことなどありますか。

たぶん、いっぱいあるかも？ この間、調理員さんに明日使う食材なにか、と言われたんです。発注忘れていたんですね。あらゆる手をつかつて、なんとか乗り越えました。代用品使つたり、すぐ買い物に行つたりして。調理員さんが工夫してくれたりして、助けられています。

利用者さんはざつくばらんなコミュニケーションが大事だと思っていますので、食事が終わつたあと、「ちゃんと食べられたかな」などと、話ををするようにしています。「今日、美味しかったよ」と言われるのが一番嬉しいですね。

この仕事はぼくに向いています。  
人とのつながりが好きなので



### — 社会福祉協議会の仕事を選んだ理由は何ですか。

実は公務員になりたくて、就職試験は役所関係ばかり受けていました。一年間、就職浪人しているときに、ここに求人に目がとまりましたが、社会福祉協議会というところがどんな仕事をしているのかイメージがわからなくて、役所と同じようななところかなと思いました。まわりの人から、社協って何してるのと言われてもうまく説明できなくて、ぼくも今勉強中だよ、と答えましたが、今なら、地域の人と市役所をつないで地域活性化するパイプ役と答えます。

### — 社協に入つてから、社会福祉の勉強をされたのですか。

ここはやつている事業も多くて、介護など地域との連携もあり、出歩くことが多いんです。はじめはデスクワークと思っていたんですけど

### PROFILE

あさの 浅野 幹人

社会福祉法人 赤平市社会福祉協議会／主事

1990年生まれ、南幌町出身。  
小学校の頃から野球をはじめ、  
現在も赤平市役所の野球部に  
所属し、自治労の大会などに出場している。  
ストレス解消はドライブ。

ど……。だから、最初の一年は、どんな事業をやっているか、ひたすら調べました。今年で4年目になりますが、幅広くいろんな事業に関わってほしいと言わわれているので、深い知識は得られていませんが、広い知識は得られたと思います。

――たとえば、どんな事業に関わっていますか。

地域の事業であれば、ボランティア祭りなどの手伝い、地域の高齢者の方の送迎や、社会福祉大会や健康高齢者の表彰など本当に地域福祉事業はたくさんあります。居宅サービスでやっている訪問入浴介護のときは、運転手をすることもあつて、そのときは浴槽を準備してホースをつなげお湯のセッティングもします。ヘルパーさんと一緒に仕事をすることもありますが、介護のほうはまだ疎いですね。

——高齢者の方たちとお話しするの  
は苦手ではないですか。

ぼくは実家が南幌町で、祖父母と一緒に暮していたので、お年寄りの方と話すのは抵抗ないです。就職して赤平で初めてのひとり暮らしですが、南幌町とはどこか似ていて、同じ匂いがします。いろいろな事業に顔を出すようになつて

ボランティアさんやお客様として参加される方と話す機会も増え、知っている人も多くなりました。——今まで印象にのこっている仕事はなんですか。

毎年2月に中学生を対象に福祉体験交流会というのをやっているのですが、今年はその担当を全て任せされました。司会をやって、才

劇を入れて、タイムスケジュールもすべて決めました。市役所の方とも連携して、中学生に認知症サポーターになつてもらう養成講座を企画したんです。ほかの地域ではなかなかないことです。終了したら

オレンジリングと証明書を発行します。これから羽ばたいていく若い

世代が福祉に少しでも興味をもつて、福祉関係の仕事に就いてくれ

たらしいなと思っています。中学生だけでなく、他の方もいらっしゃつ

いていて今年は40名ほどかサボーラーになつてくれました。不安もありましたが、初めて任されてやり遂げたので、達成感はありましたね。また、来年も開きます。

――これからやつてみたいことや  
目標はありますか。



人とのつながりが好きで、人と話をして悩み事を聞いてあげたり問題があればそれを職場に持ち帰つて相談し、そしてそれをまた地域に投げかけて、より良くしていこうとする社協の仕事は、ぼくに向いていると思いますね。

——共済会に期待することや、参加してみての感想はありますか。

空知地区のグルメ会やボウリング大会には参加しています。地区

1

A medium shot of a man with dark hair and glasses, wearing a blue suit jacket over a white shirt and red tie. He is seated at a desk, looking intently at a computer monitor. In the background, a woman is visible working at another desk in an office setting.

A portrait of a young man with dark hair, wearing a dark blue blazer over a white shirt. He is looking slightly to his left.



インタビュー当曰は、ボランティア祭り開催日で朝の送迎から運営、進行、カメラマンと大忙し。さらには寸劇の主役までこなして汗だくでした。

ごとの行事に参加できるのはいいですね。ほかの施設の方たちと交えていこうと思っています。自分で新しく企画するということはまだ

流できるので、勉強にもなります。

とがないのですが、劇団四季や野球、サッカーも今後使ってみたいのです。ファイターズ戦で共同募金のブースを手伝ったことはあります

戦したいと思っています。  
社会福祉士の資格も勉強して取  
りたいと思っているので、そのときは  
ぜひ共済会の助成金を使わせてもら  
いたいですね。 (収録 / 2017年秋)

## はじめに

さまざまな福祉の現場で働く皆様、職員共済会関係の皆様、創立50周年まことにおめでとうございます。

この半世紀、日本の社会は大きく変わりました。その変化の中で福祉職の職場環境を良くし、利用の方々の人生や生活と向き合つてこられました。さぞかし、ご苦労も多々、この50周年を迎えて、感慨深いものがあるだろうと拝察いたしております。

\*

私は、福祉の現場についてはボランティア程度の体験しかありません。しかし、執筆などの仕事を通して、たくさんのお出会いがあり、感動がありました。保育園にはかつての利用者として、深い感謝の思いがあります。また、介護では将来の利用者です。

この50年のお祝いとして、それらの思いを記してみようと思います。

皆様の、今後のご活躍、ご多幸を祈りつつ。

## 福祉職は格闘技

福祉の現場は、高齢者、障害者、子どもなどさまざまです。どの職場もいろいろな事情



ノンフィクション作家 沖藤 典子

を抱えており、働く人もまた多様な悩みや葛藤、喜びなどを抱えています。そこに利用者の方々や家族の事情や思いもからんできて、一様に語ることのできないものです。そこが、福祉職というものが抱える基本的な難しさと辛さです。

「この難しさや辛さを乗り越えていくのが、自分の人生だ。これほど挑戦しがいのある仕事が他にあるだろうか」

こう思えるかどうか、そこが継続の鍵になり、職業人としての誇りに繋がるようになります。

ある時、障害者施設で働く職員の嘆きを聞いて、福祉職場の前近代性に衝撃を受けたことがあります（もう変わつていればいいのですが）。

「上の方からいつもいわれるのは、『福祉は心』だという言葉です。待遇や職場の雰囲気が、この都合のいい言葉に振り回されているようで、辞めたくなるんです」

いつたいこの世に、「心」が必要でない仕事があるでしょうか。音楽家は心だ、画家は心だ、作家は心だ、会社員は心だ、店員は心だ、みんな当たり前です。それなのになぜ、福祉だけ「心」が強調されるのでしょうか。

昔、「福祉職は、冷たい頭と熱い胸」という

言葉を聞いたことがあります、これもすべての職業に普遍化されるもので、福祉職に限つたものではありません。働く人すべてが持つて、強調されるのでしよう。

皆様達は、自分の職業について、どのような言葉を持っているのでしょうか。

福祉は、その仕事相手が、なんらかの不便を抱えている人々です。そこから見下しや乱暴な扱い、言葉での貶めなどが発生していく余地があります。だからこそ「心」が強調されるのでしようが、必要なのは自分の中の相手を見下す「心」や、乱暴に扱つてもいいのだという「心」や、怠けても文句いわれないというサボリ「心」などなどの戦いです。

福祉職は、自分との闘いの職業です。相手へのマイナス感情との闘い、便や尿の匂いとの闘い、「早くしてよ」など言葉による拘束、怠け心との闘い、勤務の不規則性との闘い、社会的位置づけとの闘いなどなど。やがては人間存在への徹底的な賛歌にたどり着く、その格闘の歴史が福祉職の人の風格を作り上げていくと思います。福祉職は格闘技の世界です。私は常々、福祉で働く人は「何か一点多く持つていて」と思っています。その何かは分からぬけど何かが違う。それがこの格闘の歴史からこぼれ出る、実りというものがかもしれません。「人格専門職」といわれる

ゆえんです。

## 感受性を宝として

福祉職といえば、特別養護老人ホーム（以下特養ホーム）の介護職を連想します。

多くの福祉の職場がそうであるように、特養ホームでも人間関係が二つあります。仕事相手の人と、職場の人間関係と。この人間関係の二重性は、いろいろな場面で辛さともなり、慰めともなり非常に多様な人間関係を生んでいます。

とくに利用者さんとの関係で、悩む人が多いようです。

「あの言葉、態度で良かつたのか」と、辛い思いで帰宅することがあるんですね」

でも、こういう「感受性」は、将来の利用者である私などには、ありがたい思いが胸に染みてきます。

福祉の仕事は格闘技と書きましたが、1日の終わりに、「自分はこれで良かつたのか」と振り返る作業は、格闘家には非常に大切なことだと思います。さらにいえば、この「感受性」、これこそが「宝」だと思います。

介護は「人、一人、生きしていくことを支える仕事」といわれています。しかし、その仕事の方法論には確たるものではなく、試行錯誤の



連續。「努力集団であり、模索集団だ」と思

うのは、正解のない世界で努力している人に出会った時です。

特養ホームには、周知のように「三大介護」といわれている仕事があります。「排泄・食事・入浴」。今は、要介護「3」以上が入居条件になって、虚弱な方や認知症の方が増えました。そのせいか、ホームから活気が消えたように思います。離床運動の結果、多くの入居者は車椅子やソファに座っていますが、ぼんやりテレビを眺めています。

それでもベッドにいるよりも、車椅子の方がいいといわれていますが、離床した先の生活に活気がないなあと思うのは、見学者の勝手な感想でしょうか。ここには、古典的な「平等論」もあって、「この人にしてあげて、あの人にならないのは…」など、職場の意志統一の人難しさもあるようです。

職場のリーダーはいます。

「もつと日常的なリハビリや楽しみごとをプログラムしたいんですが、なかなか実行できません。結局は、三大介護に逃げているようで」

三大介護の他に「大介護があります。リハビリと楽しみごと。五大介護の時代です。

### 中堅リーダーの活躍を

私は、若い頃市場調査会社に勤めていました。紙と数字相手の仕事です。何をやらせてもらへばかり、私はこの仕事に向いていない、どれほどの劣等感に苦しんだことでしょう。

人間関係も厳しくて、泣いたことも多々。そんな私でも、やがて中堅として管理職になりました。「仕事ほど可愛いものはない」と思えるようになったのですから、不思議なものでした。私の仕事も格闘技でした。早々にタオルを投げて、リングを降りないで良かつたと思います。

どんな職場でも、中堅リーダーの力が現場を育てていきますが、その中堅が育たないと聞きます。平均勤続年数も福祉職全体で6年弱、介護職もそのくらいでしょう。退職理由には、給料なども勿論ですが、経営者への疑問も多ですね。頑張りすぎて、燃え尽きてしまう人もいます。低賃金、人手不足による過労などを解決しないと、結局は「福祉は心」みたいな精神論に陥って、職場は荒廃するのではないかと心配です。ある中堅の言葉です。

「結局は、職員同士、よく話し合い、どう支えあうかという問題なんです。お年寄りも私たちも、ここで生きているんですから」

運動会をやつたり、お花見に行つたり、個



人の希望でお墓参りや居酒屋に行つたりと、

そんな行事で、「お互いが人生の仲間。ここで

一緒に生きていくよ」という感覚が育つて  
いくと、彼女はいました。私のわずかな体  
験でも、介護という仕事ほど、人間のすばら  
しさに触れ、生きていることの尊さ、人生を  
感じる仕事はないように思います。

最近、強力な助つ人が現れました。

I C T の活用です。「24時間オムツゼロ」を  
実現したホームがあります。「下剤を廃止し  
て、介護生理学に基づいた介護実践、排尿や  
排便マニュアル」を作成し、職員全員で勉強  
したこと。センサーで予測し、トイレ誘  
導。排便用の”ふんばる君”も活躍しました。  
その成果はみごと、昼間のみならず夜間も、  
つまり24時間おむつゼロを達成したのです。

記録の I C T 化は、かなりの施設で始めて  
います。その結果、記録時間は30分以内、ほ  
とんど残業なし、休みたい時に休める職場を  
達成し、育児休業をとる男性もいるという  
職場も現れました。

訪問介護事業所での電子カルテもまた、ヘ  
ルパー、看護師、医師などが共通の情報に大  
きな役割を果たしております。

時代の変化に応じた組織経営が、介護の  
仕事の魅力を実感させ、多くの人材を育て  
ていくように思います。この辺の努力も中堅  
には求められていますね。

## 微笑み稼業…ヘルパーのシワは勲章

訪問介護員（ホームヘルパー）さんは、今後  
重要な役割を担う人びとです。

彼女達に会つて思うことは、若い人も年

配の人も、いい笑顔をしていることです。

「私たちの仕事つて、お年寄り相手だから  
いつもニコニコしている。だから、なんとなく

顔がシワっぽくなるのよ」

ヘルパー・スマイル。そのシワは、お顔に刻  
まれた勲章です。

ヘルパーさんほど、来るのが待たれている  
仕事があるでしようか。

「私たちの仕事つて、遅れてもダメ、早く行  
つてもダメ、時間ぴったりにピンポンするこ  
とが大事なのよ」

私も何度か同行取材をして、「みんな待つ  
ているんだなあ」と感じること多々です。

昔は、「他人を家にいれるなんて」と、絶対  
拒否の人もいました。長い措置制度のおかげ  
で、日本人は「医療好きの福祉嫌い」になりました。居丈高な”福祉の人”もいましたしね  
(今もいます。実は)。

しかし多くの人の努力によつて、ホームヘ  
ルパーの仕事のありがたさが、社会に浸透して  
きました。

介護保険では、生活援助に対しても批判や  
制限論がありますが、しかし、生活環境を整

えることが、いかに高齢者の健康を守るか、

そこが理解されておりません。「制度に甘えて」「家政婦代わりに使う」などの非難は、現実の生活を知らないとしか、いいようがありません。その結果、洗濯物などはヘルパーが自宅に持ち帰つてする、などの話も聞きます。しかしそれでヘルパーが燃え尽きてします。う…。無理解な言論が、職業継続の邪魔をしているようなものです。

ヘルパーさんは、雨の日、風の日も出かけます。多少体調が悪くとも、ニコニコと出かけます。政府の在宅介護方針によつて、ますます重要性を増す仕事、多くの人に待たれる仕事です。この”微笑み稼業”が、実りある職業として、評価されることを願つています。

## 保育士さんは未来を創る！

福祉職の中でも、保育士さんの仕事は、「小さな子」に向き合うという点で、责任感もストレスも、そして喜びもまた大きいのです。はないでしょか。福祉に限らず、どんな職場でも、「元気よく、機嫌よく」働く人が多くいることが大切ですが、保育士さんには、そういう方が多いように思い、嬉しい限りです。私自身、保育ママさんや保育園のお世話

になり、感謝の思いは尽きません。

保育士さんの仕事の意義は、誰もが知っています。米国・シカゴ大学の研究者によると、「優れた幼児教育は、学力だけでなく、根気強さ、注意深さ、意欲などを生む」といわれています。未来の人材を育てているのですから、もつと報われていい職業です。

私の知人に、「保育園なんて、税金の無駄遣いだ」といっていた役人がいました。その彼がなんと定年後、ある保育関係の法人の理事長になつたのですから、人生はおもしろいですね。彼は、豹変しました。

「保育園は、単に保育だけではなく、日本の昔の童謡や伝説、遊びなど伝統的な文化を、伝えていく役割もあるんですね」

子どもは国の未来です。将来を支える人材として、社会の宝として、「社会が守る」意識を高める、この意識がもつと浸透することが大切です。待機児童問題の早期解決を望んでやみません。

さて、私の娘。卒園の日、成長したわが子を見て、感謝のあまり涙が止まりませんでした。黒のスーツや紋付羽織の先生達も素敵で、我が生涯の記念日です。数ある福祉職の中で、達成感の強い仕事なのではないでしょうか。



## 最後に—希望のバトンを次ぎの世代に

紙数も尽きました。養護老人ホームのことは書けませんでしたが、「養護老人ホームは福祉の原点」。ここで格闘した人びとの精神の軌跡が、他の福祉職に大きな影響を与えていました。お会いしてみれば、にじみ出でてくる精神性を感じ、人格専門職の先達だと思ったものです。

1938年北海道生まれ。北海道大学文学部卒業。1961年(株)日本リサーチセンター調査研究部入社、15年勤務の後、夫の転勤や父親の介護などにより退職。1979年、介護や高齢社会が抱える問題、家族や女性の社会進出をテーマに書いた「女が職場を去る日」(新潮社)がベストセラーになる。以後、執筆活動に入り、女性の生き方や家族の問題、シニア世代の研究、介護問題、次世代育成支援研究などに深い关心を寄せ、旺盛な活動と執筆を続けている。

### プロフィール 沖藤 典子 (おきふじ のりこ)

1938年北海道生まれ。

北海道大学文学部卒業。1961年(株)日本リサーチセンター調査研究部入社、15年勤務の後、夫の転勤や父親の介護などにより退職。

1979年、介護や高齢社会が抱える問題、家族や女性の社会進出をテーマに書いた「女が職場を去る日」(新潮社)がベストセラーになる。以後、執筆活動に入り、女性の生き方や家族の問題、シニア世代の研究、介護問題、次世代育成支援研究などに深い关心を寄せ、旺盛な活動と執筆を続けている。

厚生労働省社会保障審議会委員

全国高齢者ケア協会副会長

介護労働安定センター評議委員

日本介護福祉士会理事

高齢社会をよくする女性の会副理事長など他多数。

#### ◎著書

- 「女が職場を去る日」(新潮社)
- 「銀の園ちちははの群像」(新潮社)
- ※特別養護老人ホームでの介護経験や高齢者の姿を綴った作品
- 「老いてなお我が家で暮らす」(新潮社)
- 「長生きしてはいけませんか」(講談社)
- 「ビッグベビー」(新潮社)
- 「あなたに似た家族」(徳間書店)
- 「介護休業でいい仕事、いい介護」(ミネルヴァ書房)
- 「人生の午後へ男も女も今が変わりどき」(旬報社)
- 「あすは我が身の介護保険」(新潮社)
- 「女ざかりの居場所さがし」(NECメディアプロダクツ)
- 「夫婦という幸福 夫婦という不幸」(集英社)
- 「娘が「できちゃった婚」したとき!」(主婦と生活社)
- 「女50歳人生後半がおもしろい」(ミネルヴァ書房)
- 「母の乱 無慈悲と慈愛」(文芸社)
- 「楽天力へ上手なトシの重ね方」(清流出版)
- 「介護保険は古いを守るか」(岩波新書)
- 「女50代、人生本番!」(校成出版社)
- 「老いてわかった! 人生の恵み」(海竜社) など多数



者主権「私たちのことは、私たちに決めさせて欲しい」という、当事者組織が出来るようになります。

そのきっかけを作ったのが、オーストラリアのクリスティーン・ブライデンさんです。46歳で発症し、8年くらいで亡くなると宣告されたのですが、その後著作や世界各国で講演を続け、現在68歳です。

彼女は、著書「私の記憶が確かにうつに」の中で、認知症の人への介護ホームに、こんな希望を書いています。

「牧師さんや司祭さんのように、その人に寄り添うこと」「一緒に座つて視線を合わせ、

手を触れて、耳を傾ける」「ゆっくりと時間をかけて、話しかけながら介護を」「夕食時、グラス一杯のワインはいけないでしょうか」

私も、彼女と同じことを願っています。優しい微笑み、温かいまなざしに癒されながら、人生の最後の時を過ごしたいと。

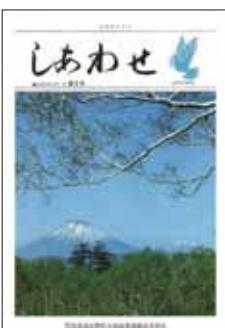
今後ますます介護人材、福祉人材への期待が高まります。この職にある人が、希望を持つて働いている職場になつて欲しいし、介護の蓄積を次の世代に渡して欲しいのです。それは私たちにとって、古いを守る希望のリレー、希望のバトンです。たくさんのバトンが福祉の世界に、活躍することを願っています。



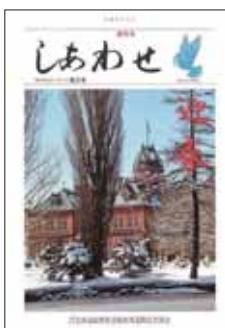
# 北海道の福祉職場と共済会の「今」を伝えてきた広報紙しあわせ

共済会の広報紙しあわせは、創立15周年を記念して、1982年6月に創刊されました。当初は加入者に制度内容を周知することを目的とした内容で編集していましたが、福祉施設でのとりくみの紹介や読者からのお便りを掲載し、会員に関する情報発信も徐々に行われました。2013年からは「ほっこいどう福祉だより」となって道内の公共施設に設置され、会員専用ページ以外は広く道民にも読まれるようになります。現在では年間17万部を発行しています。

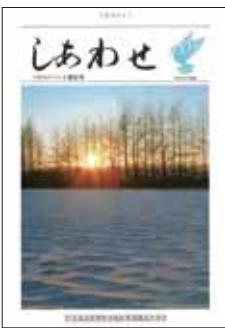
規格はB5版8ページからA4版10ページとなり、表紙は主に綿引幸造氏の北海道の風景写真を起用。1997年からはイラストレーターの中井里佐子氏による「ほっこいどうの自然と生きもの」、「ほっこいどうの人とまち」とシリーズで続く愛らしいイラストが大変好評です。



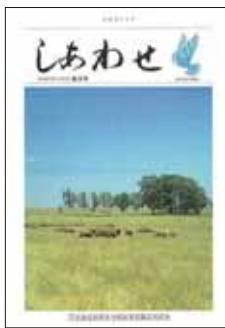
1984年4月号 (Vol.5)  
〈羊蹄山〉  
・事業計画のお知らせ  
・退職金・年金の豆知識  
・年金被保険者住宅資金のおすすめ



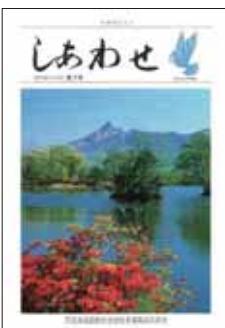
1983年1月号 (Vol.2)  
〈北海道庁〉  
・北海道知事ごあいさつ  
・貸付制度のお知らせ  
・15周年記念式典報告



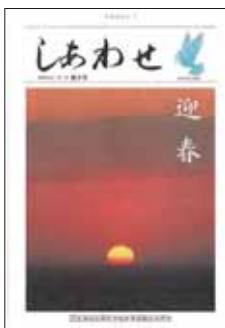
1985年1月号 (Vol.6)  
〈林間の初日の出〉  
・長期勤続職員顕彰式典  
・退職金・年金の豆知識  
・施設行事等の写真掲載開始(ひろば)



1983年6月号 (Vol.3)  
〈羊の放牧〉  
・事業計画と新規事業  
・退職金・年金の豆知識  
・施設訪問



1985年4月号 (Vol.7)  
〈春の大沼公園と駒ヶ岳〉  
・事業計画のお知らせ  
・退職金は何に使いますか  
・各地で開催された研修会



1984年1月号 (Vol.4)  
〈初日の出〉  
・福祉貯金のお知らせ  
・退職金・年金の豆知識  
・日帰り人間ドックの案内

## ▼創刊号



1982年6月号 (Vol.1)  
〈立体北海道地図〉  
（支庁別施設団体数・被共済職員数）  
・発刊のことば　・事業のあらまし  
・各種制度の紹介　・15周年記念事業のお知らせ

※〈 〉内は表紙タイトル　※・は掲載記事から

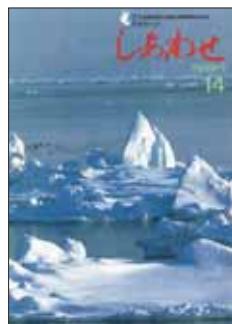
【未来の自分へひとこと】 ぼくは水泳をならい始めて三年目です。将来は水泳に関わる仕事をつきたいです。今はまだ練習がひつようだけれど、今よりももっとうまく泳げるようになっているとうれしいです。 ドルフィンさん(札幌市・男性10歳)

# 表紙ギャラリー I



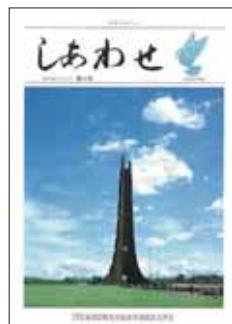
1990年1月号 (Vol.16)

〈湿原の丹頂鶴〉  
・制度改正について  
・はまなす国体で活躍した選手たち



1989年1月号 (Vol.14)

〈流水の海〉  
・なぜいま年金制度か  
・全道施設女子職員交流ソフトボール大会(ひろば)  
・我がまち、我が福祉／夕張「今こそ人々の暮らしを支えて」



1987年4月号 (Vol.11)

〈百年記念塔〉  
・共済会白書2  
・福祉貯金-マル優制度廃止か  
・札幌愛護協会バレー・ボール大会(ひろば)



1986年1月号 (Vol.8)

〈雪原の風紋〉  
・事業の概況  
・地域に根を下ろし年々盛大になる文化祭・ボランティアカーニバル(ひろば)



1990年4月号 (Vol.17)

〈新緑の森〉  
・処遇改善事業スタート！  
事業計画のお知らせ  
・会員の周年記念・施設開設式典(ひろば)



1989年4月号 (Vol.15)

〈春の芽吹〉  
・処遇問題研究協議会の設置  
・税務情報「退職金減税」  
・我がまち、我が福祉／生田原「ひまわり通信に魅せられて」



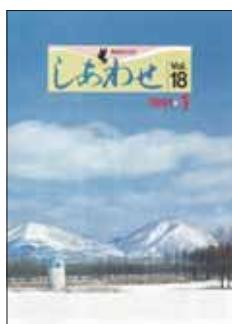
1987年10月号 (Vol.12)

〈ボプラの木〉  
・共済会のあゆみ  
・事業のあゆみ  
・グラフで見る実績データ



1986年4月号 (Vol.9)

〈ネコヤナギの芽吹〉  
・事業計画のお知らせ  
・芸達者でないと勤まらない!? (ひろば)  
・グループ保険のお知らせ



1991年1月号 (Vol.18)

〈白いサイロと冬の山〉  
・業務上の事故状況-団体定期保険から  
・福祉貯金利率アップ6.35%!  
・福利厚生助成金でミニバレー・ボール大会



1989年号外

・「退職金の見直し」や  
「福利厚生事業の見直し」などの事業改正案について



1988年4月号 (Vol.13)

〈フキトウ〉  
・共済会創立20周年記念式典  
・我がまち、我が福祉  
「新得町に田中鉄一氏を訪ねて」



1987年1月号 (Vol.10)

〈雪化粧の樹木〉  
・共済会白書1  
・福利事業意向調査結果  
・全国福祉野球大会北海道選抜チーム念願の初優勝 (ひろば)

【共済会50周年に寄せて】 “ほっこいどう福祉だより しあわせ”の「小さな旅」の記事を毎回楽しみにしています。素敵な写真を見ていると、自分も旅をしているような気持になります。今後も楽しみにしています。 H.Nさん(旭川市・女性)

▼25号から年3回発行に



1995年4月号(Vol.28)  
 〈ソウエルライブ 中島啓江〉  
 ・福利厚生センター  
 会員募集  
 ・共済会ひとくちメモ  
 「金融」



1994年4月号(Vol.25)  
 〈ミズバショウの芽吹き〉  
 ・福利事業がますます充実  
 ・共済ひとくちメモ「本俸上限」  
 ・ごあいさつ/中川会長就任



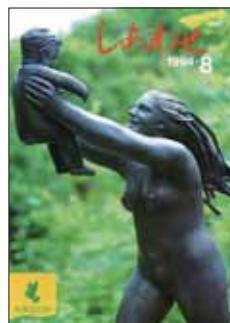
1993年1月号(Vol.22)  
 〈飛翔する丹頂鶴〉  
 ・人材確保関係法の成立と  
 その行方  
 ・我が家、我が福祉/檜山  
 「追分ソーランラインに寮  
 母さんを訪ねて」



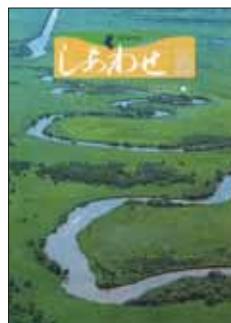
1991年4月号(Vol.19)  
 〈満開の山桜〉  
 ・超高齢化社会ニッポンの  
 衝撃(年金)  
 ・我が家、我が福祉/大滝  
 「7K職場と言われるけれど」



1995年8月号(Vol.29)  
 〈ひまわり畑〉  
 ・事業の充実と財政基盤  
 強化に関する諮問検討  
 ・ボウリング大会のお知らせ  
 ・クラブ・サークル活動紹介



1994年8月号(Vol.26)  
 〈芸術の森ビーゲラン〉  
 ・福利厚生旅行募集  
 ・ソウエルクラブ北海道  
 事務局です  
 ・富良野でログハウスコン  
 サート(ひろば)



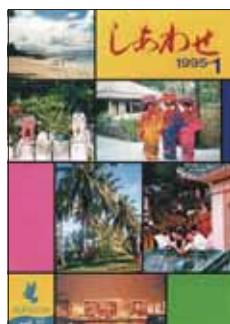
1993年4月号(Vol.23)  
 〈釧路湿原〉  
 ・運営委員会ニュース  
 ・社会福祉士・介護福祉士  
 の研修助成  
 ・ライラックバセオ福祉コー  
 ナー(たより)



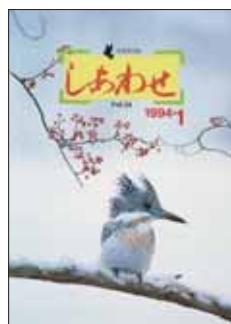
1992年1月号(Vol.20)  
 〈初日の出〉  
 ・我が家、我が福祉/函館  
 「福祉と共に40年」  
 ・事務所引越のお知らせ  
 「かかる2・7」  
 ・浜岡事務局長の「つぶやき」  
 最終回



1996年1月号(Vol.30)  
 〈大通ホワイトイリミネーション〉  
 ・観光、発見そして交流、  
 福利厚生旅行  
 ・ソウエルライブ-アグネス  
 チャン/倉橋ルイ子



1995年1月号(Vol.27)  
 〈福利厚生旅行の思い出〉  
 ・理事会ニュース  
 ・楽しかった福利厚生旅行  
 ・団体定期保険事業終了  
 のお知らせ



1994年1月号(Vol.24)  
 〈冬のヤマセミ〉  
 ・平成6年を財政健全化  
 元年に  
 ・我が家、我が福祉/稚内・名寄  
 「共同作業所から始まって」  
 ・福利厚生センター設立



1992年4月号(Vol.21)  
 〈すずらん〉  
 ・退職年金事業職員拠出の  
 一部改正  
 ・地域交流ホーム落成式  
 (ひろば)

[わたしのしあわせ] 山口県へ転勤になった息子が帰省するのが、わたしのしあわせです。定番であるが、焼肉屋、居酒屋など行く場所を見つけ、ビールを飲んで語り合い、会う度に元気な姿を見て、また暫く会えないんだと実感しながらホロリと。楽しいひととき、ありがとう。森川和代さん(旭川市・女性)

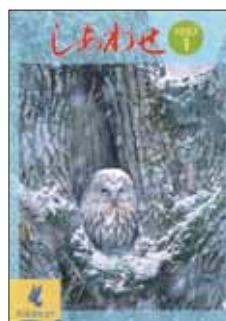
# 表紙ギャラリー II



1998年8月号(Vol.38)  
 〈クマゲラの親子〉  
 ・小さな旅／室蘭  
 ・「ワーキングナウ」掲載開始  
 -ワークウェアを考える  
 ・人間ドック健診の勧め

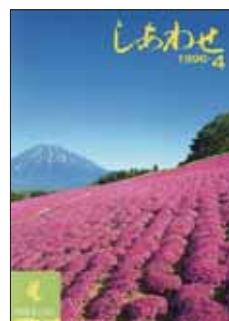


1997年8月号(Vol.35)  
 〈キタキツネとひまわり〉  
 ・小さな旅／富良野  
 ・サークルを訪ねて  
 ・「おしゃべり俱楽部」  
 掲載開始



1997年1月号(Vol.33)  
 〈エゾフクロウ〉  
 ・法律相談コーナー  
 「交通事故」  
 ・レクレーションリーダー養成  
 ・ソウェルライブ-牧伸二

▼31号からA4版に拡大



1996年4月号(Vol.31)  
 〈羊蹄山と芝桜〉  
 ・福利事業変更のお知らせ  
 ・スポーツ大会助成金  
 ・ソウェルクラブのお知らせ



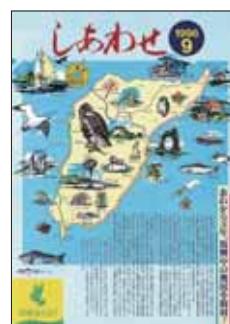
1999年1月号(Vol.39)  
 〈ハクチョウの親子〉  
 ・小さな旅／函館  
 ・福祉貯金事業廃止のお知らせ  
 ・全国施設便りコンクール



1998年1月号(Vol.36)  
 〈エゾシカの親子〉  
 ・小さな旅／オホーツク  
 ・サークルを訪ねて  
 ・共済会創立30周年記念式典



1997年4月号(Vol.34)  
 〈エゾリスたちの春〉  
 ・事業計画と規定の改正  
 ・クロスワード新登場  
 ・「暮らしの歳時記」  
 掲載開始



1996年9月号(Vol.32)  
 〈奥尻島マップ〉  
 ・退職年金制度の一部改正  
 ・我が家、我が福祉／奥尻「蘇る夢の島！老人ホームに働く仲間を訪ねて」



1999年4月号(Vol.40)  
 〈クマの親子とフキノトウ〉  
 ・福利厚生旅行募集  
 ・事業計画のお知らせ  
 ・貸付利率を引き下げます



1998年4月号(Vol.37)  
 〈ユキウサギの親子〉  
 ・福利厚生旅行募集  
 ・事業計画のお知らせ  
 ・ソウェルクラブからのお知らせ



[わたしのしあわせ] わたしのささやかなしあわせを感じるひと時…目覚まし時計を起きた時刻の30分前にセットします。アラームが鳴ったときに「あと30分眠れる～」ともうひと眠りする時間、「しあわせだな～」と感じます。 がんばるんば♪さん(旭川市・女性)



2002年春号(Vol.50)  
 〈シマフクロウの家族〉  
 ・福利厚生旅行募集  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「自家焙煎 Kubido コーヒー」  
 (岩見沢)



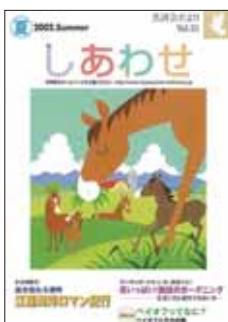
2001年夏号(Vol.47)  
 〈カマイルカの親子〉  
 ・小さな旅／礼文島  
 ・YOSAKOIソーラン祭り  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 揭載開始「馬追の手前味噌」  
 (長沼)



2000年8月号(Vol.44)  
 〈タンチョウの親子〉  
 ・小さな旅／沼田・北竜  
 ・ザ・結婚「私たちの場合」  
 ・有珠山噴火お見舞い



1999年8月号(Vol.41)  
 〈ナキウサギの親子〉  
 ・小さな旅／日高  
 ・いま授産施設に何が必要か  
 ・貸付事業の手引き



2002年夏号(Vol.51)  
 〈馬の親子と仲間〉  
 ・小さな旅／江差  
 ・施設のガーデニング  
 ・ペイオフってなに？  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「釧路風ラーメン」(釧路)



2001年秋号(Vol.48)  
 〈シマリスの仲間たち〉  
 ・小さな旅／中札内  
 ・地域社会での福祉施設  
 の役割  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「天然酵母手作りパン」(室蘭)



2001年1月号(Vol.45)  
 〈エゾクロテンの仲間〉  
 ・小さな旅／俱知安  
 ・当世パソコン事情  
 ・福利厚生旅行「旅日記」



2000年1月号(Vol.42)  
 〈ゴマファザラシの親子〉  
 ・小さな旅／小樽  
 ・北海道の子どもと保父の会  
 ・福利厚生旅行「旅日記」



2002年秋号(Vol.52)  
 〈クマの親子〉  
 ・小さな旅／富良野  
 ・全道知的障害施設職員  
 パークゴルフ大会  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「キジ肉」(岩見沢)



2002年冬号(Vol.49)  
 〈オオワシの仲間たち〉  
 ・小さな旅／夕張  
 ・社会福祉士の役割と現状  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「黒毛和牛のビーフカレー」  
 (小平)



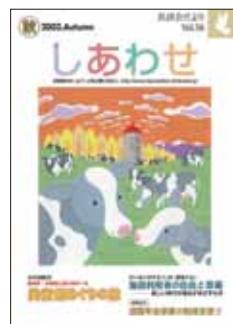
2001年春号(Vol.46)  
 〈モモンガの仲間たち〉  
 ・福利厚生旅行募集  
 ・事業計画のお知らせ  
 ・利用割引の提携をしました



2000年4月号(Vol.43)  
 〈春のシマリスたち〉  
 ・福利厚生旅行募集  
 ・“自分磨き”的ための資格取得  
 ・おしゃべり俱楽部

[わたしのしあわせ] 美味しい物を食べて美味しいお酒を飲んでいる時です。職場の仲間とワイワイ飲むのはより幸せです。いい職場と仲間に感謝! これからもチームワークよく仕事していきたいと思います。 Y.Aさん(旭川市・女性)

# 表紙ギャラリー III



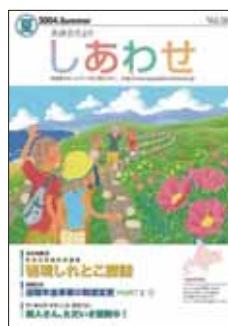
2003年秋号(Vol.56)  
 ・サイロと牛たち  
 ・小さな旅／岩内・共和  
 ・施設利用者の自由と尊厳  
 ・退職年金事業の制度変更③  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「EMボカシ」(芽室)



2003年冬号(Vol.53)  
 ・エゾリスの仲間たち  
 ・小さな旅／中島公園  
 ・アニマルセラピー  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「ドナルドサーモン」(清水)



2005年冬号(Vol.61)  
 ・鶴居村のタンチョウ  
 ・小さな旅／札幌  
 ・施設の自慢レシピ  
 ・恐ろしい金融トラブル  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「拓明ほうき」(奈井江)



2004年夏号(Vol.59)  
 ・小清水原生花園  
 ・小さな旅／知床  
 ・「年金資産運用報告」掲載開始  
 ・新人さん、ただいま奮闘中！  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「太陽の水トマトジュース」(美深)



2004年冬号(Vol.57)  
 ・上土幌インターバルフェスティバル  
 ・小さな旅／旭山動物園  
 ・退職年金事業の制度変更④  
 ・正しい接遇マナー  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「長いもパン」(穂別)



2003年春号(Vol.54)  
 ・宮島沼のマガソたち  
 ・退職年金事業の制度変更①  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「あけぼの粉石けん」(岩内)



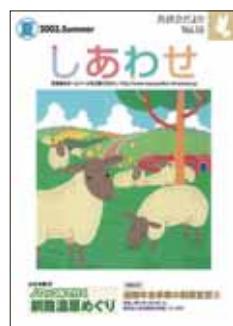
2005年春号(Vol.62)  
 ・松前桜まつり  
 ・ペイオフ制度のスタートと  
 年金資産の保全  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「木馬館ウッドクラフト」(稚内)



2004年秋号(Vol.60)  
 ・大沼国定公園  
 ・小さな旅／大沼公園  
 ・施設の大収穫祭  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「日めくり言葉カレンダー」  
 (南富良野)



2004年春号(Vol.58)  
 ・上湧別チューリップ公園  
 ・財政健全化対策と退職  
 年金事業の制度変更  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「稚内はまなすワイン」(稚内)



2003年夏号(Vol.55)  
 ・草を食む羊たち  
 ・小さな旅／釧路湿原  
 ・退職年金事業の制度変更②  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「もなみ和風だし」(苫小牧)

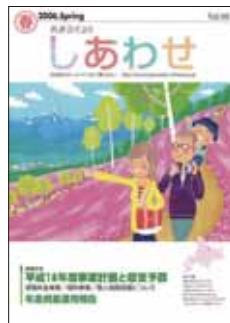
[共済会50周年に寄せて] 私が仕事を始めて40年になろうとしています。就職当時は3年ごとに退職したいと泣いていましたが、いつの間にか10年がたち共済会から永年勤続のお祝いをいただきました。とても嬉しかったことを覚えています。 平野かほりさん(函館市・女性)



2007年秋号(Vol.72)  
〈アルテビアツツア美唄〉  
・小さな旅／伊達  
・福祉ショップレポート  
・しあわせ川柳大賞発表  
・人気の一品 自慢の逸品  
「ドライフラワー・リース」(仁木)



2007年冬号(Vol.69)  
〈然別湖コタン〉  
・小さな旅／常呂  
・小規模作業所の選択  
・人気の一品 自慢の逸品  
「Borenソフトクリーム」  
(札幌)



2006年春号(Vol.66)  
〈滝上公園〉  
・個人情報保護について  
・人気の一品 自慢の逸品  
「どうぶつ組み木」(旭川)



2005年夏号(Vol.63)  
〈北竜町ひまわりの里〉  
・小さな旅／天壳・焼房  
・退職後の年金のこと  
・人気の一品 自慢の逸品  
「フレグラムスミント製品」  
(生田原)



2008年冬号(Vol.73)  
〈糠平湖・タウシュベツ橋梁〉  
・小さな旅／陸別  
・福祉施設の職員研修  
・人気の一品 自慢の逸品  
「シフォンケーキ」(白老)



2007年春号(Vol.70)  
〈むかわ町たんぽぽフェスティバル〉  
・共済会のハンドブックができました  
・ソウエル会員証を発行します  
・人気の一品 自慢の逸品  
「手づくりクッキー 坂の詩」(北斗)



2006年夏号(Vol.67)  
〈美瑛の丘〉  
・小さな旅／モエレ沼公園＆さとらんど  
・「福利厚生」を考える  
・人気の一品 自慢の逸品  
「幻の米 おぼろづき」(美唄)



2005年秋号(Vol.64)  
〈秋のワイン祭り(池田町)〉  
・小さな旅／鹿追町・然別湖  
・みんなあーと2005  
・人気の一品 自慢の逸品  
「キャンドル」(月形)



2008年春号(Vol.74)  
〈男山自然公園〉  
・制度開始から40年  
・人気の一品 自慢の逸品  
「うたのぼりの宝 山菜」  
(枝幸)



2007年夏号(Vol.71)  
〈勝毎花火大会〉  
・小さな旅／サロベツ原野  
・共済会の福利事業体験  
・人気の一品 自慢の逸品  
「ノンスリップ敷きパット」  
(美唄)



2006年秋号(Vol.68)  
〈豊平峠ダム〉  
・小さな旅／余市  
・退職年金事業・福利事業制度変更案  
・人気の一品 自慢の逸品  
「いこいの家の革製品」(千歳)



2006年冬号(Vol.65)  
〈小樽雪あかりの路〉  
・小さな旅／函館  
・人気の一品 自慢の逸品  
「セカイノカタチ バッグ」  
(鷹栖)

[共済会50周年に寄せて] 初めて祖母をバスツアーに連れて行けたのは共済会のおかげで、良い思い出です。これからも人生のドラマに寄り添う共済会であってください!  
カエルさん(旭川市・女性)

# 表紙ギャラリー IV



2010年夏号(Vol.83)  
 〈積丹岬・島武意海岸〉  
 ・小さな旅／浜中  
 ・福祉ショッピングポート2  
 ・地区会員交流事業は盛りだくさん  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「涼風庵生うどん・豆腐」(栗山)



2010年冬号(Vol.81)  
 〈ダイヤモンドダストパーティ〉  
 ・小さな旅／旭川  
 ・食育を考える  
 ・福利厚生企画情報会議  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「黒豆入りコーヒー」(岩見沢)



2009年春号(Vol.78)  
 〈五稜郭公園〉  
 ・ごあいさつ／林会長就任  
 ・第2退職年金制度スタート  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「室業製品」(札幌)



2008年夏号(Vol.75)  
 〈羊と雲の丘(士別)〉  
 ・小さな旅／美深  
 ・働く女性の仕事と育児  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「木で遊ぼう幼児用玩具」(平取)



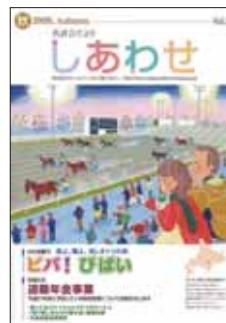
2010年秋号(Vol.84)  
 〈仁木のフルーツ街道〉  
 ・小さな旅／美瑛・白金温泉  
 ・加入者統計からみた福祉職場  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「ハスカップジャム」(苫小牧)



2010年春号(Vol.82)  
 〈平岡公園(札幌)〉  
 ・共済会と公益法人改革  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「草の実の紙漉き製品」(札幌)



2009年夏号(Vol.79)  
 〈トロッコ王国(美深町)〉  
 ・小さな旅／石狩  
 ・いま、救護施設に求められる役割  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「災害備蓄用パン」(南富良野)



2008年秋号(Vol.76)  
 〈ばんえい競馬(帯広競馬場)〉  
 ・小さな旅／美唄  
 ・職員出資金制度の変更  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「フレンズハム」(北見)

しあわせクリアファイルは2010年まで、  
 しあわせノートは2015年までの読者プレゼントでした。

オリジナル「しあわせクリアファイル」2枚セット  
 (草を食べる馬・クマの親子)  
 2007年Vol.70春号～2010年Vol.84秋号

オリジナル「しあわせノート」2冊セット  
 (ナキウサギ・牛とサイロ)  
 2011年Vol.85冬号～2015年Vol.101冬号



2009年秋号(Vol.80)  
 〈北大イチョウ並木〉  
 ・小さな旅／黒松内  
 ・施設のサークル拌見  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「ペットのおやつ」(新得町)



2009年冬号(Vol.77)  
 〈屈斜路湖畔「コタンの湯」〉  
 ・小さな旅／千歳  
 ・絵本でスキンシップ  
 ・人気の一品 自慢の逸品  
 「熊笹茶・笹の石けん」(釧路)

[わたしのしあわせ] 私の幸せは、趣味の洋裁をしている時です。娘の通園グッズを作つたのがきっかけで、どんどん好きになりました。一枚の何もない布から自分好みの形になつていく。この瞬間が「わたしのしあわせ」です。 竹口結美さん(旭川市・女性)



2013年春号(Vol.94)  
<豊平川マラソン(札幌)>  
・小さな旅／松前  
・障がい者の自立と就労支援  
・「しあわせコラム」掲載開始  
・人気の一品 自慢の逸品  
「いかの塩辛」(新十津川)



2012年夏号(Vol.91)  
<トマム「雲海テラス」>  
・小さな旅／江別  
・失敗しないメールのマナー  
・人気の一品 自慢の逸品  
「じやがいも キタアカリ」  
(旭川)



2011年秋号(Vol.88)  
<野幌グリーンモール>  
・小さな旅／遠軽  
・メンタルヘルス＆接遇講習会  
・人気の一品 自慢の逸品  
「福幸だるま＆まゆ玉」  
(宮城県仙台)



2011年冬号(Vol.85)  
<千歳・支笏湖氷濤まつり>  
・小さな旅／下川  
・雪道ドライブ講座  
・人気の一品 自慢の逸品  
「刺し子ふきん」(函館)



2013年夏号(Vol.95)  
<原生花園あやめヶ原>  
・小さな旅／留萌・増毛  
・ディサービスセンター  
・人気の一品 自慢の逸品  
「はちみつ PURE HONEY」  
(名寄)



2012年秋号(Vol.92)  
<神居古潭(カムイコタン)>  
・小さな旅／上川・層雲峠  
・障がい者とスポーツ  
・人気の一品 自慢の逸品  
「すずらん工房の手工芸品」  
(福島県伊達)



2012年冬号(Vol.89)  
<あいすらんど阿寒>  
・小さな旅／白老  
・人気の一品 自慢の逸品  
「メカニカルペンシル&ボール  
ペン」(旭川)



2011年春号(Vol.86)  
<恵山つづじ公園>  
・一般社団法人への移行  
について  
・東日本大震災のお見舞い  
・人気の一品 自慢の逸品  
「羊蹄山麓アスピラ」(豊浦)



2013年秋号(Vol.96)  
<室蘭夜景ナイトクルージング>  
・小さな旅／定山渓・豊平峡  
・複合型福祉施設  
・福祉職場ガイダンス開催  
・人気の一品 自慢の逸品  
「木工製クリスマスツリー」(旭川)



2013年春号(Vol.97)  
<知床(ウトロ)流氷ウォーク>  
・小さな旅／稚内  
・保育所の子育て支援・親支援  
・新貸付制度について  
・人気の一品 自慢の逸品  
「ともにアートカレンダー-2013」(札幌)



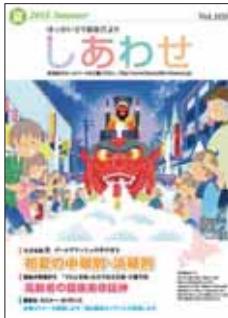
2012年春号(Vol.90)  
<ゆにガーデン(由仁)>  
・災害見舞金給付制度の  
変更  
・人気の一品 自慢の逸品  
「瓦Re:KEY HOLDER」  
(岩手県陸前高田)



2011年夏号(Vol.87)  
<洞爺湖>  
・小さな旅／今金  
・施設の自慢レシピ  
・人気の一品 自慢の逸品  
「すずかけの皮革製品」  
(登別)

[わたしのしあわせ] 素敵な想い出が消えない事、それが幸せ。大切な物の保管場所を忘  
ても、幸せの記憶は甦る。幸せに基準はない。私にとっての「最高」が、全ての幸せだ。そして、  
幸せの賞味期限も勿論ない。そう思える自分が幸せだ。 秋山由佳子さん(札幌市・女性)

## ▼100号記念特別号



2015年夏号 (Vol.103)  
(登別地獄まつり)  
・小さな旅／中頓別・浜頓別  
・高齢者の健康寿命延伸  
・人気の一品 自慢の逸品  
「原木栽培天北椎茸」  
(中頓別)



2014年秋号 (Vol.100)  
(百年記念塔(野幌森林公園))  
・思い出の「小さな旅」  
・紙上「しあわせ」表紙イラスト展  
・北海道家庭学校  
・人気の一品 自慢の逸品  
「しめ飾り」(美瑛)



2015年秋号 (Vol.104)  
(サケの遡上(白老町ウヨロ川))  
・小さな旅／ニセコ高原  
・人材確保・育成と福祉サービス向上  
・退職共済制度の検討状況①  
・人気の一品 自慢の逸品  
「くっちゃんえぞふじ納豆」  
(俱知安)



2014年冬号 (Vol.97)  
(洞爺湖温泉イルミネーションストリート)  
・小さな旅／弟子屈  
・母子生活支援施設  
・だまされないで、危ない投資勧誘  
・人気の一品 自慢の逸品  
「黄金豚蒸し豚まん」(伊達)



2014年春号 (Vol.98)  
(まるせっぷ藤園)  
・小さな旅／亀田半島  
・ユニバーサルデザイン  
・人気の一品 自慢の逸品  
「DAIMON CUBE」(函館)



2016年冬号 (Vol.105)  
(北海道開拓の村)  
・小さな旅／野付風蓮道立自然公園  
・学童保育(放課後児童クラブ)  
・退職共済制度の検討状況②  
・人気の一品 自慢の逸品  
「平飼い有精卵すず卵のめぐみ」  
(根室)



2015年春号 (Vol.102)  
(壮瞥公園梅林)  
・小さな旅／森  
・福祉用具で安全・安心生活  
・あなたの家計診断  
・人気の一品 自慢の逸品  
「ぼぼろ館の木工品」(七飯)



2015年冬号 (Vol.101)  
(しもかわアイスキャンドルミュージアム)  
・小さな旅／洞爺湖・豊浦  
・障がい児通所支援  
・インターネットトラブルにご用心  
・人気の一品 自慢の逸品  
「フリーズドライご飯」(江差)



2014年夏号 (Vol.99)  
(中標津ミルクロード)  
・小さな旅／えりも～様似  
・点字図書館  
・「しあわせ写真」募集  
・人気の一品 自慢の逸品  
「アソシエベーグル」(苫小牧)

【わたしのしあわせ】 幼い頃からなりたかった仕事に就けた喜びを胸いっぱいに初出勤した日がつい昨日のように思えますが、退職まであと2年!! これからもたくさんのかわいい笑顔に包まれてしあわせを感じます。 かなこさん(函館市・女性)



2018年冬号(Vol.113)  
〈オホーツクとっかりセンター(紋別)〉  
・小さな旅／名寄  
・福祉施設における看取り介護  
・福祉職場説明会開催案内  
・人気の一品 自慢の逸品  
「原木栽培シタケ」(名寄)



2017年春号(Vol.110)  
〈平取町のすずらん群生地〉  
・小さな旅／木古内  
・ひとり親世帯の現状と対策  
・公益セミナーのご案内  
・人気の一品 自慢の逸品  
「あかしあ学園の布製品」(札幌)



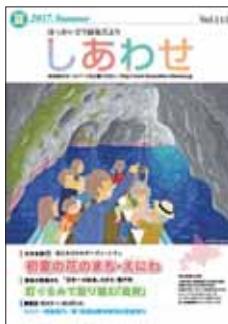
2016年秋号(Vol.108)  
〈小樽しやこ祭〉  
・小さな旅／栗山  
・全国に広がる「フードバンク」活動  
・退職共済制度の検討状況⑤  
・人気の一品 自慢の逸品  
「おからクッキー」(栗山)



2016年春号(Vol.106)  
〈真狩神社の桜並木〉  
・小さな旅／北斗  
・社会福祉法人と地域社会貢献  
・退職共済制度の検討状況③  
・人気の一品 自慢の逸品  
「まるやま味噌豆つ娘」(北斗)



2018年春号(Vol.114)  
〈オニウシ公園(森町)〉  
・小さな旅／むかわ  
・福祉施設のワーク・ライフ・バランス  
・人気の一品 自慢の逸品  
「しいたけ『華太鼓』&恐竜  
クッキー(むかわ)



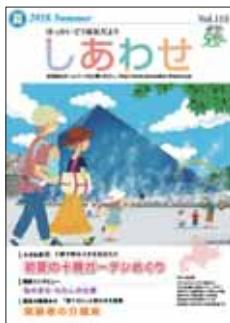
2017年夏号(Vol.111)  
〈青の洞窟(小樽)〉  
・小さな旅／恵庭  
・町ぐるみで取り組む「食育」  
・ごあいさつ／太田会長就任  
・人気の一品 自慢の逸品  
「リンクノート&ボールペン」(札幌)



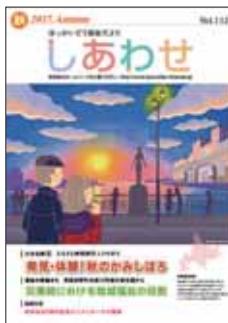
2017年冬号(Vol.109)  
〈北の大地の水族館(山の水族館)〉  
・小さな旅／留辺蘂  
・ケアラー(無償の介護者)支援  
・退職年金制度の変更に向けて  
・人気の一品 自慢の逸品  
「光星せっけん」(留辺蘂)



2016年夏号(Vol.107)  
〈賀老の滝(島牧)〉  
・小さな旅／札幌  
・退職共済制度の検討状況④  
・利用者との信頼関係を築くために  
・人気の一品 自慢の逸品  
「オーガニックコットンふら」(札幌)



2018年夏号(Vol.115)  
〈モエレ沼公園(札幌)〉  
・小さな旅／十勝  
・高齢者の介護食  
・人気の一品 自慢の逸品  
「トラウトサーモン」(清水)



2017年秋号(Vol.112)  
〈幣舞橋(釧路)〉  
・小さな旅／上士幌  
・災害時における地域福祉の役割  
・50周年ミニメッセージ募集  
・人気の一品 自慢の逸品  
「クッキー・コーヒー他」(南富良野)

しあわせメモ帳は2016年までの、  
しあわせ一筆箋は2017年からの読者プレゼントです。

オリジナル「しあわせメモ帳」2冊セット  
(上湧別チューリップ公園・鶴居村のタンチョウ)  
2015年Vol.102春号～2017年Vol.111夏号

オリジナル「しあわせ一筆箋」  
2017年Vol.112秋号～





創立50周年  
おめでとうございます

北海道の動物シリーズにはじまり、長年にわたって広報誌「しあわせ」の表紙イラストを描かせていただきありがとうございました。

会員の方が田にした時に「うー」「行ったことがある!」「こんな所があるんだ。今度行つてみたいね」等々、会話のきっかけになつたり楽しい気持ちになつてもらえたら…と思って制作しております。自分自身も、次はどうぞ描こうかな?と、いつも楽しく北海道各地に思いをめぐらせております。これからも、北海道の素敵な風景を楽しんでいただければ幸いです。  
今後とも、皆様のますますの発展を心よりお祈りいたします。

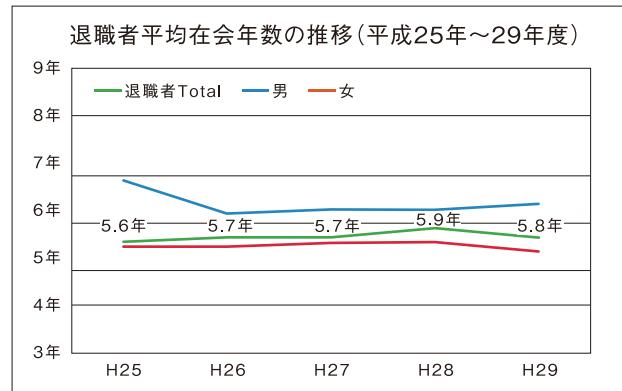
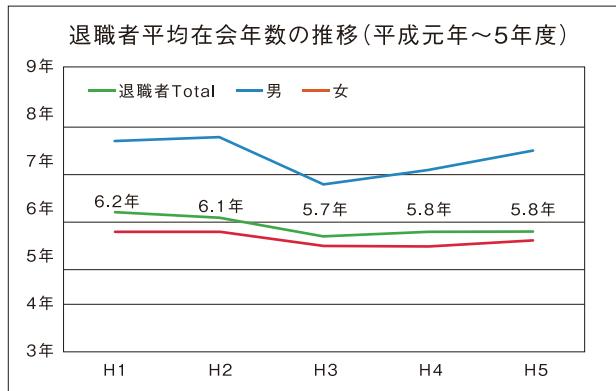
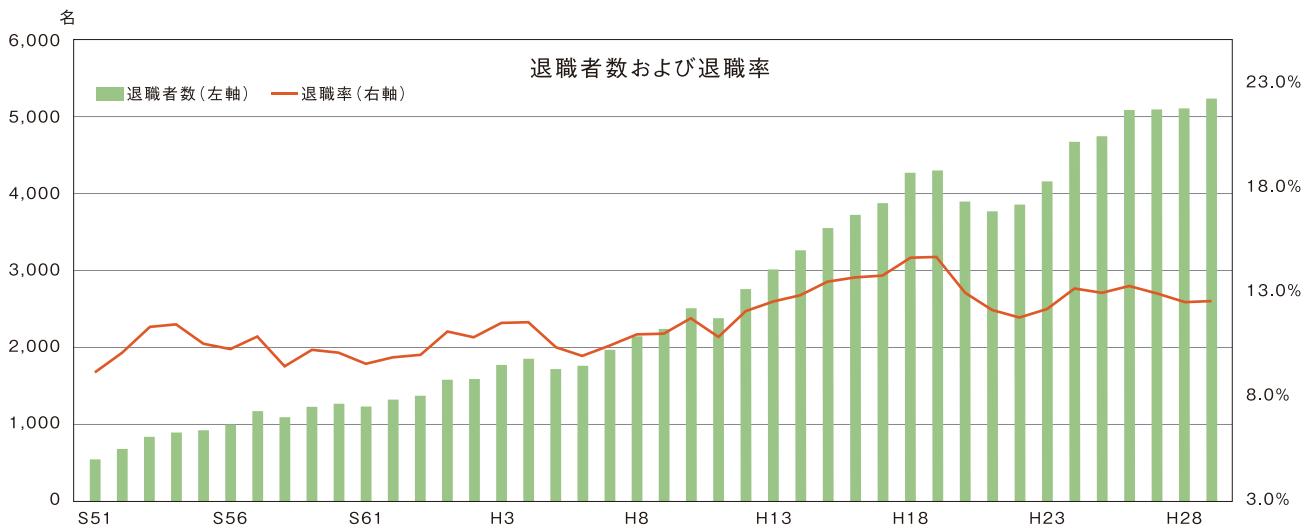
イラストレーター 中井里佐子



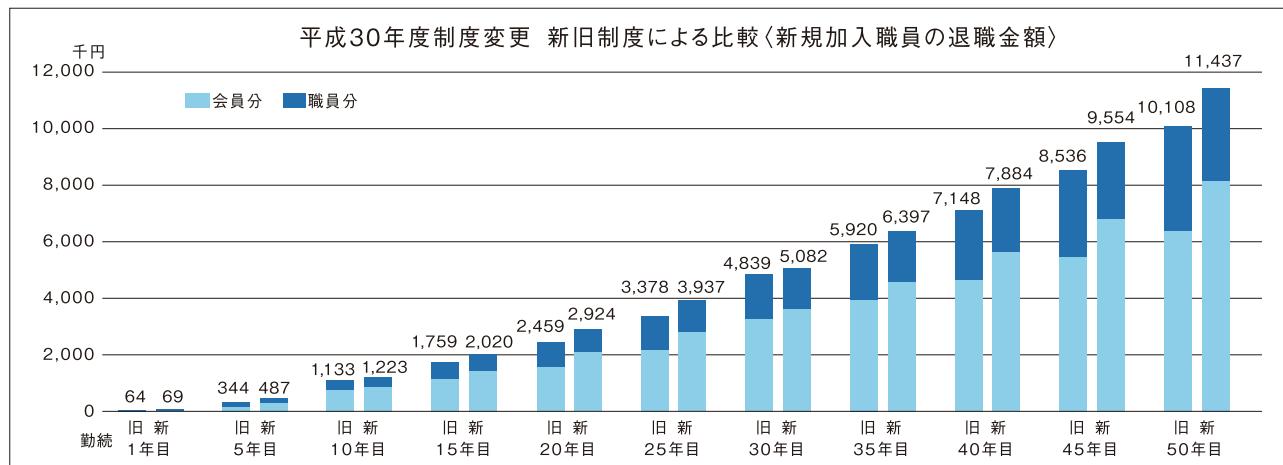
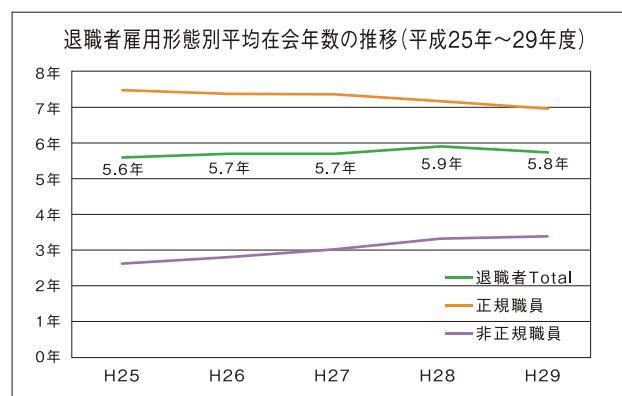
# 事 業 の あ ゆ み

## 退職年金事業実績(退職一時金／退職年金／脱退給付金)

年度	退職一時金(特別慰労金含)			退職年金		脱退給付金		本俸上限額(円)	制度の変遷
	件数	金額(円)	平均単価(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)		
S43								100,000	共済法との差額支給
S44	203	1,006,877	4,960						
S45	307	2,739,094	8,922					197,000	
S46	362	3,704,941	10,235						
S47	411	9,493,159	23,098						出資金率引上
S48	470	15,587,078	33,164						
S49	461	19,085,599	41,400					210,000	予定利率5.5% 独自支給率の制度に変更
S50	494	29,171,778	59,052						
S51	543	38,434,134	70,781						
S52	680	54,964,059	80,829						
S53	687	68,167,044	99,224						
S54	869	91,732,248	105,561						
S55	798	102,946,980	129,006						
S56	827	118,451,860	143,231					230,000	
S57	1,026	161,461,560	157,370						特別慰労金新設
S58	990	190,156,550	192,077					250,000	
S59	1,097	227,478,920	207,365						
S60	1,161	279,149,140	240,439						
S61	1,100	288,231,230	262,028						
S62	1,206	336,831,630	279,297						
S63	1,238	357,196,850	288,527						
H01	1,399	429,207,000	306,796						制度を退職年金事業に変更、職員提出開始
H02	1,558	524,846,210	336,872						年金支給率と職員支給率新設
H03	1,749	597,702,570	341,740						
H04	1,841	708,861,050	385,041			429	17,473,280		職員出資金を任意提出に変更
H05	1,681	710,011,470	422,374			11	454,820		
H06	1,741	837,277,605	480,918			8	207,350		
H07	1,959	925,976,330	472,678			2	164,600	265,000	出資金率引上
H08	2,109	1,101,965,740	522,506			0	0		特別慰労金廃止
H09	2,198	1,195,269,960	543,799	1	376,100	2	187,040	280,000	
H10	2,505	1,572,305,150	627,667	1	451,320	16	884,290		会員分支給率6-10年引上、 11-31年引下げ、32-40年新設
H11	2,264	1,234,265,190	545,170	2	740,460	2	103,360	300,000	
H12	2,777	1,580,157,440	569,016	2	1,029,600	3	474,340		
H13	2,990	1,590,065,540	531,794	3	1,168,650	3	1,044,240		
H14	3,223	1,781,616,510	552,782	10	4,154,330	4	887,180		
H15	3,520	1,948,257,895	553,482	14	5,685,370	14	5,322,410		予定利率2.0%、会員分・職員分出資金率 引上、支給率引下げ
H16	3,674	2,034,072,895	553,640	18	7,763,380	10	3,081,290	320,000	支給制限の廃止、受給権の放棄を規定
H17	3,819	2,145,143,915	561,703	24	10,807,420	9	2,052,000		
H18	4,242	2,679,155,830	631,578	37	16,556,320	6	1,263,210		H16会員出資金率引上に伴う支給率調整
H19	4,255	2,738,720,125	643,648	49	22,198,940	11	2,980,505	360,000	会員分支給率41-50年新設
H20	3,914	2,561,255,935	654,383	64	30,642,760	4	1,327,315		
H21	3,661	2,554,671,700	697,807	72	34,689,610	1	90,660		第2制度開始(累積給付型) 職員分を累積給付型に変更
H22	3,805	2,458,175,895	646,038	78	38,836,390	43	8,872,910		
H23	4,118	2,835,619,430	688,591	86	44,931,880	4	302,040		
H24	4,590	3,105,913,400	676,670	95	46,744,390	2	1,004,260		
H25	4,709	3,284,012,655	697,391	92	48,376,160	5	3,220,370		会員出資金率引下げ
H26	5,006	3,316,302,930	662,466	94	50,033,630	8	7,553,410		
H27	5,082	3,420,441,005	673,050	100	53,109,270	6	4,250,565		
H28	5,019	3,460,001,765	689,381	104	52,852,000	6	5,818,420		
H29	5,160	3,425,133,090	663,785	108	54,444,860	10	6,421,755		予定利率1.5%、会員分を累積給付型に 変更し、給付改善
H30								420,000	
合計	109,498	59,152,396,961	540,214	1,054	525,592,840	619	75,441,620		



- ・退職者数は被共済職員数の増加とともに伸びていますが、退職率は常に10%前後で推移し、平成15～19年度が14%前後と高くなっています。
- ・退職者の平均在会年数は、平成当初の5年間と直近の5年間では大きな差がありませんが、男性の在会年数が短くなっています。非正規職員が増えた直近5年のグラフでは、正規職員の方が在会年数が長いものの右肩下がり傾向で、非正規職員の方が在会が長くなってきています。
- ・平成30年度から会員分の退職金を累積給付型に変更して、支給改善を行いました。改正後に加入した場合の給付額は、どの年数でも改善されています。



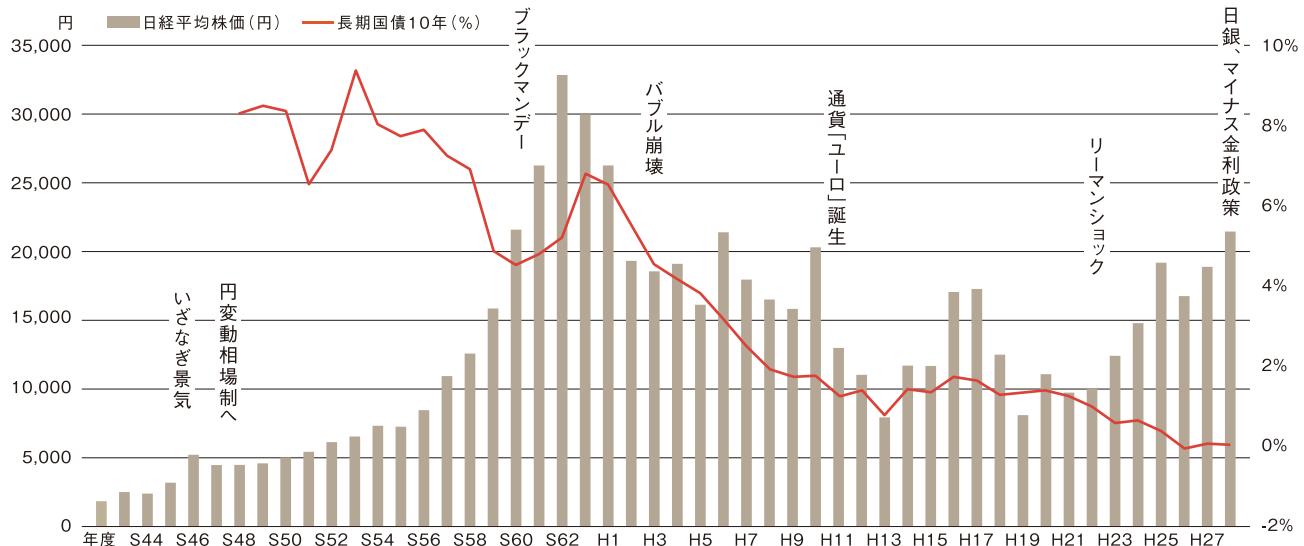
(注) 平成27年度会員データのモデル給与による(初任給16万円、2年目以降1.5%ずつ昇給)

## 会員・施設団体・被共済職員数、出資金額、給付額、資産残高、要支給額の推移

年度	年度末会員数	年度末施設団体数	年度末被共済職員数	出資金率	年間出資金額(円)	年間給付金額(円)	退職給付引当資産(円)	要支給額(円)
S43	115	168	2,060	会員22／1000	13,492,237		43,064,332	
S44	127	187	2,394		20,201,040	1,006,877	74,570,007	
S45	139	210	2,995		29,608,645	2,739,094	113,025,007	
S46	146	230	3,174		38,882,790	3,704,941	160,258,642	
S47	161	253	3,600	会員25／1000	45,882,245	9,493,159	197,737,295	
S48	177	274	4,196		63,318,706	15,587,078	263,535,035	
S49	206	313	4,893		79,441,073	19,085,599	348,135,571	
S50	228	357	5,946		119,892,055	29,171,778	464,429,835	
S51	249	398	6,742		159,478,714	38,434,134	620,635,033	
S52	273	434	7,387		189,932,435	54,964,059	793,077,948	
S53	293	463	7,812		222,502,711	68,167,044	986,237,432	
S54	317	513	8,778		257,707,875	91,732,248	1,206,669,653	
S55	356	571	9,717		297,208,012	102,946,980	1,487,700,207	
S56	385	619	10,757		353,453,275	118,451,860	1,808,402,437	
S57	422	664	11,598		402,897,748	161,461,560	2,105,714,000	
S58	441	690	12,022		426,068,527	190,156,550	2,412,544,289	
S59	464	733	12,560		491,878,296	227,478,920	2,780,148,871	
S60	475	756	12,906		501,029,940	279,149,140	3,130,147,874	
S61	480	772	13,333		539,681,985	288,231,230	3,506,914,018	
S62	494	796	13,695		570,687,470	336,831,630	3,846,638,910	
S63	510	824	14,225		601,561,420	357,196,850	4,212,517,287	
H01	522	850	14,678		636,113,595	429,207,000	4,561,388,570	
H02	533	877	15,323	職員11／1000	1,030,991,120	524,846,210	5,288,985,929	
H03	551	922	16,061		1,105,302,065	597,702,570	6,093,698,133	
H04	568	952	16,731		1,219,201,970	726,334,330	6,819,816,672	
H05	595	1,024	17,739		1,327,530,460	710,466,290	7,630,193,917	
H06	612	1,072	18,802		1,429,604,455	837,484,955	8,467,286,441	
H07	621	1,118	19,596	会員27／1000	1,759,275,610	926,140,930	9,569,464,651	
H08	632	1,167	20,319		1,852,318,185	1,101,965,740	10,801,248,145	
H09	649	1,225	21,392		1,985,988,305	1,195,833,100	11,810,590,569	
H10	654	1,279	21,966		2,066,341,520	1,573,640,760	12,509,068,878	17,343,492,160
H11	658	1,339	22,819		2,185,661,935	1,235,109,010	13,663,406,703	18,182,652,260
H12	677	1,442	24,004		2,287,561,020	1,581,661,380	14,618,828,941	20,328,156,690
H13	684	1,514	25,290		2,395,423,025	1,592,278,430	15,536,677,312	21,541,875,885
H14	695	1,576	26,254		2,480,665,945	1,786,658,020	16,402,118,806	22,683,881,170
H15	711	1,687	27,217		2,534,385,520	1,959,265,675	17,205,584,447	23,547,152,460
H16	720	1,764	28,196	会員40／1000 職員16／1000	3,234,110,610	2,044,917,565	20,265,753,386	24,604,474,980
H17	715	1,812	29,079		3,976,648,395	2,158,003,335	22,603,793,814	25,823,151,620
H18	708	1,879	29,307		4,001,177,040	2,696,975,360	24,319,080,345	26,592,910,120
H19	708	1,956	30,159		4,116,072,740	2,763,899,570	25,612,512,171	29,721,819,425
H20	716	2,000	31,238		4,236,663,255	2,593,226,010	27,200,997,723	31,174,104,320
H21	721	2,051	32,721	第2 1,000円 ～30,000円	4,434,396,835	2,589,451,970	28,975,173,664	32,595,413,075
H22	730	2,126	34,050		4,634,080,840	2,505,885,195	30,954,067,468	34,352,676,395
H23	735	2,175	35,417		4,827,792,030	2,880,853,350	34,974,741,252	35,921,919,350
H24	745	2,245	36,577		4,983,875,785	3,153,662,050	40,085,228,566	37,336,246,020
H25	754	2,283	38,206	会員38／1000	5,002,271,875	3,335,609,185	43,288,985,359	38,762,835,940
H26	755	2,359	39,441		5,176,747,855	3,373,889,970	47,909,497,363	40,319,583,250
H27	763	2,429	40,841		5,339,024,810	3,477,800,840	50,516,322,498	41,987,082,725
H28	767	2,472	41,809		5,557,322,490	3,518,672,185	53,090,278,027	43,784,515,230
H29	768	2,489	42,817		5,729,373,285	3,485,999,705	56,291,654,954	45,875,550,835
合計					96,970,729,774	59,753,431,421		

「要支給額」は、在籍する期末時点の被共済職員が一齊に退職したと仮定して計算する。

## 経済の動きと退職年金資産の運用



退職年金資産運用の変遷

実施年度	運用変更の内容
S43年度～H2年度～	主に貸付信託で運用、中央信託・三菱信託 非適格退職年金の年金信託契約を三菱から大蔵省銀行局に届出 年金信託運用(合同運用)を開始、徐々に貸付信託から移管
H5年度～H10年度	生命保険一般勘定を導入、明治生命・日本生命 保証利率低下のため一般勘定を解約
H16年度	運用基本方針及び運用方針細則を制定
H16年度～	政策アセットミックスによる4資産の運用を開始
H22年度～	年金コンサルタントによる運用チェックと評価を開始
H25年度～	アクティブ運用からパッシブ運用へ、資産配分を変更しリスク引き下げ
H27年度～	課税団体(一般社団)用の私募投資信託パッシブ4資産に移管
H28年度～	生命保険一般勘定を導入、明治安田生命
H30年度～	一般勘定を拡大、富国生命
H30年度～	資産配分を変更し円ヘッジ付外国債券を導入
	アクティブ商品を組み入れ ゴールドマンサックス・ブルーベイ

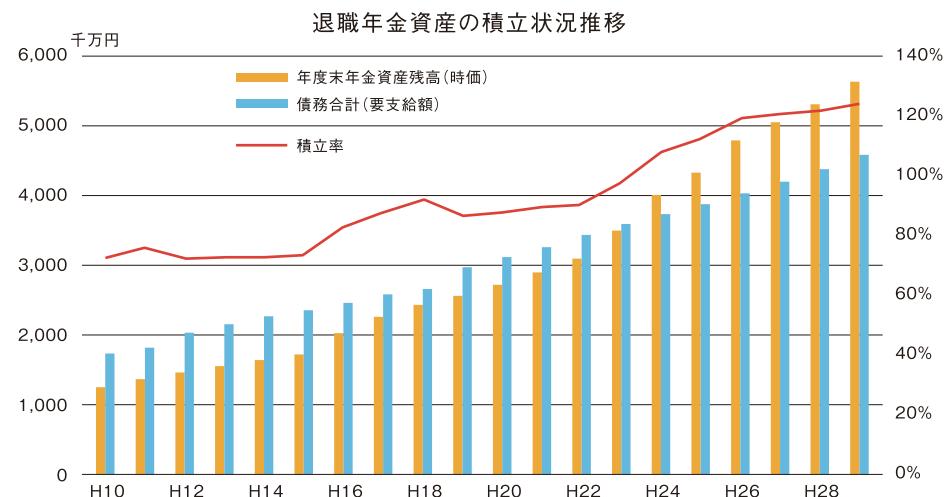


事業を開始した昭和時代は経済成長が続き、高い金利に支えられてきましたが、平成に入りバブルが弾けると、一気に低金利時代に突入し、株価の下落と共に苦しい制度運営が続きました。予定利率の引き下げによる制度の見直しや出資金率の引き上げと合わせて、効率的な運用を行うため、運用ルールを定めて対応してきました。

年金コンサルタントを入れて定期的に年金ALMを実施し、制度の安定運営に必要な収益を確保するための資産配分(政策アセットミックス)を定め、会員の同意を得て実行しています。

政策アセットミックスの変遷 (%)						
運用開始	国内債券	国内株式	外国債券(ヘッジなし)	外国債券(ヘッジあり)	外国株式	短期資産
H16.4.1～	55.4	22.3	13.4	-	8.9	0.0
H22.4.1～	73.5	11.8	5.3	-	9.4	0.0
H25.4.1～	83.0	6.0	5.0	-	6.0	0.0
H27.2.1～	資産配分は変更せず、国内債券に一般勘定を導入					
H30.4.1～	39.0	6.0	5.0	34.0	6.0	10.0

現在、日本のマイナス金利政策や、グローバル経済の下で激しく変動する運用環境の中にあります。共済会の年金資産は徐々に積み上がり、100%を超える積立水準に改善しています。



## 貸付事業実績(特別住宅資金/住宅資金/生活資金・一般資金/特別資金/共済ライフサポート資金)

年度	特別住宅資金		住宅資金		生活資金/一般資金		特別資金		年度末貸付金残高 金額(円)	制度の変遷
	件数	貸付金額(円)	件数	貸付金額(円)	件数	貸付金額(円)	件数	貸付金額(円)		
S47			9	6,000,000	12	1,470,000			7,226,362	住宅80万円・生活15万円新設
S48			29	21,250,000	20	2,450,000			28,120,588	住宅120万円引上
S49			42	43,000,000	26	3,550,000			67,052,351	
S50			29	32,000,000	13	1,800,000			89,305,454	
S51			61	70,500,000	17	2,500,000			145,468,267	
S52			52	59,800,000	21	3,140,000			187,700,676	
S53			55	64,400,000	21	2,940,000			226,998,599	
S54			48	55,200,000	12	1,700,000			247,947,698	
S55			65	75,000,000	30	7,600,000			290,556,310	生活30万円引上
S56	30	44,800,000	88	103,700,000	81	21,200,000			405,651,041	特別住宅150万円新設
S57	40	60,000,000	77	89,550,000	131	36,490,000			522,919,060	
S58	40	59,800,000	66	77,100,000	146	38,460,000			608,086,074	
S59	40	60,000,000	65	74,250,000	157	43,140,000			664,349,967	
S60	40	59,300,000	67	77,400,000	225	64,210,000			736,815,995	
S61	37	55,100,000	83	97,000,000	279	79,830,000			810,863,743	
S62	32	47,400,000	54	59,700,000	214	61,940,000			804,143,082	
S63	21	31,300,000	58	67,300,000	206	58,590,000			772,831,135	
H01	16	23,400,000	40	44,100,000	169	48,760,000			709,524,658	
H02			38	90,200,000	272	200,100,000	112	51,750,000	852,571,707	特別資金50万円新設、住宅300万円、一般(名称変更)100万円引上
H03			71	167,800,000	232	180,550,000	103	48,300,000	1,021,943,632	
H04			64	145,000,000	303	240,900,000	89	40,400,000	1,184,338,332	
H05			70	156,200,000	291	215,900,000	43	20,000,000	1,272,215,697	
H06			54	114,200,000	348	274,400,000	74	56,200,000	1,363,368,324	住宅利率5.5%→5%、特別100万円引上
H07			71	220,200,000	258	225,300,000	70	57,800,000	1,470,835,838	住宅300万円引上、ボーナス併用開始
H08			64	189,800,000	219	182,800,000	63	50,900,000	1,470,090,900	
H09			72	261,407,993	242	306,661,275	38	35,002,565	1,669,262,746	借換・一部繰上償還の導入、住宅・一般利率5%→4%、一般150万円引上
H10			44	166,480,956	173	199,581,898	39	39,236,338	1,655,043,427	
H11			86	274,936,952	262	330,606,008	50	52,220,981	1,889,419,892	住宅・一般利率4%→3%、特別利率3%→2%
H12			68	229,783,540	224	273,460,763	56	50,855,589	1,984,629,614	特別150万円引上
H13			52	172,291,453	201	261,329,459	48	63,073,636	2,014,722,495	
H14			39	144,467,262	184	234,231,446	50	65,577,725	1,967,084,692	
H15			33	105,371,111	208	260,325,649	50	54,128,068	1,893,701,285	
H16			25	106,221,465	171	238,134,616	50	59,347,884	1,832,800,620	
H17			21	76,376,713	188	248,652,965	51	63,782,329	1,733,381,528	
H18			19	91,073,750	182	241,122,122	56	57,368,386	1,633,973,381	
H19			15	50,496,830	179	242,372,751	60	78,959,820	1,562,955,531	
H20			15	52,848,323	208	254,698,288	62	78,790,661	1,519,576,908	
H21			13	57,450,641	184	226,553,115	42	42,383,421	1,394,166,066	
H22			11	32,600,000	148	189,860,976	53	65,981,972	1,282,838,976	
H23			8	25,953,106	119	162,519,101	46	53,395,738	1,123,286,071	
H24			11	34,400,000	151	188,530,276	63	68,902,666	1,055,663,183	住宅・一般・特別資金新規貸付廃止
合計	296	441,100,000	1,952	4,082,810,095	6,727	5,858,360,708	1,368	1,254,357,779		

### 〈共済ライフサポート資金〉

平成25年度より資金業法の法令を順守した貸付制度を新たにスタート。退職金積立範囲内にて貸付を受けられ、月2回の審査にて決定している。

\*年利:2.5%

\*在会年数により限度額が設定されている。

※最低貸付額は5万円。10年未満は100万円まで、10年以上は200万円まで申込み可能。

年度	共済ライフサポート資金		年度末貸付金残高 金額(円)
	件数	貸付金額(円)	
H25	196	145,030,932	874,418,639
H26	177	124,489,834	709,319,578
H27	179	121,222,856	589,660,533
H28	167	108,917,941	493,181,010
H29	160	103,822,408	429,103,843
合計	879	603,483,971	

## 給付事業実績(本人死亡弔慰金／配偶者死亡弔慰金／血族一親等死亡弔慰金)

年度	本人死亡弔慰金		配偶者死亡弔慰金		血族一親等死亡弔慰金		合計		制度の変遷
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
S47	6	450,000					6	450,000	扶養有10万円、無5万円新設
S48	7	600,000					7	600,000	
S49	9	750,000					9	750,000	
S50	16	1,250,000					16	1,250,000	
S51	13	1,050,000					13	1,050,000	
S52	13	1,200,000					13	1,200,000	
S53	14	1,050,000					14	1,050,000	
S54	18	1,400,000					18	1,400,000	
S55	16	1,050,000					16	1,050,000	
S56	22	1,750,000	7	210,000			29	1,960,000	配偶者3万円新設
S57	9	750,000	15	450,000			24	1,200,000	
S58	11	1,050,000	18	860,000			29	1,910,000	本人死亡一律10万円、配偶者死亡5万円引上
S59	23	2,300,000	15	730,000			38	3,030,000	
S60	15	1,500,000	11	550,000			26	2,050,000	
S61	10	1,000,000	22	1,100,000			32	2,100,000	
S62	18	1,800,000	21	1,050,000			39	2,850,000	
S63	15	1,500,000	12	600,000			27	2,100,000	
H01	13	1,300,000	20	1,000,000			33	2,300,000	
H02	20	2,000,000	16	800,000	123	1,230,000	159	4,030,000	血族一親等1万円新設
H03	18	1,800,000	24	1,200,000	219	2,190,000	261	5,190,000	
H04	14	1,400,000	19	950,000	198	1,980,000	231	4,330,000	
H05	12	1,200,000	30	1,500,000	222	2,220,000	264	4,920,000	
H06	14	2,700,000	25	2,350,000	268	4,910,000	307	9,960,000	本人20万円、配偶者10万円、一親等2万円引上
H07	17	3,400,000	32	3,050,000	313	5,930,000	362	12,380,000	
H08	9	1,800,000	28	2,800,000	293	5,830,000	330	10,430,000	
H09	16	3,200,000	20	2,000,000	330	6,460,000	366	11,660,000	
H10	17	3,400,000	35	3,450,000	292	5,830,000	344	12,680,000	
H11	16	3,200,000	22	2,200,000	326	6,480,000	364	11,880,000	
H12	20	4,000,000	31	3,100,000	355	7,070,000	406	14,170,000	
H13	22	4,400,000	30	3,000,000	331	6,620,000	383	14,020,000	
H14	15	3,000,000	25	2,500,000	388	7,760,000	428	13,260,000	
H15	16	3,200,000	23	2,300,000	430	8,600,000	469	14,100,000	
H16	16	3,200,000	29	2,900,000	446	8,920,000	491	15,020,000	
H17	14	2,800,000	25	2,500,000	506	10,120,000	545	15,420,000	
H18	24	4,800,000	28	2,800,000	439	8,780,000	491	16,380,000	
H19	4	800,000	2	200,000	511	10,220,000	517	11,220,000	本人・配偶者廃止
H20					548	10,960,000	548	10,960,000	
H21					532	10,640,000	532	10,640,000	平成19年度より、制度を見直し、本人死亡および配偶者死亡弔慰金は、福利厚生センターサービスでの利用に変更した。これにより手厚い給付が受けられるようになった。 *本人死亡 就業時・通勤時の事故180万円 上記以外の場合……60万円 *配偶者死亡 ……………10万円
H22					533	10,660,000	533	10,660,000	
H23					591	11,820,000	591	11,820,000	
H24					664	13,280,000	664	13,280,000	
H25					712	14,240,000	712	14,240,000	
H26					727	14,540,000	727	14,540,000	
H27					632	12,640,000	632	12,640,000	
H28					734	14,680,000	734	14,680,000	
H29					790	15,800,000	790	15,800,000	
合計	532	72,050,000	585	46,150,000	12,453	240,410,000	13,570	358,610,000	

	血族一親等
給付額	2万円

## 給付事業実績(結婚祝金／出産祝金／傷病見舞金／災害見舞金)

年度	結婚祝金		出産祝金		傷病見舞金		災害見舞金		制度の変遷
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
S49	93	279,000	68	204,000					新設3千円
S50	124	372,000	85	255,000					
S51	134	628,000	135	645,000			1	10,000	結婚・出産5千円引上 災害見舞金新設5千円以上1万円以内
S52	119	593,000	135	680,000			55	285,000	有珠山噴火
S53	167	1,494,000	175	873,000			1	10,000	結婚1万円引上
S54	177	1,770,000	178	900,000			3	30,000	
S55	274	2,725,000	168	836,000			3	90,000	災害見舞金支給額引上1万円以上3万円以内
S56	273	4,643,000	251	2,115,000	137	1,370,000	85	6,120,000	結婚2万円、出産1万円引上、傷病見舞新設1万円 集中豪雨 災害見舞金支給額引上げ3万円以上30万円
S57	345	6,860,000	299	2,973,000	306	3,060,000	4	230,000	
S58	397	7,878,000	331	3,265,000	283	2,830,000	9	780,000	対象制限廃止
S59	386	7,720,000	348	3,480,000	257	2,570,000	5	610,000	
S60	414	8,280,000	336	3,360,000	284	2,840,000	7	530,000	
S61	428	8,560,000	366	3,660,000	271	2,710,000	3	470,000	加入1年の支給制限廃止
S62	400	8,000,000	346	3,460,000	257	2,570,000	6	1,210,000	
S63	408	8,160,000	317	3,170,000	243	2,430,000	11	1,110,000	
H01	409	8,180,000	347	3,470,000	295	2,950,000	4	800,000	
H02	481	9,620,000	374	6,940,000	253	2,530,000	8	1,240,000	出産2万円引上、退職後10か月以内に請求拡大
H03	524	10,480,000	437	8,740,000	284	2,840,000	3	750,000	
H04	613	12,260,000	405	8,100,000	283	2,830,000	3	530,000	北海道南西沖地震
H05	604	12,080,000	414	8,270,000	341	3,410,000	40	5,350,000	
H06	610	17,600,000	460	13,280,000	315	3,150,000	16	1,680,000	結婚/出産3万円引上 北海道東方沖地震
H07	642	19,260,000	449	13,460,000	337	3,370,000	7	950,000	
H08	659	19,770,000	488	14,610,000	310	5,400,000	5	630,000	傷病2万円引上/請求通算期間の変更、 年度1回から12ヶ月に1回
H09	699	20,970,000	510	15,300,000	321	6,410,000	3	700,000	災害見舞金支給額引上3万円以上 50万円以内地震を対象に加える
H10	702	21,060,000	539	16,170,000	321	6,420,000	9	850,000	
H11	780	23,390,000	596	17,870,000	299	5,980,000	3	700,000	
H12	833	24,990,000	593	17,790,000	310	6,200,000	19	4,050,000	有珠山噴火
H13	886	26,580,000	605	18,150,000	337	6,740,000	5	650,000	
H14	926	27,780,000	681	20,430,000	301	6,020,000	2	250,000	
H15	940	28,200,000	765	22,950,000	281	5,620,000	10	1,680,000	十勝沖地震
H16	990	29,700,000	752	22,560,000	344	6,880,000	48	6,660,000	台風18号
H17	1,062	31,860,000	772	23,160,000	337	6,740,000	12	1,880,000	
H18	1,021	30,630,000	849	25,470,000	302	6,040,000	5	1,300,000	
H19	1,016	30,480,000	853	25,590,000	317	6,340,000	4	800,000	出産/1子につき支給に変更
H20	1,046	31,380,000	908	27,240,000	309	6,180,000	5	830,000	
H21	1,082	32,460,000	977	29,310,000	318	6,360,000	3	700,000	
H22	1,146	34,380,000	1,078	32,340,000	347	6,940,000	4	550,000	
H23	1,139	34,170,000	1,033	30,990,000	306	6,120,000	69	2,230,000	東日本大震災
H24	1,163	34,890,000	1,092	32,760,000	353	7,060,000	28	1,090,000	ひょう被害、保険業法への対応により単価減
H25	1,182	35,460,000	1,140	34,200,000	376	7,520,000	13	710,000	
H26	1,228	36,840,000	1,125	33,750,000	367	7,340,000	6	380,000	
H27	1,197	35,910,000	1,267	38,010,000	371	7,420,000	10	420,000	
H28	1,062	31,860,000	1,211	36,330,000	394	7,880,000	30	1,490,000	台風10号
H29	1,022	30,660,000	1,202	36,060,000	407	8,140,000	12	630,000	
合計	29,803	810,862,000	25,460	663,176,000	11,474	187,210,000	579	51,965,000	

### 〈結婚祝金／出産祝金／傷病見舞金〉

給付額	結婚祝金	出産祝金	傷病見舞金
	3万円	3万円	2万円
条件	退職後10か月以内の事由発生まで対象可。夫婦ともに被共済職員の場合は、それぞれに給付。出産は1子につき給付。	入院または自宅療養で連続して1か月以上休業した場合に給付。	

### 〈災害見舞金〉

被災程度 被災対象	全焼 全壊	半焼/半壊 床上浸水	部分焼/一部損壊 床下浸水	被害額が 3~5万円
居住する住宅	10万円		5万円	3万円
借家		3万円		
車庫・倉庫		3万円		
通勤登録を受けた車		3万円		

自然災害により、被共済職員の居住する建物に被害を受けた場合に給付。

## 助成事業実績(健康管理助成金)

年度	契約医療機関		社会保険健診		一般医療機関健診		合計		制度の変遷
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
S56	143	2,331,250					143	2,331,250	新設/加入5年以上35歳以上を対象、2万円限度額、9契約医療機関
S57	162	2,662,000					162	2,662,000	8契約医療機関
S58	194	3,230,750					194	3,230,750	8契約医療機関
S59	183	2,973,000					183	2,973,000	9契約医療機関
S60	233	3,906,050					233	3,906,050	9契約医療機関
S61	336	5,553,400					336	5,553,400	資格緩和/加入3年以上30歳以上を対象、10契約医療機関
S62	317	5,290,800					317	5,290,800	10契約医療機関
S63	283	4,907,000					283	4,907,000	10契約医療機関
H01	271	4,891,550					271	4,891,550	9契約医療機関
H02	404	7,018,000	144	504,000			548	7,522,000	社保健診を対象。半額助成/11契約医療機関
H03	558	9,682,500	215	966,500			773	10,649,000	11契約医療機関
H04	667	11,732,000	250	1,125,000			917	12,857,000	15契約医療機関
H05	746	13,127,500	469	2,110,500			1,215	15,238,000	15契約医療機関
H06	807	14,677,100	520	2,340,000			1,327	17,017,100	15契約医療機関
H07	885	15,504,100	643	2,893,500			1,528	18,397,600	15契約医療機関
H08	892	16,185,000	642	2,889,000			1,534	19,074,000	15契約医療機関
H09			572	2,848,000	473	9,460,000	1,045	12,308,000	受診医療機関拡大/助成額引上、/検査コース拡大/受診前申込廃止
H10			671	3,355,000	677	13,540,000	1,348	16,895,000	在会年数制限廃止、2万円・社保5千円
H11			701	3,505,000	699	13,980,000	1,400	17,485,000	
H12			604	3,020,000	1,018	20,360,000	1,622	23,380,000	
H13			622	3,110,000	1,312	26,240,000	1,934	29,350,000	社保人間ドック廃止
H14					1,838	35,965,000	1,838	35,965,000	
H15					1,718	23,555,000	1,718	23,555,000	健診料に応じて助成 2万円・1万円・5千円
H16					1,883	24,465,000	1,883	24,465,000	
H17					1,954	28,195,000	1,954	28,195,000	
H18					1,926	28,735,000	1,926	28,735,000	
H19					2,093	34,080,000	2,093	34,080,000	検査実施証明書の導入
H20					2,109	33,480,000	2,109	33,480,000	
H21					2,379	37,060,000	2,379	37,060,000	
H22					2,615	41,455,000	2,615	41,455,000	
H23					2,640	41,535,000	2,640	41,535,000	
H24					2,966	45,835,000	2,966	45,835,000	
H25					3,084	48,150,000	3,084	48,150,000	
H26					3,355	51,995,000	3,355	51,995,000	
H27					3,333	51,860,000	3,333	51,860,000	
H28					3,877	59,875,000	3,877	59,875,000	
H29					4,156	65,355,000	4,156	65,355,000	
合計	7,081	123,672,000	6,053	28,666,500	46,105	735,175,000	59,239	887,513,500	

### 〈健康管理助成金〉

受診時に30歳以上の被共済職員が人間ドック等を受診し、共済会が定める必須項目を受診した場合、健診料に応じて助成金を支給。

- ・健診料1万円以上2万円未満 ..... 5千円
- ・健診料2万円以上3万円未満 ..... 1万円
- ・健診料3万円以上 ..... 2万円

## 助成事業実績(研修助成金)

年度	社会福祉 主事 (件数)	社会 福祉士 (件数)	介護 福祉士 (件数)	保育士 (件数)	介護支援 専門員 (件数)	精神保健 福祉士 (件数)	管理 栄養士 (件数)	言語 聴覚士 (件数)	理学 療法士 (件数)	作業 療法士 (件数)	看護師 (件数)	調理師 (件数)	社会福祉 施設長 (件数)	幼稚園 教諭 (件数)	合計		制度の変遷
															件数	金額(円)	
S57	117														117	2,340,000	
S58	139														139	2,780,000	
S59	145														145	2,900,000	
S60	100														100	2,000,000	
S61	158														158	3,160,000	
S62	139														139	2,780,000	
S63	161														161	3,220,000	
H01	127														127	2,540,000	
H02	122														122	2,440,000	
H03	126														126	2,520,000	
H04	102														102	2,040,000	
H05	120	44	625												789	15,780,000	対象資格の追加
H06	111	19	156	0											286	5,720,000	対象資格の追加
H07	142	12	176	0											330	6,600,000	
H08	102	40	179	1											322	6,440,000	
H09	117	46	199	0											362	7,240,000	
H10	110	24	241	4											379	7,580,000	
H11	111	44	310	3	880	8									1,356	27,120,000	対象資格の追加
H12	127	46	286	1	210	1									671	13,420,000	
H13	113	44	273	1	296	2									729	14,580,000	
H14	118	71	253	3	255	6	8								714	14,280,000	対象資格の追加 保母→保育士に伴い添付書類の変更
H15	111	89	306	2	252	9	8								777	15,540,000	
H16	104	73	421	0	240	18	7								863	17,260,000	
H17	114	100	305	4	311	20	15								869	17,380,000	
H18	77	120	419	3	219	23	4								865	17,300,000	
H19	77	92	467	8	232	32	8	0	0	1	8	26	0		951	19,020,000	対象資格の追加
H20	79	125	559	5	207	32	4	0	0	0	13	26	21		1,071	21,420,000	
H21	76	93	485	9	228	35	7	0	0	0	10	32	18		993	19,860,000	
H22	65	99	642	5	291	35	4	1	0	0	21	26	28		1,217	24,340,000	
H23	109	108	524	5	264	31	3	0	0	0	7	31	13		1,095	21,900,000	
H24	92	112	842	4	170	36	11	0	0	0	8	22	21		1,318	26,360,000	
H25	90	54	557	8	194	30	4	0	0	4	12	23	23		999	19,980,000	
H26	102	116	601	4	152	20	10	0	1	0	7	18	21		1,052	21,040,000	
H27	75	91	600	11	211	20	5	0	0	0	6	32	11	49	1,111	22,220,000	対象資格の追加
H28	66	83	599	5	112	34	1	0	0	0	5	25	11	72	1,013	20,260,000	
H29	59	87	416	11	104	37	5	0	0	0	6	24	9	86	844	16,880,000	
合計	3,903	1,832	10,441	97	4,828	429	104	1	1	5	103	285	176	207	22,412	448,240,000	

## 〈研修助成金〉

働きながら資格を取得した場合に、2万円の助成金を支給。  
対象となる資格は主に国家資格であり、請求には添付書類が必要となる。

※請求条件:受験時、合格時、資格取得時、請求時の4時点で被共済職員であること。

## 永年勤続職員表彰事業(件数)

年度	5年	10年	20年	30年	40年	合計	制度の変遷
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	
S56		215	21	58		294	新設「長期勤続職員顕彰事業」
S57		302	37	18		357	15周年に未受彰者を一斉表彰(11~19年1,051名、21~29年191名)
S58		354	40	13		407	
S59		513	49	17		579	
S60		511	77	17		605	
S61		572	54	22		648	
S62		504	77	18		599	
S63		594	112	15		721	
H01		656	127	23		806	
H02		614	147	15		776	記念品額規定(10年1万円以内、20年2万円以内、30年3万円以内)
H03		608	158	13	23	802	40年表彰新設/記念品額の引上(10年1万5千円以内、20年3万円以内、30年5万円以内、40年7万円以内)
H04		606	198	24	6	834	
H05		595	243	23	3	864	
H06		515	300	22	6	843	
H07		557	284	29	8	878	
H08		522	281	33	13	849	
H09		503	310	37	4	854	
H10		550	312	67	6	935	
H11		646	365	60	6	1,077	
H12		705	369	73	6	1,153	20回を機に、事業の見直し検討する
H13		770	322	78	4	1,174	顕彰状簡略化、旅行券の導入、式典出席対象を31年以上、名簿の簡略化
H14		1,280	481	108	8	1,877	対象者漏れを一斉表彰
H15		966	339	128	3	1,436	
H16		852	317	114	7	1,290	
H17		827	311	141	7	1,286	
H18		940	284	128	10	1,362	
H19	2,012	967	320	135	11	3,445	5年表彰新設。対象年数は共済会加入日からの算出に変更。 「永年勤続記念品贈呈事業」に名称変更
H20	1,844	933	318	158	16	3,269	
H21	2,020	935	363	188	8	3,514	
H22	1,897	1,116	415	167	16	3,611	
H23	1,655	1,189	445	150	21	3,460	
H24	2,185	1,206	457	166	21	4,035	
H25	2,411	1,087	468	155	26	4,147	
H26	2,447	1,229	411	169	26	4,282	
H27	2,501	1,158	421	154	27	4,261	
H28	2,393	957	476	131	42	3,999	
H29	2,547	1,252	474	157	26	4,456	
合計	23,912	28,306	10,183	3,024	360	65,785	



## 加入状況

平成6年より福利厚生センター北海道事務局として活動を開始。平成19年には、共済会の会員全員が福利厚生センターに加入できる包括加入契約を結び、019会員として多くのサービスを利用できるようになりました。

年度	福利厚生契約			包括加入		
	法人数	施設団体数	職員数	法人数	施設団体数	職員数
H06	85	188	3,412			
H07	98	237	4,205			
H08	106	257	4,568			
H09	113	266	4,638			
H10	121	293	4,994			
H11	121	308	5,229			
H12	127	317	5,426			
H13	128	331	5,677			
H14	130	340	5,995			
H15	132	329	5,770			
H16	127	325	5,591			
H17	125	321	5,478			
H18	117	306	4,897			
H19	26	47	441	708	1,956	30,159
H20	23	42	408	716	2,000	31,238
H21	27	47	421	721	2,051	32,721
H22	26	46	408	730	2,126	34,050
H23	25	48	425	735	2,175	35,417
H24	25	48	444	745	2,245	36,577
H25	26	55	466	754	2,283	38,206
H26	26	56	486	755	2,359	39,441
H27	29	56	505	761	2,427	40,841
H28	31	65	527	767	2,472	41,809
H29	34	76	674	768	2,489	42,817
合計	1,828	4,404	71,085	8,160	24,583	403,276

包括加入



北海道で開催された講習会

＜これまでに実施した講習会＞

- ・接遇講習会
- ・メンタルヘルス講習会
- ・広報講習会
- ・パソコン講習会
- ・レクリエーション・リーダー養成講習会

## サービスメニュー

全国26万人超の会員が利用できるメニューがたくさんあります。

○ソウェルクラブ会員が全国規模で利用できるメニュー ●北海道包括加入会員(019会員)が利用できるメニュー

### 弔慰金

- 会員死亡弔慰金 60万円 (就業中の事故 180万円)

- 配偶者死亡弔慰金 10万円

### 見舞金

- 高度障害 60万円

- 後遺障害 最高120万円

- 入院 1日につき1,000円

- 手術 損保認定の手術内容に基づく

- 災害 法人:20万円、会員:1万円 ※災害救助法適用地域に限る

### お祝い品

- 結婚 1万円商品券

- 出産 1万円商品券

- 入学 5千円商品券

### 生活習慣病予防健診費用助成

- 最大4,120円

### 資格取得

- 5千円相当記念品贈呈

### 永年勤続

- 勤続年数に応じて記念品贈呈

### 長期勤続者退職慰労

- 2万円相当記念品贈呈

### クラブサークル活動

- 1人あたり千円の助成

### 健康生活用品給付

- 3千円相当

### 海外研修

- 1人あたり10万円補助

### 各種講習会

- 北海道内外で開催される講習会に無料で参加

### オリジナル手帳・情報誌

- 全員配布

### こころとからだの電話健康相談

- 24時間、相談料・通話料無料

### 会員交流事業

- 全道各地で開催されるイベントにお得な料金で参加できる

### ソウェル保険

- 団体生命、医療保障、積立保険、傷害保険、入院保険、がん保険

### ローン

- 特別資金(多目的)、特別提携住宅

### 指定保養所

- 優待料金+2,500円引

### 会員制リゾート

- 法人会員料金にて利用

### 優待サービス

- 提携ホテル、国内外パッケージツアーやレンタカー、スポーツクラブ、スクール、テーマパーク、文具、事務用品、書籍CD、社販、デパート、子供用品、保健福祉用品、防災防犯カタログ販売、

住宅建築、マイカー(購入・リース)、冠婚葬祭サービス、引っ越し



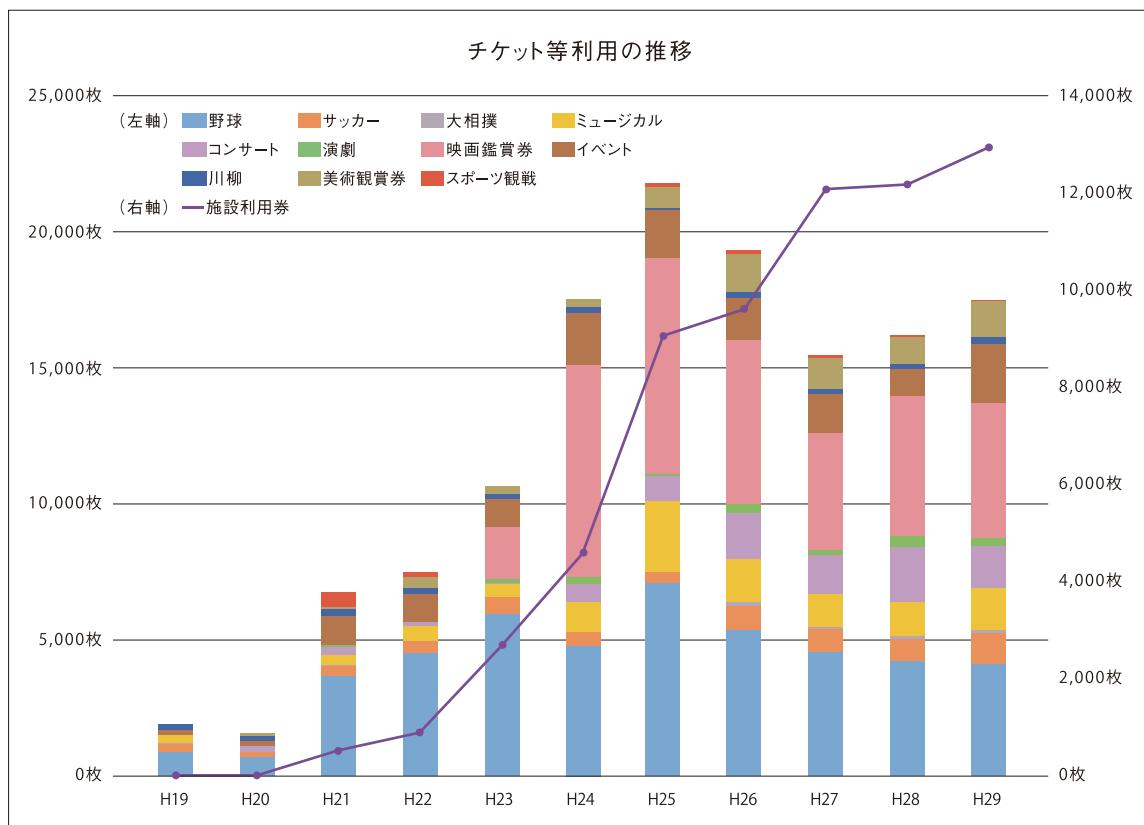
健康生活用品例



## チケット斡旋等

道内で実施される各種イベントのチケットを、お得な価格にて斡旋しています。毎年多くの方がご利用いただいている。道内にあるテーマパーク等の入場料金が割引になる利用券もあります。共済会ホームページよりご利用いただけるサービスです。

年度	野球	サッカー	大相撲	スポーツ観戦	ミュージカル	コンサート	演劇	映画鑑賞券	イベント	川柳	美術鑑賞券	施設利用券
H19	899	307	16		272	0	0	35	183	188		
H20	697	205	17		20	186	0	0	160	196	109	
H21	3,703	352	50	524	354	288	84	0	1,054	265	93	524
H22	4,536	424	0	165	546	170	0	0	1,018	215	404	890
H23	5,979	628	0	0	461	49	126	1,930	1,030	185	283	2,666
H24	4,785	510	0	0	1,121	652	257	7,792	1,914	205	263	4,594
H25	7,106	391	0	125	2,625	933	45	7,960	1,749	73	783	9,082
H26	5,359	907	130	147	1,587	1,690	337	6,036	1,528	213	1,387	9,635
H27	4,582	820	72	83	1,225	1,446	169	4,285	1,454	184	1,143	12,113
H28	4,246	814	89	65	1,261	2,004	426	5,119	992	205	987	12,207
H29	4,125	1,134	115	17	1,535	1,562	285	4,957	2,166	256	1,346	12,972
合計	46,017	6,492	489	1,126	11,007	8,980	1,729	38,114	13,248	2,185	6,798	64,683



## 地区交流事業(平成29年度実績)

道内20地区に実行委員会を設け、地元で楽しめる企画を立案実施しました。  
いずれも2千円前後の価格帯で参加でき、多くの会員が楽しみにしている事業です。

地区	実施事業	参加人数	地区	実施事業	参加人数
札幌・石狩	Let's パークゴルフ大会	31名	北空知	グルメ会	69名
	和食グルメ会	52名		グルメ会2	92名
	夏の納涼グルメ会	118名		ボウリング大会	49名
	今年のゴールデンウイークはルスツで楽しもうツアー第一弾	54名	上川	野球観戦バスツアー	84名
	今年のゴールデンウイークはルスツで楽しもうツアー第二弾	47名		夏の納涼グルメ会	90名
	今年の夏はルスツで楽しもうツアー第一弾	53名		しべつボウリング大会	37名
	今年の夏はルスツで楽しもうツアー第二弾	50名		ソフトバーボール大会	28名
	ルスツdeラフティング	26名		日本酒を楽しむ晩秋の夕べ	30名
	夏の旭山動物園バスツアー	44名		焼肉食べて元気を出そうよ!交流会Inあさひかわ	81名
	シンガポールグルメ会	43名		しもかわフレンチグルメ会	8名
	上川ミクニランチバスツアー	48名		冬のグルメ会	376名
	森のイタリアン・温泉・ガーデン散策ツアー	23名	富良野	バイキンググルメ会in新富良野プリンスホテル	167名
	ソウェルビール祭りinキリンビール	137名		パークゴルフ&焼肉in羽幌	中止
	Sowel Dance Party	52名		ライオンキング鑑賞バスツアー	34名
	ソフトバレー大会	61名		秋の宴～とままえ温泉ふわっと～	72名
	セレクトデザート付きランチバイキング会	30名	宗谷	豊富deお寿司	35名
	SOWEL 麻雀会	24名		枝幸de炭火焼肉	41名
	SOWEL party	28名		稚内de焼肉	35名
	男性限定グルメ会	10名		浜頓de居酒屋	13名
	紅葉ワイナリーツアー	35名	紋別	焼肉グルメ会①慶州園	52名
	ボウリング大会	382名		焼肉グルメ会②慶州園	55名
	秋のグルメ会	67名		焼肉グルメ会③なんじる	36名
	冬はキロロでスキー旅行	140名	網走	ディナーグルメ会	50名
	冬のグルメ会	91名		焼肉グルメ会in肉の割烹田村本店	142名
	新年グルメ会第一弾	69名	伊達	登別グランドホテル温泉&バイキング	61名
	新年グルメ会第二弾	66名		西いぶり秋の宴inホテルローヤル	158名
	中華グルメ会	125名	苫小牧	旨い肉祭り 第1弾 ウエムラ牧場	85名
	和会席を堪能グルメ会	95名		旨い肉祭り 第2弾 いわさき	86名
	SOWELおやこスキー教室	20名		夜景の見えるグルメ会	44名
	ファイターズ応援バスツアー	115名		冬mo焼肉	51名
渡島・檜山	ルスツ・秋のランチパックバスツアー	84名	日高	ファイターズ応援バスツアー	27名
	函館ランチ会(4企画)	75名		テーブルマナー講習会&秋のランチグルメ会	40名
	グルメ会(9企画)	231名	十勝	BEER PARTY	113名
	ルスツリゾートで夏を満喫!	44名		中華グルメ	42名
小樽	第1回青塚食堂グルメ会	39名		ディナーグルメ会①IN THE SUITE	61名
	第2回青塚食堂グルメ会	42名		ディナーグルメ会②アバホテル	57名
	SOWEL party ※札幌・石狩地区と共同開催	6名		ディナーグルメ会③北海道ホテル	155名
	大仁門焼肉パーティ	45名		鉄路	グルメ会(6企画)
	小樽ボウリング大会	44名		フレンチグルメ会(根室)	189名
	ルスツリゾートで夏を満喫	144名		フレンチグルメ会(中標津)	24名
後志	ザ・ワインザーホテル洞爺「サンデーランチ」	51名		イタリアングルメ会	18名
	サッポロビール園ジンギスカンランチ会	82名		焼肉食べて元気を出そうよ!交流会Inなかしべつ	19名
南空知	ファイターズ応援バスツアー	45名			44名
	大地のテラスグルメ会	72名			6,168名
	クレスピュッフェランチ会	78名			



ソウェルダンスパーティ

ソフトバレーボール大会



ボウリング大会



焼肉で元気を出そうよ交流会



親子スキーレッスン



#### 〈過去に実施した事業〉

- ◎ソウェルライブイン北海道(平成6年度～9年度)  
中島啓江ライブ(札幌市)(旭川市)  
倉橋ルイ子ライブ(帯広市)  
アグネス・チャンライブ(函館市)  
牧伸二トークライブ・マジックショー(苫小牧市)
- ◎福利厚生旅行(平成8年度～18年度)
- ◎ソウェルツアー(国内を格安料金で参加できる団体旅行)
- ◎富良野ログハウス 南こうせつコンサート
- ◎チーム対抗ボウリング大会／エイサー鑑賞会

## 福利厚生企画情報会議

会員にとってより良い事業を検討するために、道内20地区実行委員会の代表が集まり、事業の在り方、予算編成、事業計画を立てています。



福利厚生企画情報会議の様子

# 広報事業

(公益目的支出計画)

## ①実施事業

### ほっかいどう福祉だより「しあわせ」の発行

年度	発行回数	総発行部数	発行内容
H25	4	165,617	
H26	4	169,811	
H27	4	176,200	
H28	4	176,250	
H29	4	183,950	
合計	20	871,828	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村単位の地域にある福祉施設を紹介しながら観光場所を紹介する「小さな旅」</li> <li>・会員施設の取り組みや話題を取り材して提供する「福祉の現場から」</li> <li>・公益セミナーの案内</li> <li>・福祉職場に関連するコラム</li> <li>・会員施設の「自慢の逸品(一品)」の紹介など</li> </ul>

### セミナーの開催

年度	開催回数	受講者数	開催内容
H25	2	136	
H26	3	178	
H27	3	186	
H28	3	177	
H29	5	184	
合計	16	861	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション能力向上</li> <li>・コーチング</li> <li>・リーダーシップ</li> <li>・ハラスメント防止</li> <li>・クレーム応対(基本編)</li> <li>・福祉現場の危機管理</li> <li>・モチベーション向上</li> <li>・アサーティブコミュニケーション</li> <li>・ワークライフバランス</li> <li>・クレーム応対(困難編)</li> </ul>



セミナーの様子



福祉職場説明会の様子

### 福祉職場説明会

年度	開催回数	参加法人数	来場者数
H25	2	173	399
H26	2	180	313
H27	2	175	340
H28	2	171	217
H29	2	168	200
合計	10	867	1,469

北海道社会福祉協議会が主催。共済会は協賛、後援。

## ②公益目的支出計画実施状況

(円)

年度	実施額(費消額)	公益目的財産残額
H24	—	4,275,904,479
H25	14,589,983	4,261,314,496
H26	16,705,164	4,244,609,332
H27	15,824,458	4,228,784,874
H28	15,540,330	4,213,244,544
H29	17,185,653	4,196,058,891
合計	79,845,588	

公益法人制度改革により、共済会が一般社団法人に移行した後は、公益法人であった間に溜まったと見なされる剰余金(正味財産)を公益目的に使うことが義務付けられ、公益目的支出計画が求められました。

本会では、「福祉施設と道民をつなぐ広報事業」としてこれまで会員向けに実施してきた事業の対象を広げ、会員にもさらに役立つ内容に改めて事業を申請し、平成25年から418年間継続実施することとしました。

# 過去の実施事業

## 福祉貯金事業

年度	施設・団体数	加入者数(名)	預金残高(円)	利率(適用年月日と利率)	
S58.6	207	1,995	45,413,000	58.6.1 ~ 7.2%	
S58	252	2,588	345,924,660	〃	
S59	269	2,877	796,624,663	59.7.1 ~ 6.8%	
S60	237	3,048	1,188,430,129	60.7.1 ~ 6.5%	
S61	248	3,426	1,616,333,658	61.6.1 ~ 6.0%	
S62	245	3,228	2,004,344,403	62.4.1 ~ 5.2% 62.10.1 ~ 4.4%	
S63	289	3,916	2,386,981,516	63.4.1 ~ 4.65%	
H01	320	4,380	2,816,629,748	1.4.1 ~ 4.8%	1.10.1 ~ 5.0%
H02	334	4,566	2,986,652,160	2.4.1 ~ 6.1%	2.10.1 ~ 6.35%
H03	348	4,724	3,442,383,355	3.10.1 ~ 6.0%	
H04	372	5,192	4,312,314,812	4.10.1 ~ 5.0%	
H05	370	5,334	4,924,201,713	5.4.1 ~ 4.0%	5.10.1 ~ 3.5%
H06	370	5,413	5,392,305,472	6.4.1 ~ 2.3%	6.10.1 ~ 2.5%
H07	367	5,354	5,533,487,015	7.4.1 ~ 2.3%	7.10.1 ~ 1.1%
H08	362	5,227	5,649,499,216		

## 団体定期保険事業

(円)

期間(年.月)	加入数		死亡保険金		高度障害保険金		障害給付金		入院給付金	
	施設数	被保険者数(名)	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
S60.8-S61.7	262	1,789	3	26,500,000	-	-	-	-	-	-
S61.8-S62.7	322	2,366	4	11,000,000	0	0	1	150,000	7	457,500
S62.8-S63.7	358	2,788	5	9,000,000	0	0	0	0	16	891,000
S63.8-H1.7	387	3,014	7	31,500,000	0	0	0	0	24	1,408,500
H1.8 - H2.7	400	3,261	9	29,500,000	1	2,000,000	1	1,000,000	18	1,272,000
H2.8 - H3.7	412	3,619	5	13,500,000	0	0	1	100,000	14	3,505,500
H3.8 - H4.7	434	3,851	6	17,000,000	0	0	0	0	22	5,843,250
H4.8 - H5.7	457	4,285	4	12,000,000	1	6,000,000	1	2,000,000	27	4,670,250
H5.8 - H6.7	469	4,196	7	23,000,000	0	0	0	0	23	5,363,250
H6.8 - H7.3	511	4,793	5	14,000,000	0	0	0	0	16	3,171,000
合計			55	187,000,000	2	8,000,000	4	3,250,000	167	26,582,250

## スポーツ用具配付事業

(円)

年度	卓球台		ローイングメカ		ヘルスキング		万歩計		合計	
	施設数	単価	施設数	単価	施設数	単価	施設数	単価	施設数	金額
S58	101	47,880	50	30,800	29	45,700	16	2,630	196	8,203,510
S59	88	49,380	42	31,000	30	46,000	19	2,630	179	7,671,790
S60	102	49,380	29	31,000	32	46,000	17	2,630	180	7,785,730
S61	103	49,380	32	25,500	28	46,000	34	2,630	197	7,918,650
合計	394		153		119		86		752	31,579,680

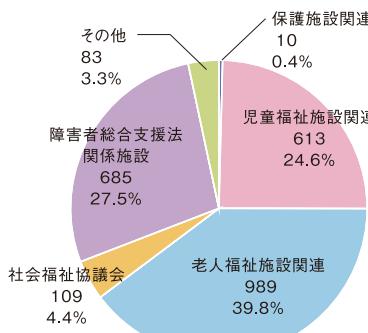
## 福利厚生助成金・福利厚生旅行助成金・スポーツ大会助成金

(円)

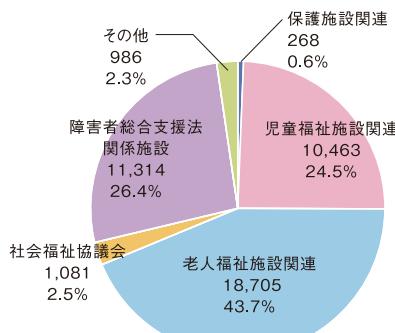
年度	福利厚生助成金		制度の変遷	年度	福利厚生旅行助成金		スポーツ大会助成金	制度の変遷
	件数	金額			件数	金額	件数	
S56	10,797	5,398,500	スポーツ等助成金として新設、一人500円	H06	86	1,720,000	3	900,000
S57	11,546	11,546,000	助成金額引上、一人1,000円	H07	158	3,160,000	4	955,000
S58	12,064	12,064,000		H08	90	1,800,000	4	1,100,000
S59	12,634	12,634,000		H09	120	2,400,000	4	1,100,000
S60	13,040	13,040,000		H10	91	1,820,000	4	1,100,000
S61	13,512	13,512,000		H11	160	3,200,000	4	1,100,000
S62	13,905	13,905,000		H12	62	1,240,000	5	1,509,000
S63	14,365	14,365,000		H13	41	820,000	4	1,100,000
H01	14,718	14,718,000		H14	84	1,680,000	4	1,050,000
H02	15,408	15,408,000	福利厚生助成金に名称変更/助成目的を拡大	H15	26	520,000	4	1,000,000
H03	16,146	16,146,000		H16	25	500,000	5	1,500,000
H04	16,937	16,937,000		H17	41	820,000	4	1,000,000
H05	17,796	17,796,000		H18	29	580,000	3	900,000
合計	182,868	177,469,500		H19			3	900,000
				H20			4	1,400,000
				合計	1,013	20,260,000	59	16,614,000

企画旅行への助成開始  
全道・全国野球大会等に助成開始  
世界同時多発テロで海外旅行中止  
スポーツ大会助成廃止  
福利厚生センター会員交流事業へ

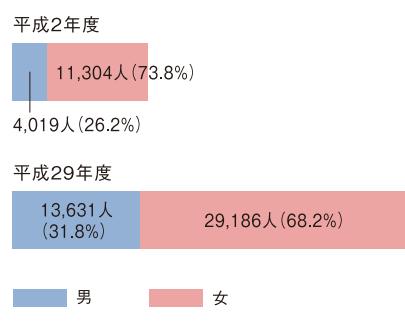
業種別施設数内訳(H30.3.31)



業種別被共済職員数(H30.3.31)



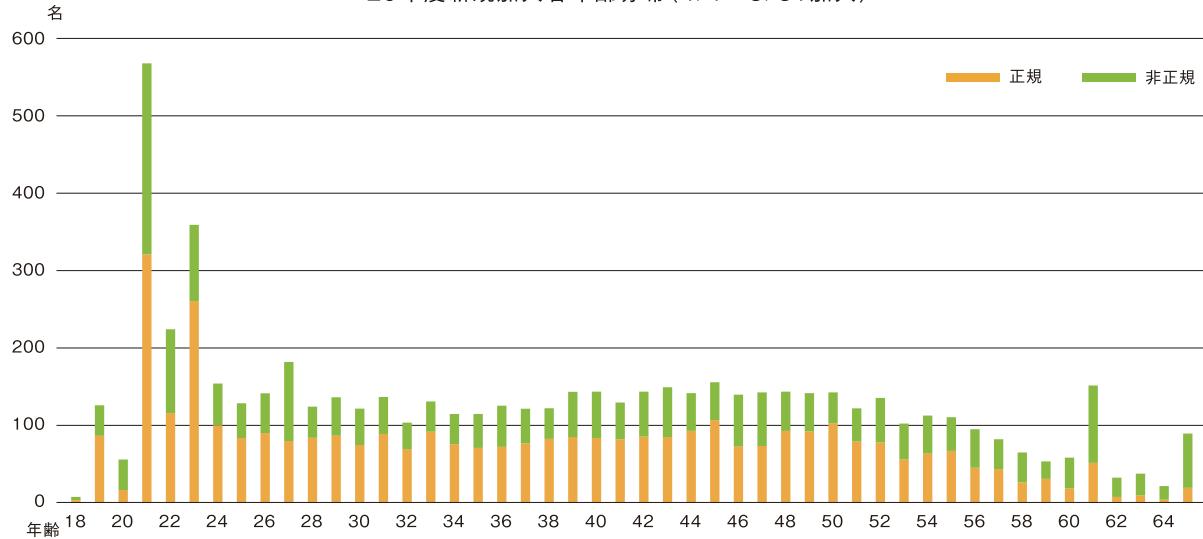
被共済職員男女比



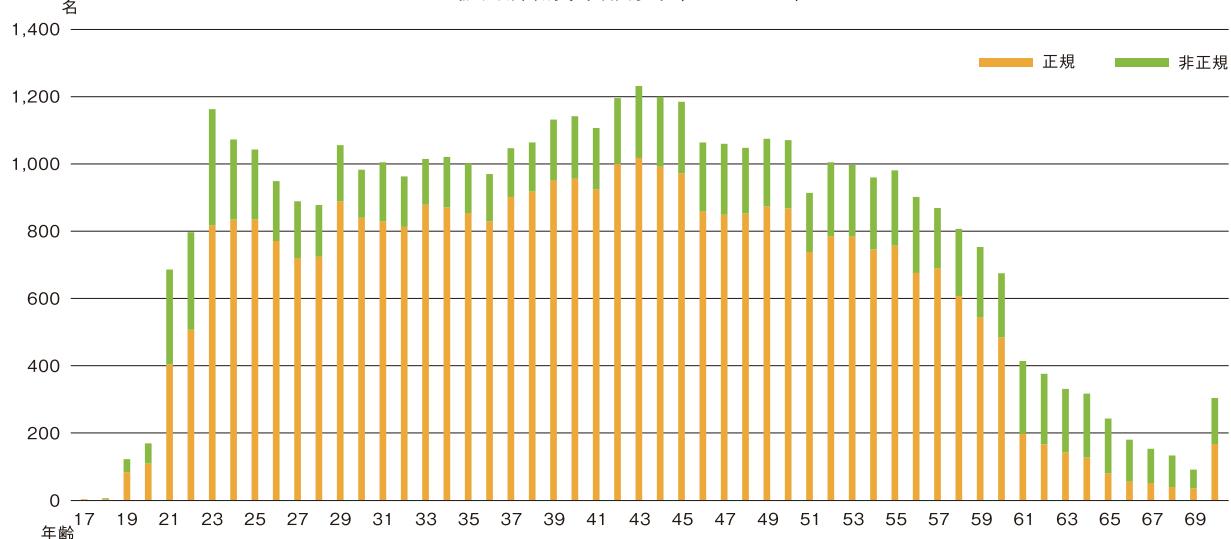
地域別加入数(H30.3.31)

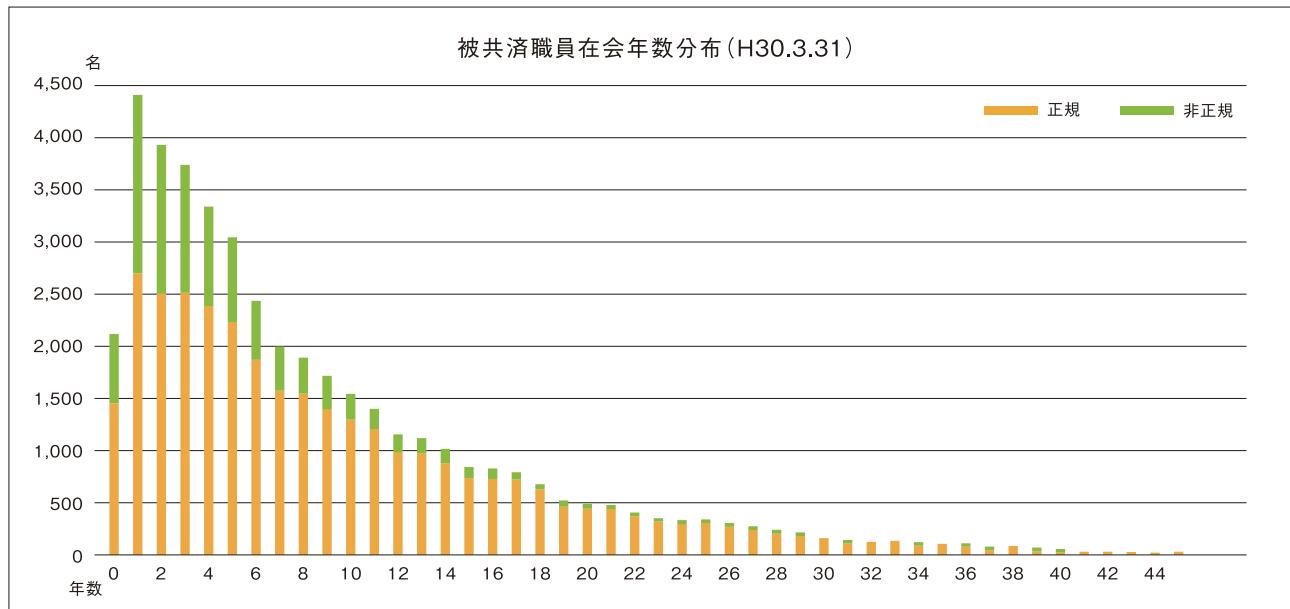
	札幌市	石狩	渡島	檜山	後志	空知	上川	留萌	宗谷	オホーツク	胆振	日高	十勝	釧路	根室	道外	合計
施設・団体数	545	144	211	32	177	216	325	49	47	137	276	53	168	78	21	10	2,489
被共済職員数	11,732	2,559	3,588	518	2,939	3,368	4,975	589	687	2,266	3,887	727	2,910	1,594	268	210	42,817

29年度新規加入者年齢分布(4/1~3/31加入)

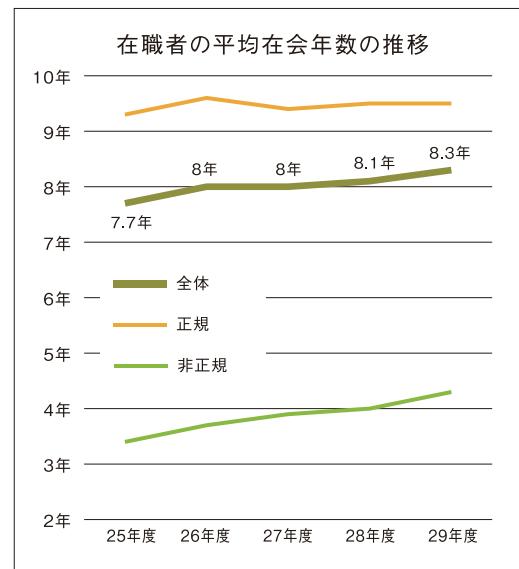
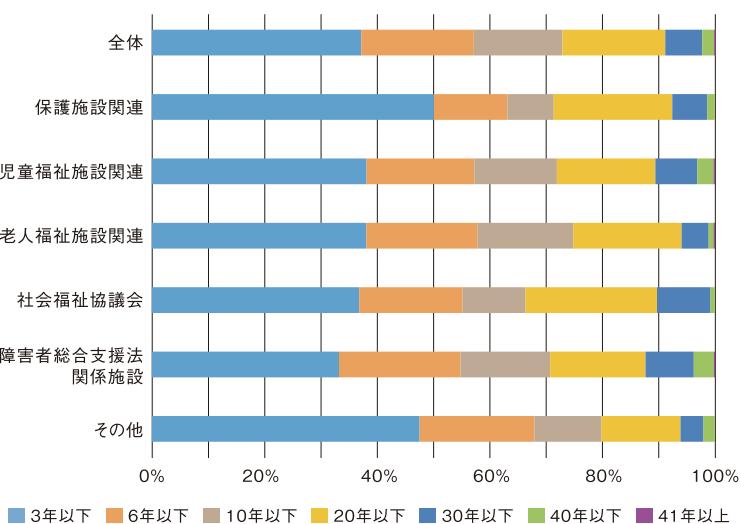


被共済職員年齢分布(H30.3.31)





業種別被共済職員在会期間内訳 (H30.3.31)



被共済職員在会年数別平均本俸月額 (H30.3.31)

